Panasonic

ファクス親機編

取扱説明書

パーソナルファクス付テレビドアホン

品番 VL-SW155K（ブイエル エスダブリュー ケイ） 電源コード式

KX-PW616

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ご使用前に「安全上のご注意」（6、7ページ）を必ずお読みください。

お問い合わせの多い機能を探しやすくしました。

別売品

KX-FAN190/190W
KX-FAN191/191W

親切機能を使う

ファクスの受けかた

（詳しいもくじは次ページへ）

もくじ

電話サービス

かけてきた相手の電話番号がわかる
ナンバー・ディスプレイサービス

1 回線で複数の電話番号を使う
モデムダイヤルインサービス

ドアホン

ドアホン

お好み設定

音の設定 … 74

機能／メッセージ一覧

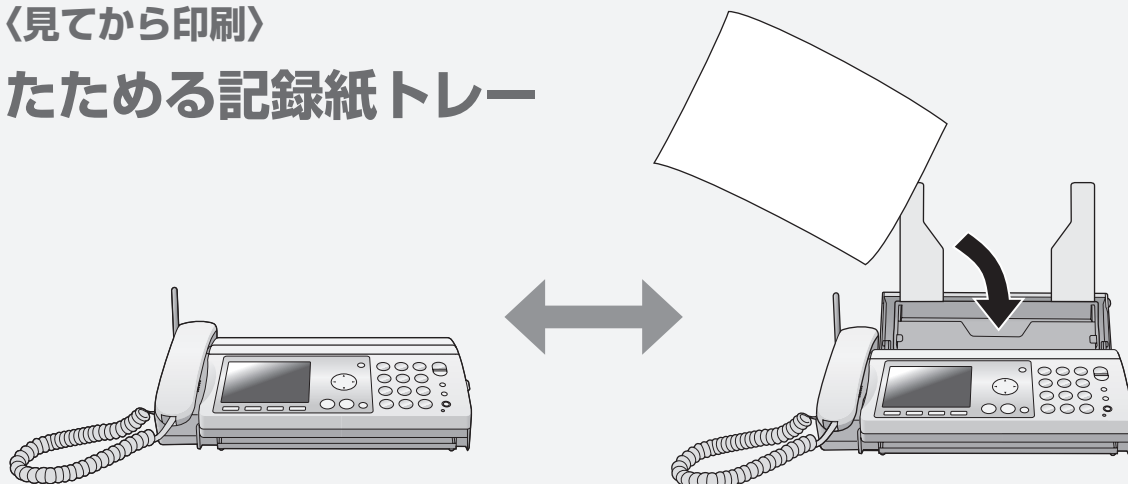
必要なとき

記録紙・原稿

さらに便利に…

必要なとき

困ったとき

困ったとき … 98

確認と準備
電話
電話帳
ファクス
コピー
留守番電話
電話サービス
ドアホン
お好み設定
必要なとき
困ったとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、
次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

● 修理は販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

● 金属物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

⚠ 警告

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

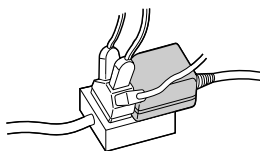
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■雷が鳴ったらファクス親機・電源プラグ・電話機コードに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電話機コードのプラグに、洗剤などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災の原因になります。

● ぬれた電話機コードは、すぐに壁側の電話コンセントから抜き、使用しないでください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■受話器を無理に引っ張らない

禁止

ファクス親機の落下により、けがの原因になることがあります。

使用上のお願い

重要なものはプリントして保管

- メモリー受信したファクス（☞48 ページ）
- 登録した電話帳（☞37 ページ）

（お知らせ）

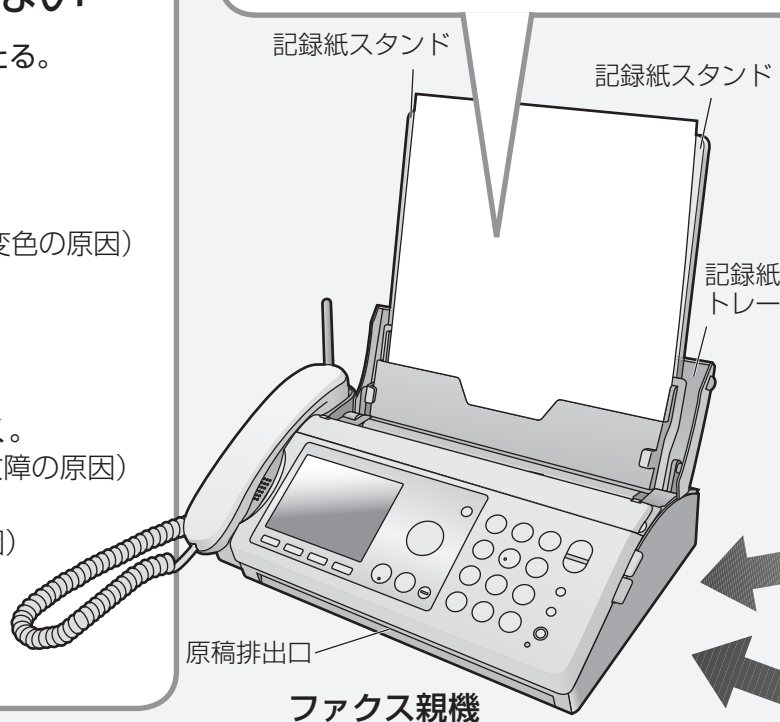
- 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

こんなところには設置しない

- 記録紙トレー・記録紙スタンドが壁にあたる。
  （紙詰まりの原因）
- ピアノなどの上。
  （キズや、熱によるひびわれ、変色の原因）
- じゅうたんなどの上。
  （通風孔をふさぎ、発熱などでじゅうたん変色の原因）
- 火気・熱器具の近く。
  （変形や故障の原因）
- テレビ・電子レンジ・パソコンの近く。
  （電波干渉による誤動作の原因）
- 直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く。
  （35 ℃以上、5 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- 原稿排出口に光が直接あたるところ。
  （コピーや送信ファクスの画質劣化の原因）
- 温度変化が激しいところ。
  （結露による誤動作の原因）

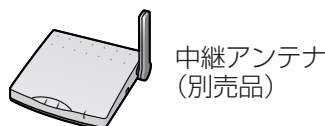
ファクス・コピーの記録紙は…

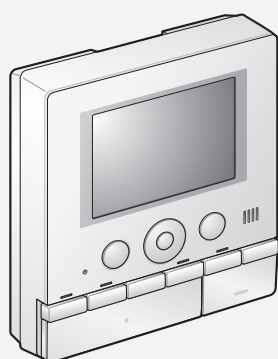
コピー用紙
- A4 サイズ
- 64～75 g/m²
- 別売品
  （☞94 ページ）

- セットするとき
  - プリント中に追加しない。
  - 厚さの異なる紙を入れない。

ファクス親機

ファクス親機・ドアホン親機・子機間は電波での接続のため、各機器の距離や設置場所にもご注意ください

- 各機器間に何も障害物がない場合、それぞれ見通し約 100 m以内の距離で使えます。
- 距離が離れていたり、次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、通話の途切れ（プツプツ音や声の途切れ）、映像の乱れや更新の遅れが起きて、ドアホン親機や子機の電波表示が圏外になり、使えないことがあります。
  （ドアホン親機の電波表示 ☞「ドアホン親機編」13 ページ、子機の電波表示 ☞「子機編」13 ページ）
  - 金属製のドアや雨戸。
  - アルミはく入りの断熱材が入った壁。
  - コンクリートやトタン製の壁。
  - 壁を何枚もへだてたところ。
  - ファクス親機・ドアホン親機・子機をそれぞれ別の階や家屋などで使うとき。
- 上記のような場合は、中継アンテナの設置をお勧めします。（☞88 ページ）
  ただし、ファクス親機とドアホン親機の間には中継アンテナが使えません。

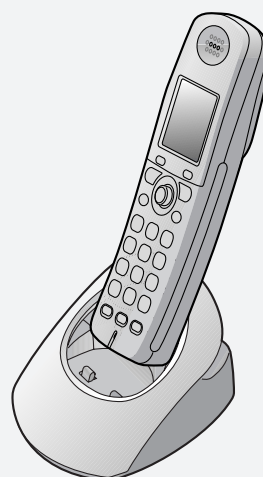
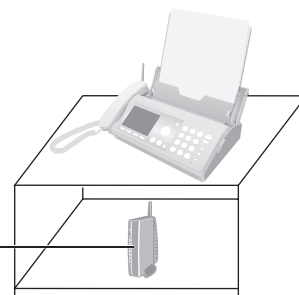
中継アンテナ
（別売品）

- 次のような記録紙は使わない
  （紙詰まりの原因）
  - 破れている
  - 折り目、しわがある
  - 広告などの裏面
  - 丸く反っている
  - ファクス親機ですでに片面をプリントした紙
  - 湿気の多い場所に置いていた紙

- プリント済みの記録紙は…
  - 印刷面を下にして文字を書かない。
    （インクがテーブルや紙に写る原因）
  - 他のコピー機やプリンターの用紙
    として使わない。
    （他機の故障や紙詰まりの原因）

電波を使う機器から離す

電波の干渉による、悪影響を予防するため、次の機器からはファクス親機・ドアホン親機・子機とも約 3 m 以上離してください。

- 電子レンジ
- 無線 LAN 機器
  （ルーター・AV 機器・防犯機器など）
- ワイヤレス AV 機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
  その他、下記の機器も影響が出る場合があります。
  - ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - 万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
  - アマチュア無線局
  - 工場や倉庫などの物流管理システム
  - 鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - マイクロ波治療器
  - その他、Bluetooth® 対応機器や
    VICS（道路交通情報通信システム）など

（例：無線ルーターの設置）
離して置けないときは、
上下に置くと影響を軽減
できることがあります。

ドアホン親機

子　機

使用上のお願い（続き）

電波について

- **本機は、2.4 ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です**

  移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS 方式」、与干渉距離は 80 m です。
  本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

  2.4FH8

- **本機の使用周波数に関わるご注意**

  本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

  1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（☞110 ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞110 ページ）へお問い合わせください。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。
- 停電すると、本機は使えません。
- NTT のレンタル電話機が不要になる場合は、局番なしの 116 番（通話料金無料）へご連絡ください。

ファクス親機を廃棄・譲渡・返却するとき

お客様固有の情報の流出による、不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や録音された用件など）を消去してください。

■ファクス親機の情報を消去する（出荷時設定）

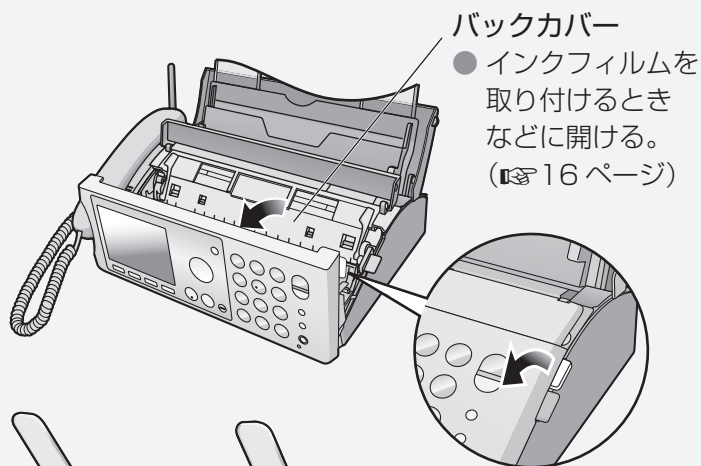
初期化するときは、ファクス親機から電話機コードを外してください。

お知らせ

- 電話機コードを接続したままファクス親機の初期化を行うと、続いて「電話回線種別」が自動設定され、お買い上げ時の設定「自動」に戻らないことがあります。（☞76 ページ）

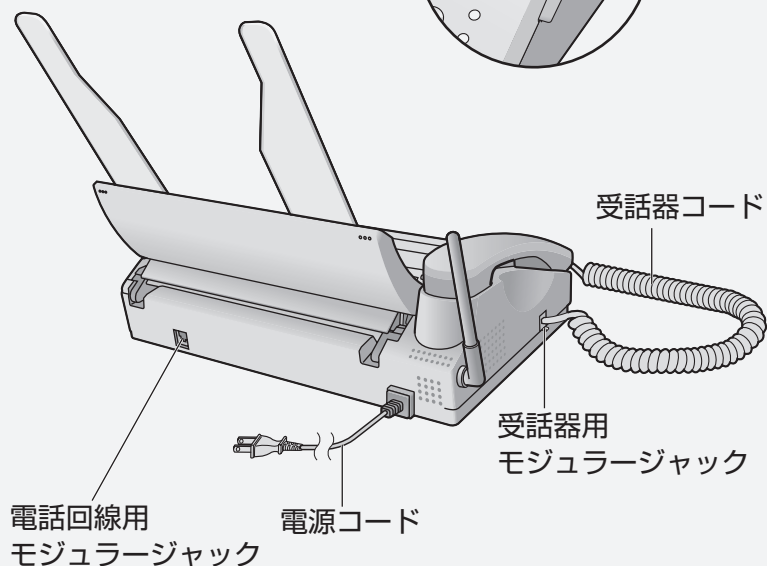
■インクフィルムを処分する

使用済みのインクフィルムには、プリント跡が残っています。
92ページの「■ 使用済みのインクフィルム（芯を含む）を捨てるとき」に従って処分してください。

各部のなまえとはたらき

F1 ～ F4 は「見てから印刷入切」「画質」「機能」「用件消去」などを操作するときに押してください。

● 本書では 見てから印刷入切 F1　画質 F2　機能 F3　用件消去 F4 のように表しています。

お知らせ

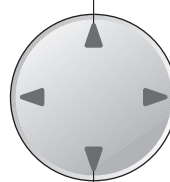
● 「見てから印刷入切」「画質」「機能」「用件消去」などの表示は、操作手順によって変わります。

マルチファンクションキー

- 本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

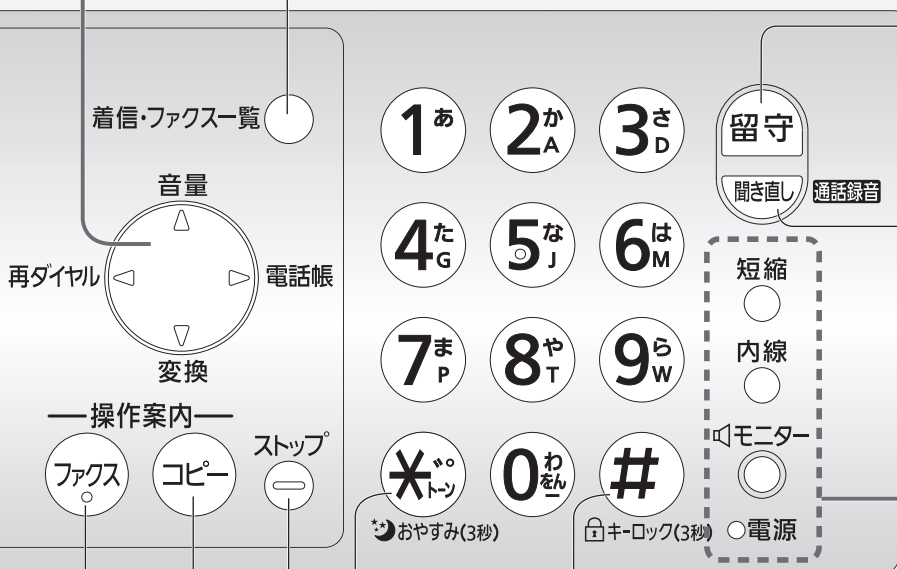
右を押す

上または下を押す

音量を大きくする（☞74 ページ）
漢字に変換する（☞81 ページ）

再ダイヤルする（☞29 ページ）
前の用件を聞く（☞55 ページ）

電話帳を使う（☞29・36 ページ）
次の用件を聞く（☞55 ページ）

音量を小さくする（☞74 ページ）
漢字に変換する（☞81 ページ）

着信・ファクス一覧
- ファクスをメモリー受信したとき、ナンバー・ディスプレイサービス利用時に電話に出なかったときなどに点灯する。（☞44・58 ページ）
- メモリー受信したファクスを表示する。（☞48 ページ）
- 着信メモリー（履歴）を見る。（☞59 ページ）

留守
- 留守設定する。（☞54 ページ）
- 構内交換機に接続しているときなどに、ポーズ（ダイヤルの待ち時間）を入れる。

聞き直し（通話録音）
- 用件を聞き直す。（☞54・55 ページ）
- 読み上げた番号をもう一度聞く。（☞25 ページ）
- 通話を録音する。（☞30 ページ）

音量 / 再ダイヤル / 電話帳 / 変換

1あ 2かA 3さD 4たG 5なJ 6はM 7まP 8やT 9らW ✱゛゜トーン 0わをん ＃

おやすみ（3秒）　キーロック（3秒）

＃（シャープ）ボタン
- 機能登録などに使う。
- キーロックを使う。（☞70 ページ）

✱（スター）ボタン
- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う。（トーンボタン）（☞28 ページ）
- おやすみモードを使う。（☞71 ページ）

ストップ
- 操作を途中でやめる。
- 登録を終わる。
- 液晶ディスプレイが消えているときに表示させる。

操作案内

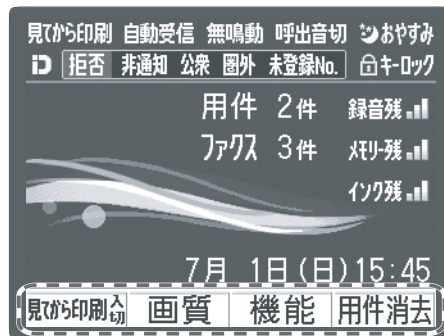
コピー
- コピーする。（☞52 ページ）
- 原稿をセットする前に押すと、操作案内が流れる。

ファクス
- ファクスの送信・受信を開始する。（☞42・45 ページ）
- 原稿をセットする前に押すと、操作案内が流れる。

短縮	短縮ダイヤルを使う。（☞29・40 ページ）
内線	子機やドアホンを呼び出す。（☞33・34・67 ページ）
モニター	受話器を取らずにダイヤルする。（☞29 ページ）
○電源	電源が入っているときに点灯する。

各部のなまえとはたらき

液晶ディスプレイの見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

F1 ～ F4 ボタンの機能を表示
(☞12 ページ)

表示	説明
見てから印刷	ファクスをメモリー受信する設定のとき(☞44 ページ)
自動受信	ファクスの自動受信を設定しているとき(☞46 ページ)
無鳴動	呼出音を鳴らさずにファクスを受ける設定をしているとき(☞47 ページ)
呼出音切	呼出音を鳴らさない設定をしているとき(☞74 ページ)
おやすみ	おやすみモードを設定しているとき(☞71 ページ)
キーロック	キーロックを設定しているとき(☞70 ページ)
録音残	録音残量(時間)のめやす(☞ 右ページ)
メモリー残	ファクス受信のメモリー残量のめやす(☞ 右ページ)
インク残	インクフィルム残量のめやす(☞ 右ページ)(設定するには ☞78 ページ「フィルム残量表示」、92 ページ)

■ナンバー・ディスプレイサービス利用時の表示

表示	説明
iD	ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき(☞58 ページ)
拒否 非通知	非通知の電話やファクスを受けない設定をしているとき(☞32・61 ページ)
拒否 公衆	公衆電話からの電話を受けない設定をしているとき(☞32・61 ページ)
拒否 圏外	表示圏外の電話やファクスを受けない設定をしているとき(☞32・61 ページ)
拒否 未登録No.	ファクス親機の電話帳に未登録の相手からの電話やファクスを受けない設定をしているとき(☞62 ページ)

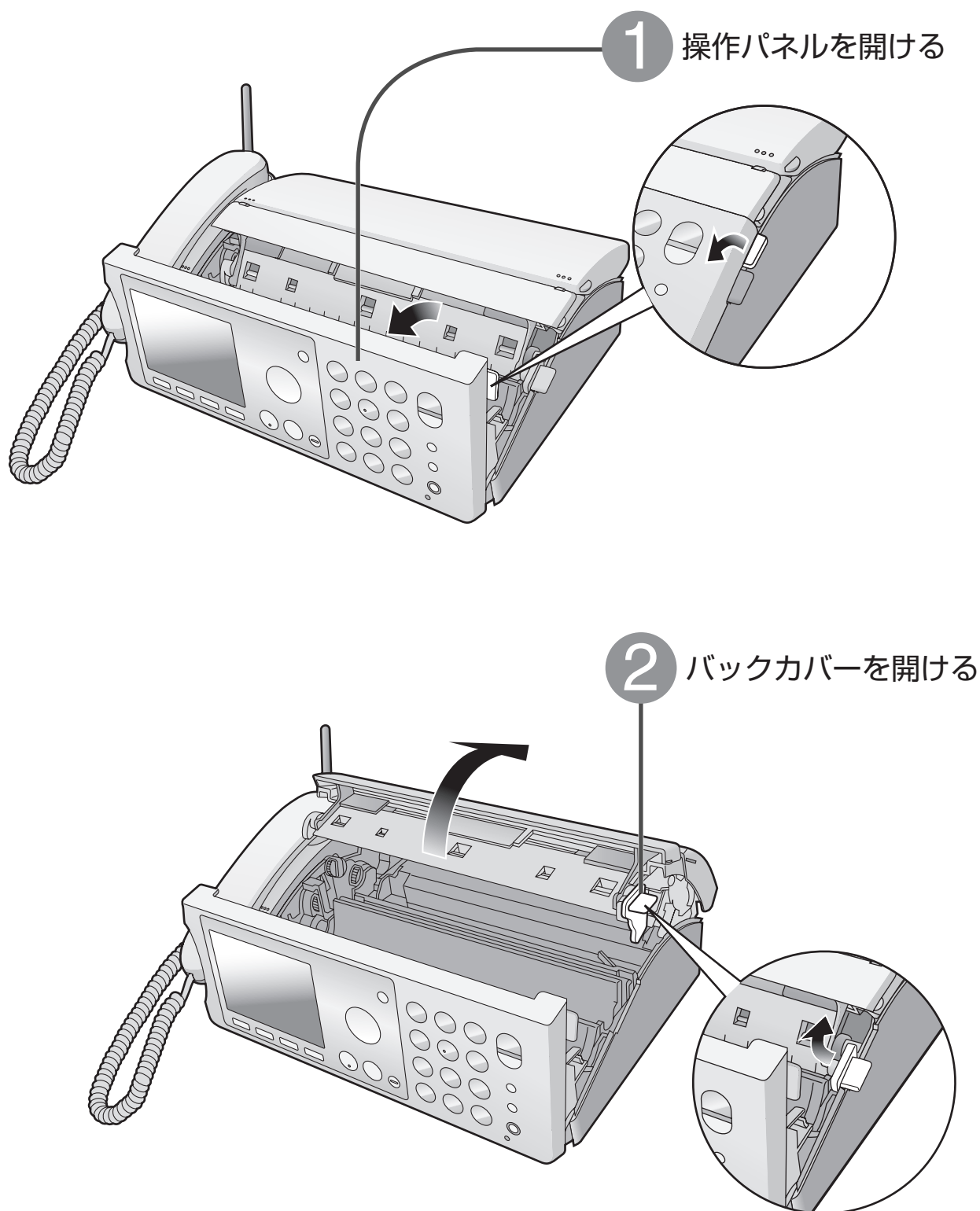
■「録音残」「メモリー残」「インク残」表示のめやす

残量表示		※3	※4		
録音残※1	留守番電話に録音できる時間	0	4 分以下	4～8分	8～12分
メモリー残	ファクスを受信できる枚数	0	16 枚以下	32 枚以下	50 枚以下
インク残※2	印刷できる枚数	0	6 枚以下	30 枚以下	45 枚以下

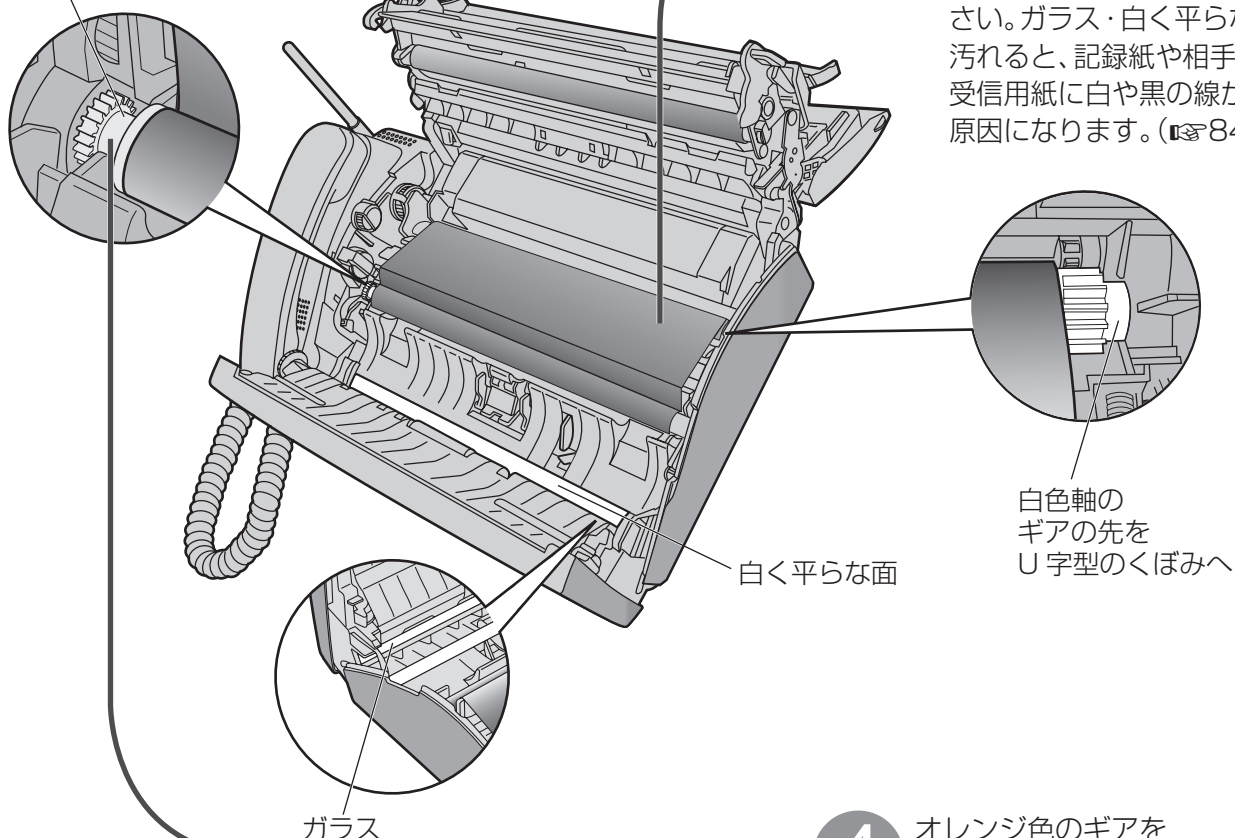
※ 1 録音件数が 50 件になると、録音残量はなくなります。（☞95 ページ「■メモリー容量のめやす」）
※ 2 別売品（長さ 15 m）のインクフィルムを使う場合のめやすを表示します。
（付属のお試し用インクフィルムは短いので、正しく表示されません）
※ 3 残量がなくなると、「録音残」「メモリー残」「インク残」が赤色で表示されます。
※ 4 残量表示が 1 本のときは、赤色で表示されます。

■ カラー液晶ディスプレイの表示について

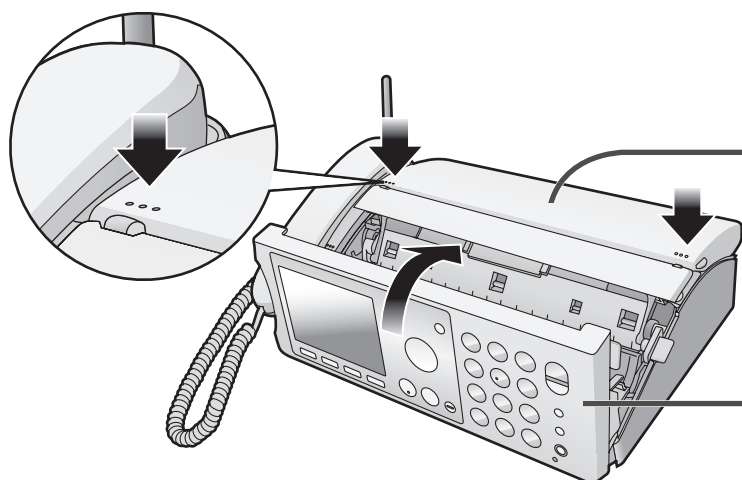
- ファクス親機や子機を操作しないと、節電のため、約２分後に表示が消えます。
（常時表示させることはできません）
- ファクス親機や子機を操作したり、電話がかかってきたりすると表示されます。
- ファクスのメモリーがいっぱいになったときなど、お知らせがあるときには表示は消えません。
ファクス親機を操作すると、操作を終了して約 2 分後に消えます。

インクフィルムを取り付ける

■インクフィルムを交換するとき（☞93 ページ）

3 インクフィルムを入れる

● インクフィルムを手前の操作パネル側に置かないでください。ガラス・白く平らな面が汚れると、記録紙や相手の受信用紙に白や黒の線が入る原因になります。（☞84 ページ）

4 オレンジ色のギアを奥にまわして インクフィルムのたるみを取る

5 「カチッ」と音がするまで 両端の「◦◦◦」の部分を押してバックカバーを閉める

6 操作パネルを閉める

● 付属品のインクフィルムは、お試し用で長さ約 10 m です。（A4 サイズで約 30 枚分）
● インクフィルムは、数行のプリントでも、記録紙 1 枚につき約 32 cm 使用されます。

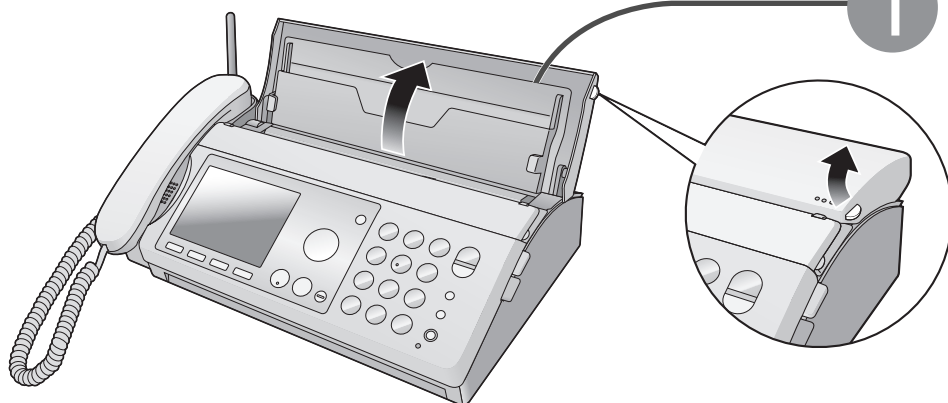
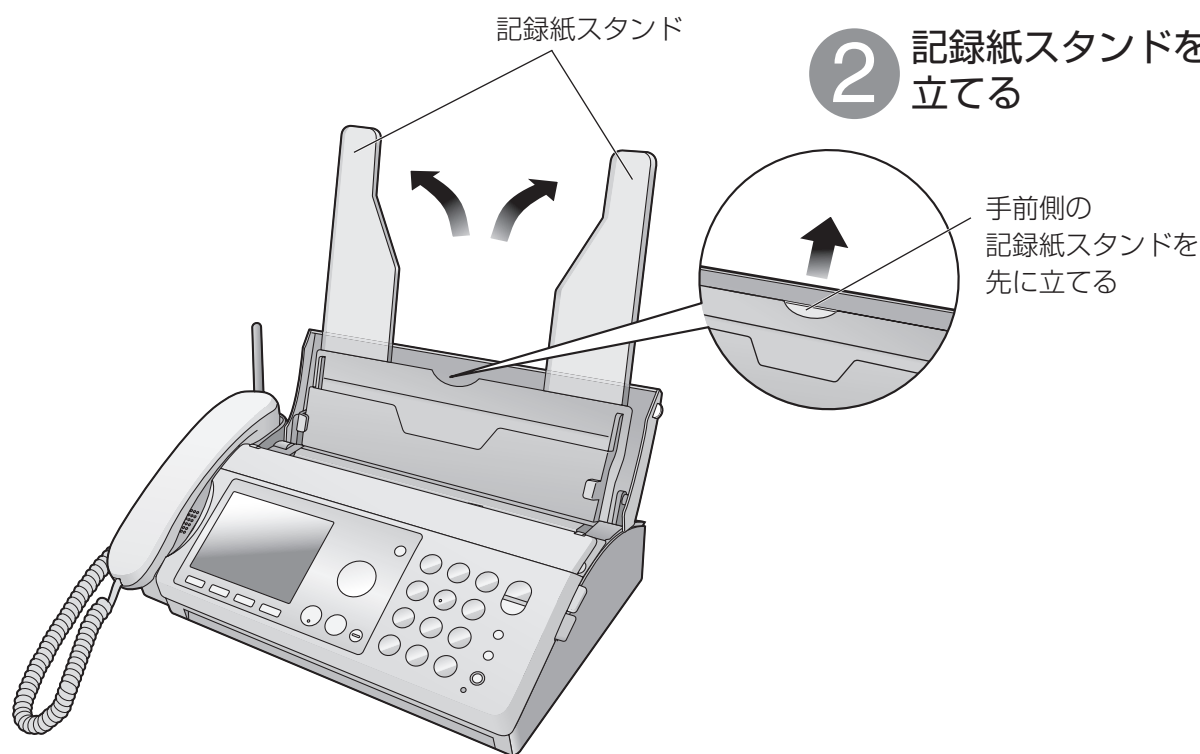
記録紙をセットする

ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。
（開けたままにしていると、ほこりが中に入り、**記録紙詰まりの原因になります**）
受信したファクスのプリントやコピーをするときに、下記の手順で記録紙をセットしてください。

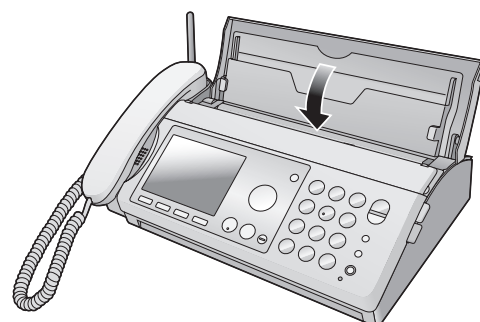
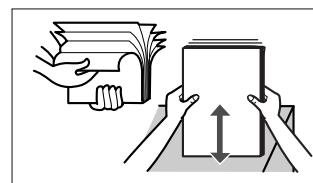
1. 記録紙トレーを開ける

記録紙スタンド

2. 記録紙スタンドを立てる

手前側の
記録紙スタンドを
先に立てる

記録紙トレーをたたむとき

① 記録紙を取り出し
記録紙スタンドをたたむ。
●左右のどちら側からも
たためます。

② 記録紙トレーを
閉める。

お願い

- ファクス親機は、なるべく風のあたらない場所に設置してください。
（風があたって記録紙が手前に倒れたりすることがあります）
- 記録紙を追加するときは、残っている記録紙を一度取り出してから、一緒に入れ直してください。
（残っている記録紙にそのまま追加すると、紙が詰まったり、重なってプリントされたりします）

お知らせ

- 記録紙をセットしていないときにファクスがくると、メモリーに受信されます。(☞44 ページ)
受信した内容をディスプレイで見る、または記録紙をセットしてからプリントしてください。
(☞48 ページ)

接続する

1 アンテナを立てる

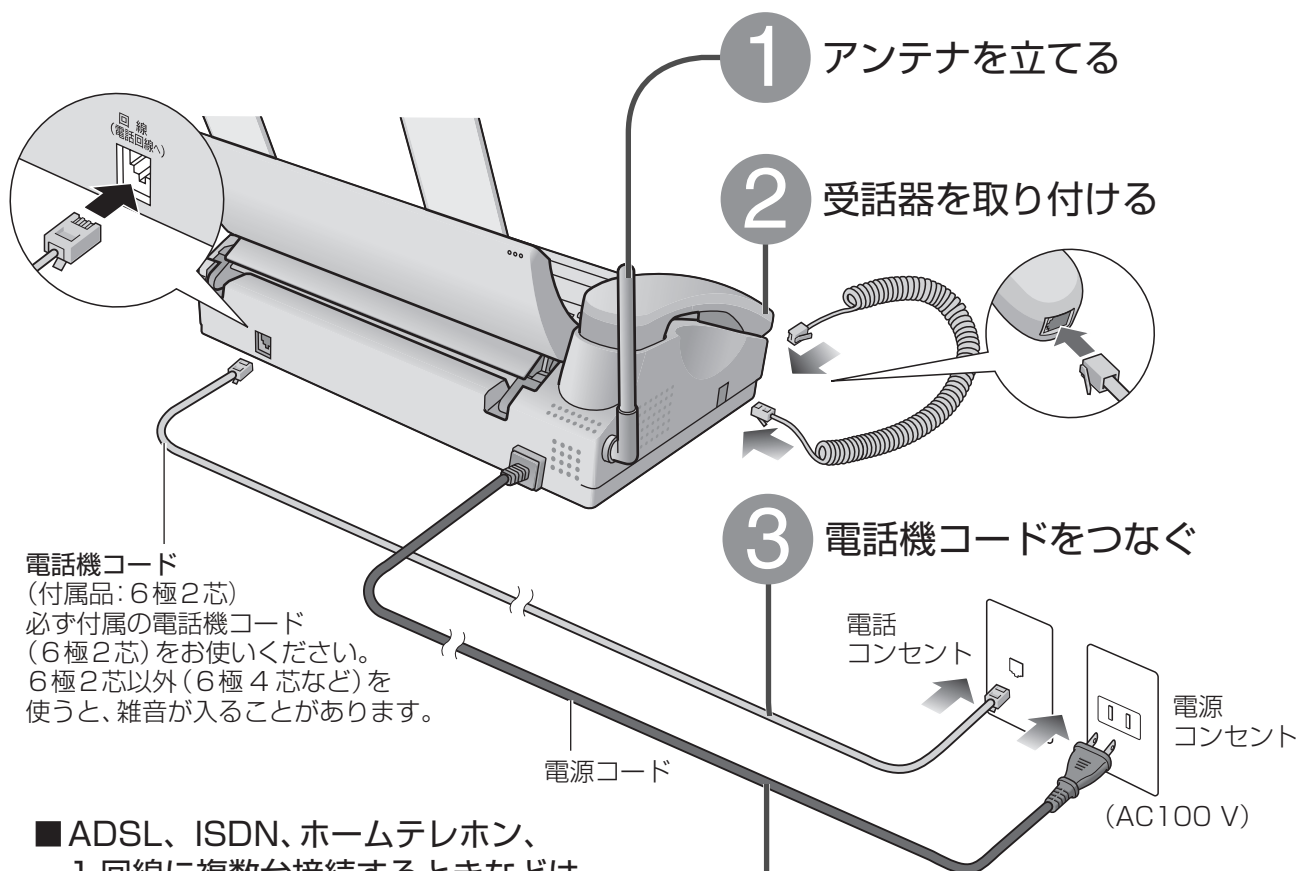
2 受話器を取り付ける

3 電話機コードをつなぐ

電話機コード
（付属品：６極２芯）
必ず付属の電話機コード（６極２芯）をお使いください。
６極２芯以外（６極４芯など）を使うと、雑音が入ることがあります。

電源コード

電話コンセント

電源コンセント（AC100 V）

■ADSL、ISDN、ホームテレホン、１回線に複数台接続するときなどは…
（☞90・91 ページ）

■ひかり電話をご利用の場合、「選んでケータイ」機能は利用できません（☞26 ページ）

手順④の設定画面では、ストップを押してください。

（「選んでケータイ」は「なし」に設定されます）

4 電源コードをつなぐ

■回線種別の自動設定のあと、「選んでケータイ」の設定をしてください（☞ 右ページ「電源コードをつなぐと…」）

5 天気予報（177）に電話がかかることを確認する

● 通話料金がかかります。

■かからないとき

電話回線の種別を手動で設定する。
（☞22 ページ）

● ADSL 回線などに接続すると、モデムによっては正しい回線種別の設定ができず、フリーダイヤルや「117」「177」「110」「119」などにかからない場合がありますので、ご契約の回線種別に合わせて手動で設定してください。

電話コンセントの種類

■ ３ピンプラグ式のとき

アダプター（市販品）または、資格者の工事が必要。

■直接配線方式のとき

資格者の工事が必要。

または

電源コードをつなぐと…

1. 回線種別（ダイヤル / プッシュ）の自動設定が始まる。

回線種別ﾁｪｯｸ中

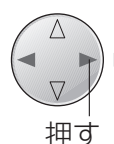
- 表示中はボタン操作をしないでください
- 自動設定が終了すると、「選んでケータイ」の設定画面が表示されます。

■ 回線種別が 設定できませんでした 手動設定してください が表示されたときは（☞22 ページ「電話回線の種別を手動で設定するとき」）

2. 「選んでケータイ」の設定をする（あとで設定することもできます。詳しくは ☞26 ページ）

「選んでケータイ」とは、携帯電話に電話をかけるとき、固定電話会社（事業者識別番号）を登録しておき、ダイヤルするときに自動的にその番号を付加してダイヤルする機能です。（☞26 ページ）

「あり」または「なし」を選ぶ

押す　押す

選んでｹｰﾀｲ
あり,なし

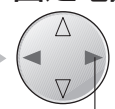
- 「選んでケータイ」を利用しないとき、あとで設定するときは「なし」を選ぶ。

■ **「なし」を選んだとき**

「選んでケータイ」の設定が終わる

■ **「あり」を選んだとき**

固定電話会社を選ぶ

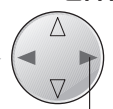
繰り返し押す　押す

会社選択
NTT東日本(0036)

会社選択
NTT西日本(0039)

会社選択
その他

- 「その他」を選び 決定 F3 を押したときは事業者識別番号（会社番号）を入力 ➡ 決定 F3

IP 電話の設定を選ぶ

押す　押す

設定されると下記表示が出る

IP電話解除
あり,なし

- IP 電話を利用しないとき、IP 電話解除番号をあとで設定するときは「なし」を選ぶ。
- IP 電話を利用するときは「あり」を選び 決定 F3 を押したあと、IP 電話解除番号を入力 ➡ 決定 F3

選んでｹｰﾀｲは
設定されました

■ **途中でやめるとき**

押す

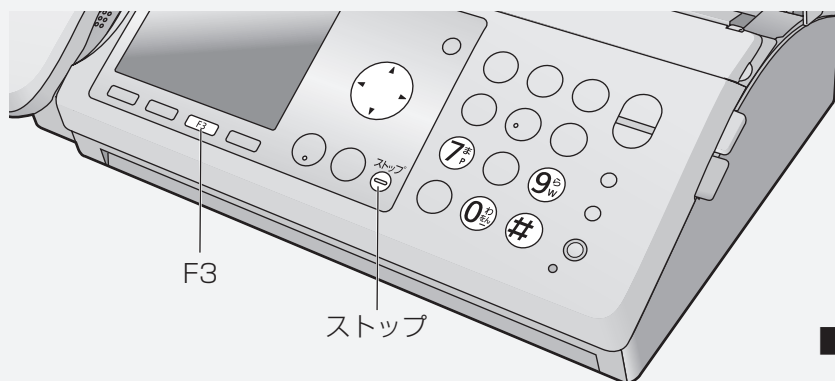
- 「選んでケータイ」は「なし」に設定されます。

お知らせ

- **事業者識別番号および、通話料金、サービス内容については、固定電話会社へお問い合わせください。**
- 「選んでケータイ」の設定画面で約 2 分間操作しないと、設定が終わります。

IP 電話解除番号について

- IP 電話の契約をしているときに、一時的に IP 電話回線を使わないで電話をかけるための番号です。IP 電話解除番号を登録すると、「選んでケータイ」を使って携帯電話にダイヤルするときに、自動的に IP 電話解除番号が最初に付加されます。
- 「選んでケータイ」を利用時、IP 電話解除番号を登録しないと、携帯電話にかけられないことがあります。
- IP 電話解除番号は、IP 電話の事業者へお問い合わせください。

回線の設定

■こんなときにのみ設定してください
● 接続時（☞20ページ）うまく電話回線種別が自動設定されなかったとき。

電話回線の種別を手動で設定するとき

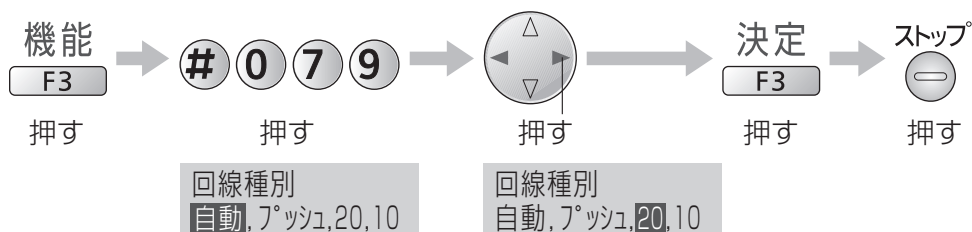
電話回線の種別を設定する

回線種別を選ぶ

機能 F3 → #079 → ◀▶ → 決定 F3 → ストップ

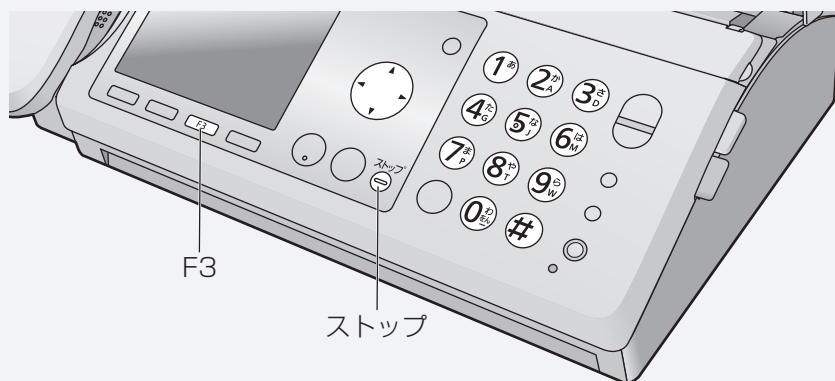
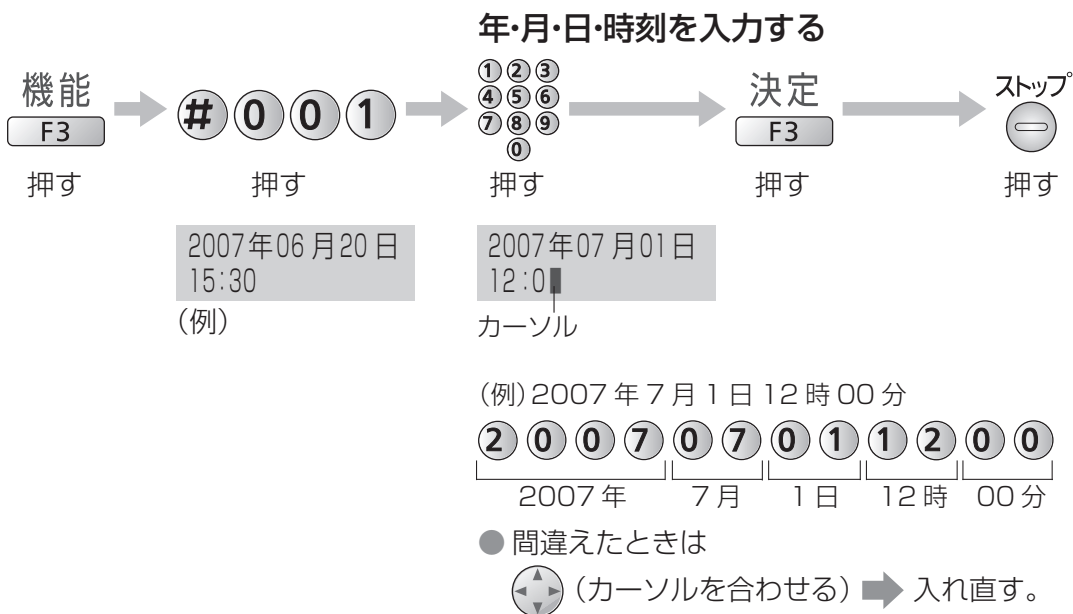
押す　押す　押す　押す　押す

回線種別
自動, ﾌﾟｯｼｭ,20,10

回線種別
自動, ﾌﾟｯｼｭ,20,10

● ﾌﾟｯｼｭ：プッシュ回線
20：ダイヤル回線（速度 20 PPS）
10：ダイヤル回線（速度 10 PPS）
自動：自動設定（お買い上げ時の設定）

■「ﾌﾟｯｼｭ」「20」「10」のいずれかを選んだとき

■ 電話を天気予報（177）にかけてみて、かからないときは
「ﾌﾟｯｼｭ」→「20」→「10」の順に設定を変えて再度試してください。
（どの設定でもかからないときは NTT 窓口 ☎ 116 へ）

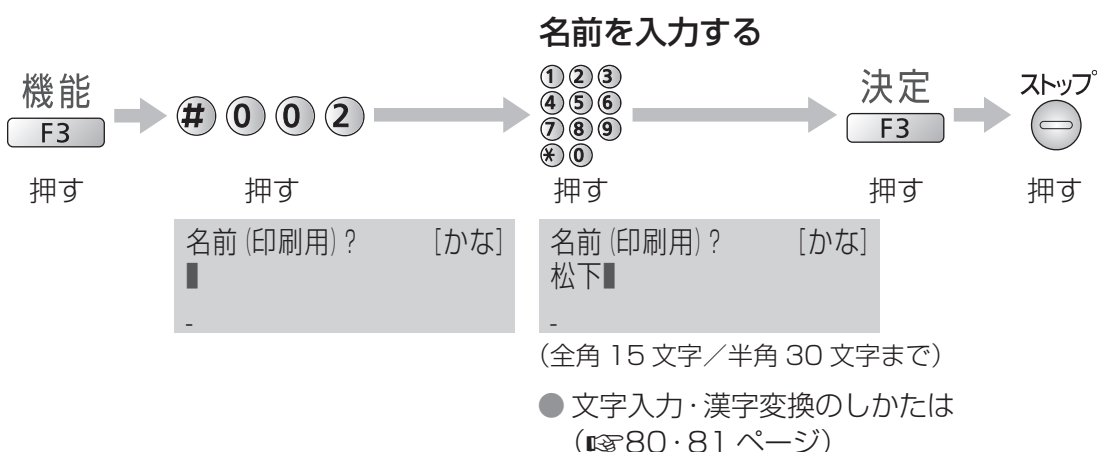
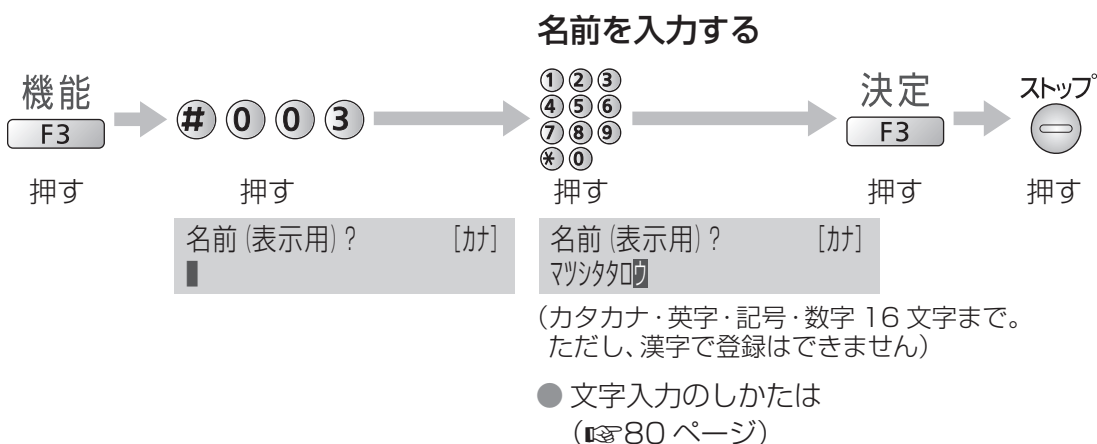
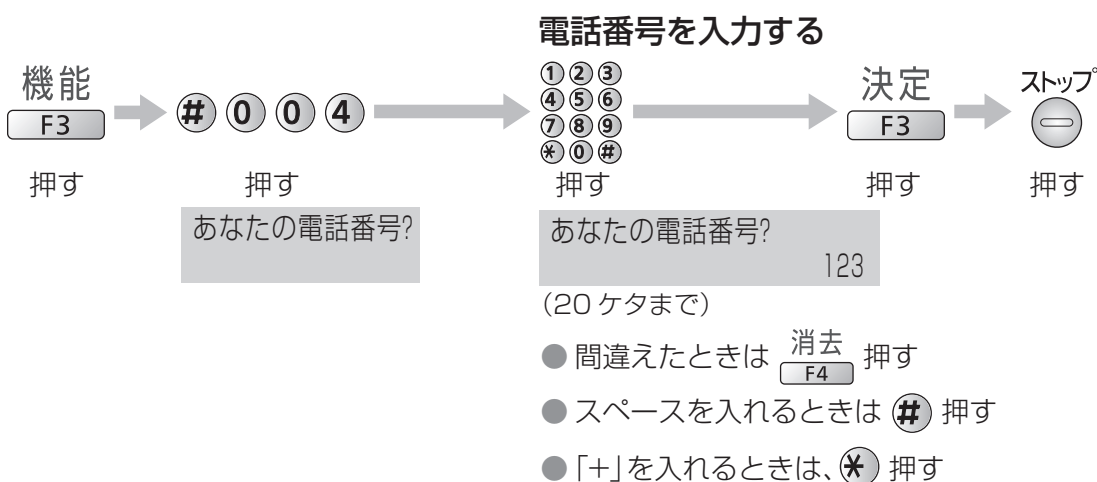
日付・時刻の設定

日付や時刻を設定するとき

お願い

- ファクス親機に表示される日付・時刻は、めやすとしてご利用ください。1か月に約60秒ずれることがあります。日付・時刻がずれたときには、設定し直してください。

名前や電話番号の登録

お好みで、登録しておくと便利です。

あなたの名前と電話番号を登録したいとき

- 名前（印刷用）や電話番号を登録すると、ファクスを送ったとき相手の記録紙にプリントされます。また、名前（表示用）を登録すると、通信中に相手のディスプレイに表示されます。（相手が当社製のファクスの場合のみ）
- 「184」をダイヤルして送ると（☞58 ページ）、相手にプリントや表示はされません。

操作案内／読み上げダイヤル

操作案内について

操作のしかたをディスプレイと音声で案内します。

操　作	ページ	音声が流れないようにするには
ファクスを送る	42	機能 F3 ➡ # 0 2 1 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ 決定 F3 ➡ ストップ ● 原稿をセットしたときに自動的に始まる操作案内を、流れないようにします。 （ディスプレイの操作案内も、表示されないようにします）
コピーする	52	
電話帳に登録する	36	機能 F3 ➡ # 1 6 7 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ 決定 F3 ➡ ストップ
短縮ダイヤルに登録する	40	
再ダイヤル・電話帳・短縮ダイヤルで電話をかける	29	
着信メモリーで電話をかける	59	
インクフィルムを交換する	93	機能 F3 ➡ # 1 7 3 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ 決定 F3 ➡ ストップ
メモリー受信したファクスを選ぶ	48	機能 F3 ➡ # 1 7 7 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

読み上げダイヤルについて

ファクス親機でダイヤルすると、押したボタンの番号を音声で読み上げます。
（「⋇」はスター、「#」はシャープ、「留守（ポーズ）」はポーズと読み上げます）

■ダイヤルを読み上げないようにするには

機能 F3 ➡ # 1 3 0 ➡ 「なし」を選ぶ ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

- 押したボタンの番号を読み上げようとしたときに次の番号を押すと、前の番号の読み上げを中断します。音声を聞いて番号を確かめながら、ゆっくりダイヤルしてください。
- 受話器を置いたままダイヤルしたときは、受話器を上げる前に 聞き直し を押すと、読み上げた番号をもう一度聞くことができます。

■操作案内／読み上げダイヤルの音量を変えるには

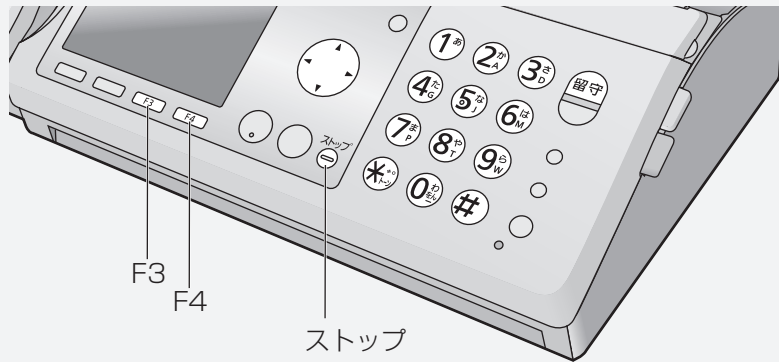
ファクス または コピー （操作案内が始まる）➡ 音声が流れている間に ◁▷ 押す。

- 上記すべての音量が変わります。
- キーロック中は、キーロック解除後に操作してください。

お知らせ

- おやすみモードのときは、音声は流れません。

「選んでケータイ」を使う

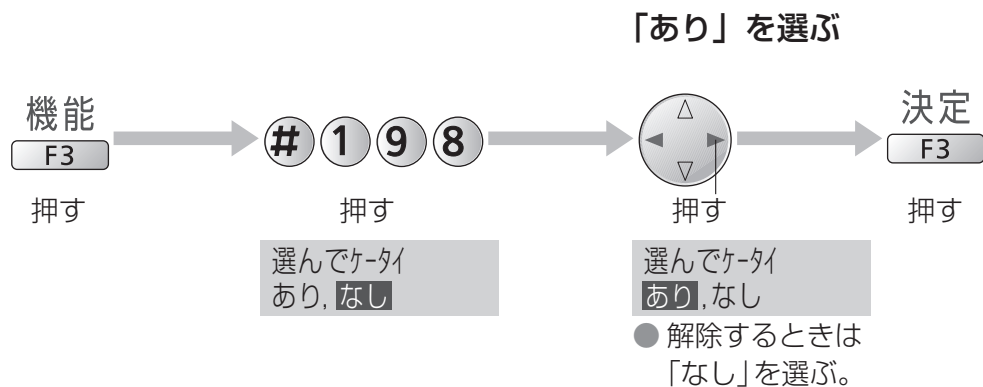
携帯電話へおトクにかけるサービスを利用するとき、登録しておくと便利です。
携帯電話に電話するとき、相手の電話番号の前に「00XX」などの固定電話会社の事業者識別番号を付けると、その電話会社の料金で通話できます。(2007 年 6 月現在)
ファクス親機で「00XX」を登録しておけば、ファクス親機や子機で携帯電話にダイヤルするとき、自動的に「00XX」を付けることができます。

- 事業者識別番号および、通話料金、サービス内容については、固定電話会社にお問い合わせください。
- ひかり電話をご利用の場合、この機能は利用できません。詳しくは（☞ 下記「■ひかり電話をご利用の場合」）

事業者識別番号を設定する

機能 F3 押す → #198 押す → 「あり」を選ぶ 押す → 決定 F3 押す

選んでｹｰﾀｲ
あり, なし

選んでｹｰﾀｲ
あり, なし

- 解除するときは「なし」を選ぶ。

■IP 電話使用時、上記の設定をして携帯電話にかけられなくなったとき

機能 F3 → #199 → 「あり」を選ぶ → 決定 F3 → IP 電話解除番号を入力（8 ケタまで） → 決定 F3 → ストップ

- IP電話解除番号（一時的にIP電話を使わないための番号）については、IP電話の事業者にお問い合わせください。
- IP 電話解除番号を変更するときは　番号入力画面で 消去 F4 → 入力し直す。

■ひかり電話をご利用の場合

NTT 東日本・NTT 西日本のひかり電話では、「00X △」の番号を付けて電話をかけることができませんので、「選んでケータイ」機能を使うと、携帯電話にかけられなくなります。その他の事業者のひかり電話をご利用の場合も、「00X △」を付けて電話をかけられない場合がありますので、ご利用の各事業者にお問い合わせください。

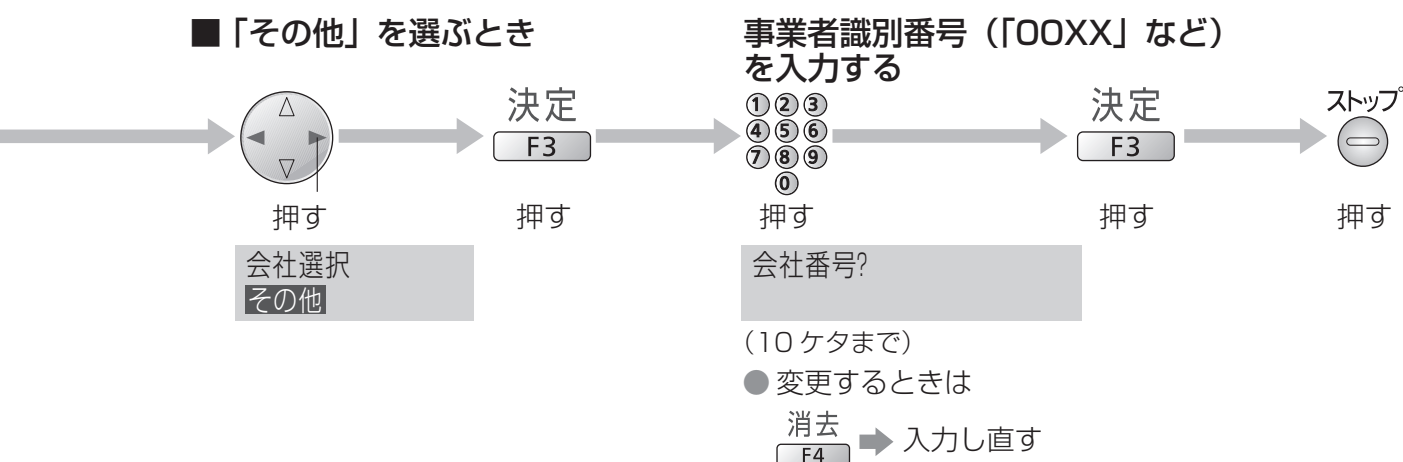
NTT 東日本 、NTT 西日本のサービスを利用するとき

会社選択で「NTT 東日本（0036）」または「NTT 西日本（0039）」を選んでください。

NTT 東日本（0036）のサービス提供エリア

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県及び長野県

NTT 西日本（0039）のサービス提供エリア

富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県

お知らせ

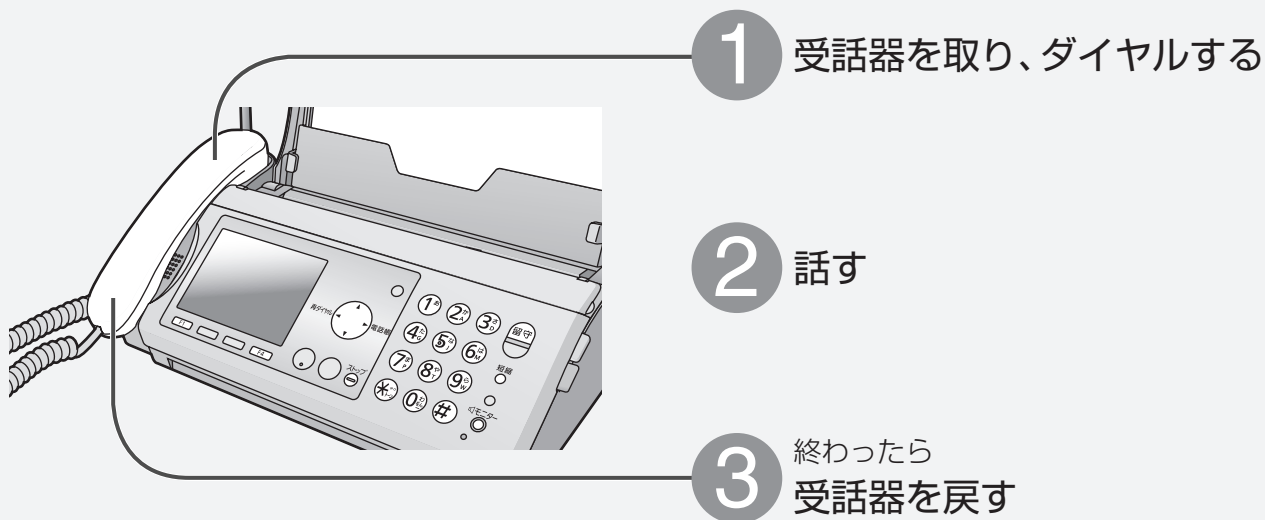
- 電話をかけるとき、事業者識別番号「00XX」はディスプレイに表示されません。
- 電話をかけられないとき
  - 電話の回線種別を確認し、手動で設定し直してください。
  - 事業者識別番号を入力するとき識別番号のあとに 留守 （ポーズ）を入力してお試しください。
  - 入力してもかけられないときは、固定電話や IP 電話の各事業者にお問い合わせください。
- 「090」「080」から始まる携帯電話番号のみにはたらきます。（「070」などには、はたらきません）
- 通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- 携帯電話番号の前に「1111」をダイヤルすると、一時的に事業者識別番号を付けずにかけることができます。

電話をかける／受ける

電話をかける（いろいろなかけかたは ☞ 右ページ）

1 受話器を取り、ダイヤルする

2 話す

3 終わったら
受話器を戻す

お知らせ

- 「ツー」音が聞こえてからダイヤルしてください。
- ファクス親機でダイヤルすると、番号を音声で読み上げます。**（読み上げダイヤル）**（☞25・76 ページ）

- 電話番号に 184 や 186 をつけてかけるとき（☞58 ページ）
  1 8 4（または 1 8 6）➡ 留守（ポーズ）➡ 電話番号 ➡ 取る
  - かけられないときは（☞98 ページ）

- 構内交換機に接続しているとき
  外線発信番号 ➡ 留守 （ポーズ）➡ 電話番号 ➡ 取る

- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき
  相手につながったあと ✱ （トーン）押す

- 表示される通話時間はめやすです。
  通話料金は相手が電話に出てからかかります。

（例）
時間 0:01:30
0987654321

電話を受ける

1 受話器を取り、話す

2 終わったら
受話器を戻す

- 電話に出ても「ポーポー」音や無音のときは、ファクスが送られてきています。（☞45 ページ）

■いろいろなかけかた

お知らせ

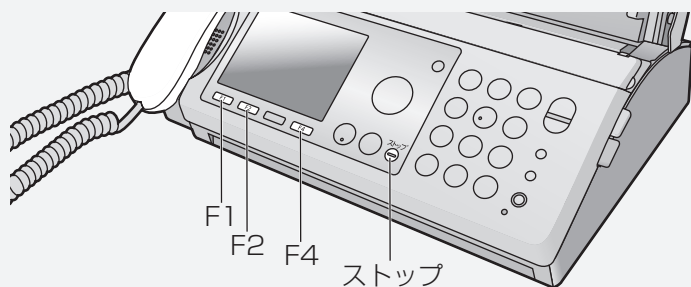
● 電話帳でかける相手を選ぶときに

- フリガナの頭文字から探すには
  （電話帳）➡ 0 ～ 9（フリガナ）➡（選ぶ）
- グループから探すには
  （電話帳）➡ # ➡ 1 ～ 9（グループ番号）➡（選ぶ）

● 再ダイヤル・電話帳・短縮ダイヤルでかけるときは操作案内が流れます。（ファクス親機のみ）
流れないようにするには（☞25 ページ）

通話中の機能

受話音の大きさを変える	音量 押して**大きく**　音量 押して**小さく**　● 詳しくは（☞74 ページ）
相手に待ってもらう（保留）	保留 F4 押す（通話に戻るときは再度押す） ● 保留中は相手にメロディ「曲名：愛の挨拶」（和音ではありません）が流れる。
ファクスを受ける	通話後、または「ポーポー」音や無音のとき ファクス 押す → 戻す　● 詳しくは（☞45 ページ）
キャッチホンを受ける（NTT との契約が必要）	キャッチ F1 押す ■ **キャッチホンでファクスが来たとき**（☞ 上記「ファクスを受ける」） ● 元の相手との通話は切れる。 ■ **元の相手との通話に戻るとき** キャッチ F1 押す
通話を録音する（約 12 分まで） ● 3 者通話、モニターでの通話ではできません。	聞き直し 通話録音 押す → はい F1 押す 通話録音を始める前に警告の音声を相手に流しますか？ ● 相手にメッセージ「録音を始めます」が流れたあと、録音が開始される。 ● いいえ F4 を押すと、メッセージが流れずに録音が開始される。 （やめるときは ストップ 押す） ■ **録音した通話を聞くとき** 通話を終了したあとで 聞き直し 押す ● 留守番電話の用件も同時に再生される。（再生中の操作は ☞55 ページ「■ 用件を再生中に…」） ● 録音時間について（☞95 ページ）

（続く）

メッセージまたはチャイムで通話を拒否する（通話拒否）

- 呼出音が鳴っているときや通話中に通話拒否の操作をすると、相手に通話を拒否するメッセージを流し、電話が切れます。通話中はチャイムを鳴らして、来客があったようにすることもできます。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは、通話拒否したあと、今後、電話を受けないようにすることができます。（☞32 ページ）

■ メッセージを中止し、電話に出るには

- 呼出音が鳴っているときに通話拒否の操作をしたときは、メッセージ中に 取る
  （メッセージ中に ストップ を押すと、メッセージを中止し電話が切れます）
- 通話中に通話拒否の操作をしたときは、受話器を上げた状態で、メッセージ中に ストップ 押す
  （受話器を置いた状態で、メッセージ中に ストップ を押すと、メッセージを中止し電話が切れます）

お知らせ

- メッセージ中は、スピーカーから通話拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。
  音量を変えるには（☞74 ページ）
- 電話をかけたときは使えません。
- キャッチホンを受けたときは（キャッチ F1）、上記機能は、はたらきません。

通話中の機能（続き）

ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき（契約が必要）

■呼出音が鳴っているときに、メッセージを流して通話を拒否する操作をすると

相手にメッセージが２回流れ、電話が切れる。

- 電話番号を通知してきた相手には…メッセージ⑩（☞79 ページ）
- 非通知の相手には……メッセージ⑥（☞79 ページ）
- 公衆電話の相手には…メッセージ⑦（☞79 ページ）
- 表示圏外の相手には…メッセージ⑧（☞79 ページ）

電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき
通話拒否中 切るには［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 迷惑設定しますか？	通話拒否中 切るには［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 拒否設定しますか？

■通話中にメッセージを流して通話を拒否する操作をすると

相手にメッセージ⑩（☞79 ページ）が２回流れ、電話が切れる。

電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき
通話拒否中 中止は［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 迷惑設定しますか？	通話拒否中 中止は［ｽﾄｯﾌﾟ］押す 拒否設定しますか？

■通話中にチャイムを鳴らして通話を拒否する操作をすると

相手にチャイムが聞こえる。（電話は切れない）

電話番号を通知してきたとき	非通知・公衆電話・表示圏外のとき
迷惑設定しますか？	拒否設定しますか？

■通話拒否したあとは、今後、電話を受けないようにすることができます。

上記ディスプレイを表示中に はい［F1］ 押す

- 電話番号を通知してきたとき…相手が「迷惑電話着信拒否」に設定される（☞60 ページ）
- 非通知のとき………「非通知着信拒否／留守応答」が「受けない」に設定される（☞61 ページ）
- 公衆電話のとき……「公衆電話着信拒否／留守応答」が「受けない」に設定される（☞61 ページ）
- 表示圏外のとき……「表示圏外着信拒否／留守応答」が「受けない」に設定される（☞61 ページ）

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入ると、上記機能は、はたらきません。

子機と話す （電話内線通話）

付属の子機など、電話機能が使える子機と通話ができます。

● **ファクス親機とドアホン親機間の通話はできません。**

ファクス親機から子機へ

ファクス親機

取り、 内線 **押し、**

①～⑥※（内線番号）**押す**

■すべての子機を呼ぶとき

内線 ➡ ㊍

子　機

充電台から取る、または

(内線) **押し、話す**

子機からファクス親機へ

子機の名前を表示

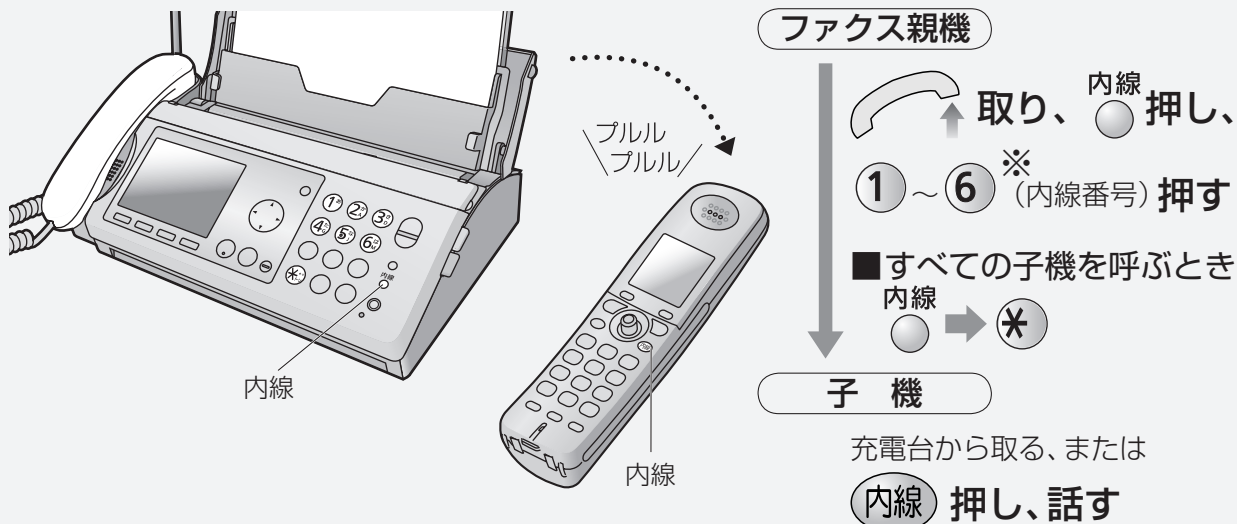
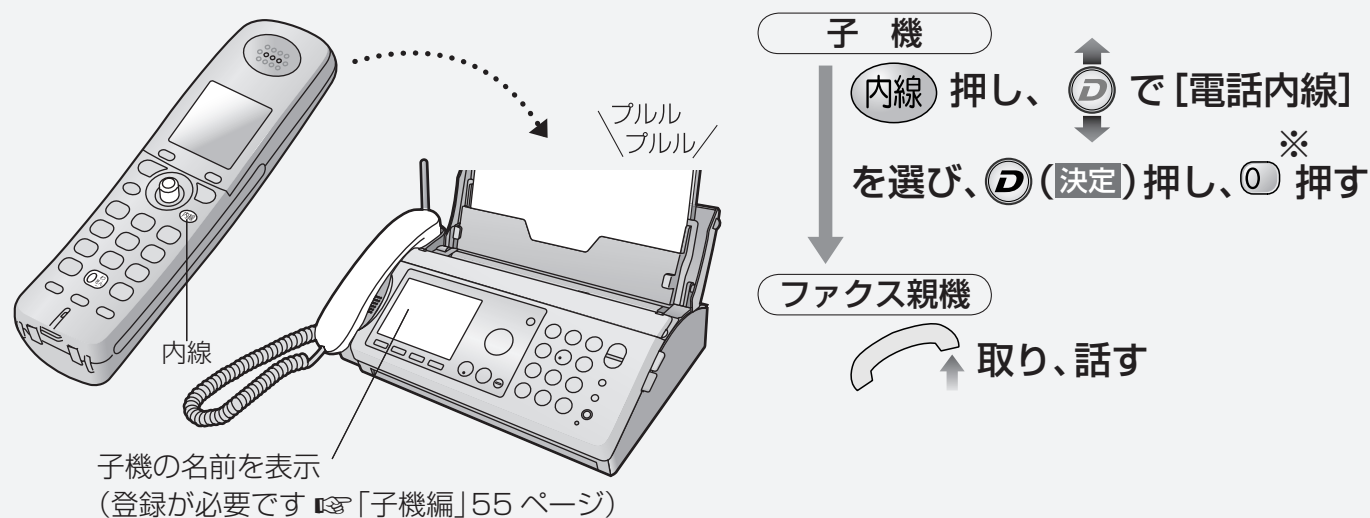
（登録が必要です ☞「子機編」55 ページ）

子　機

(内線) **押し、** Ⓓ **で [電話内線]**

を選び、 Ⓓ（決定）**押し、** ⓪※ **押す**

ファクス親機

取り、話す

■通話を切るには　戻す

■電話内線通話中に電話がかかってきたとき

呼出音（ベル 1 ☞75 ページ）が聞こえる。

〈話すには〉受話器を戻してから取る。（外線につながる）

■「内線呼出」が「音声」のときは（☞75 ページ）

〈呼び出す側〉呼び出し操作後、呼出音が 2 回聞こえたあと、受話器（または子機）を使って相手に呼びかけてください。

〈 受ける側 〉呼出音が 1 回鳴ったあと、スピーカーから相手の声を聞くことができます。受話器を取って（子機は充電台から取る、または (内線) 押して）話してください。

■電話機能が使える子機が 2 台以上あるとき

● 子機同士での電話内線通話もできます。（☞「子機編」34 ページ）

お知らせ

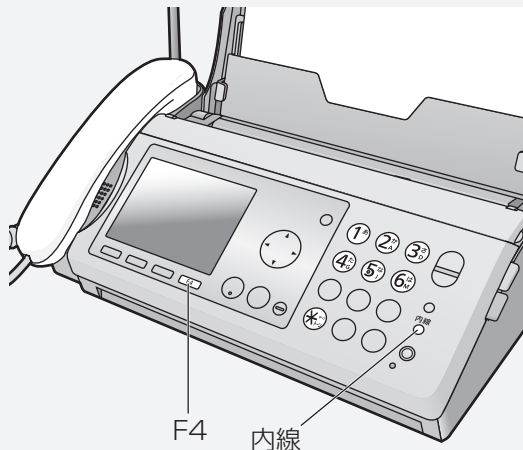
● 電話内線通話では子機のスピーカーホンは使えません。

● 子機から電話内線通話をするときなど、子機側の操作について詳しくは（☞「子機編」34 ページ）

※子機が 1 台しかなく、お買い上げ後、一度もドアホンからの呼び出しがない場合は、内線番号を押す操作は不要です。（自動的に相手の子機やファクス親機を呼び出します）

電話をまわす／3者通話にする

付属の子機など、電話機能が使える子機との間で、電話をまわしたり、外の相手との3者通話ができます。

● **ドアホン親機を呼び出して、電話をまわしたり、3者通話にすることはできません。**

ファクス親機から
子機へまわす
（ファクス親機で3者通話にする）

ファクス親機側

通話中
子機を呼び出す

内線 押す ➡ 1～6 押す※
（内線番号）

■ すべての子機を呼ぶとき

内線 ➡ ＊

子機側

プルル プルル

■まわす（または3者通話の）相手が出ないとき

内線 押す（通話に戻る）

子機から
ファクス親機へまわす
（子機で3者通話にする）

子機側

通話中
ファクス親機を呼び出す

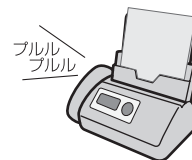
内線 押す ➡ 0 押す※

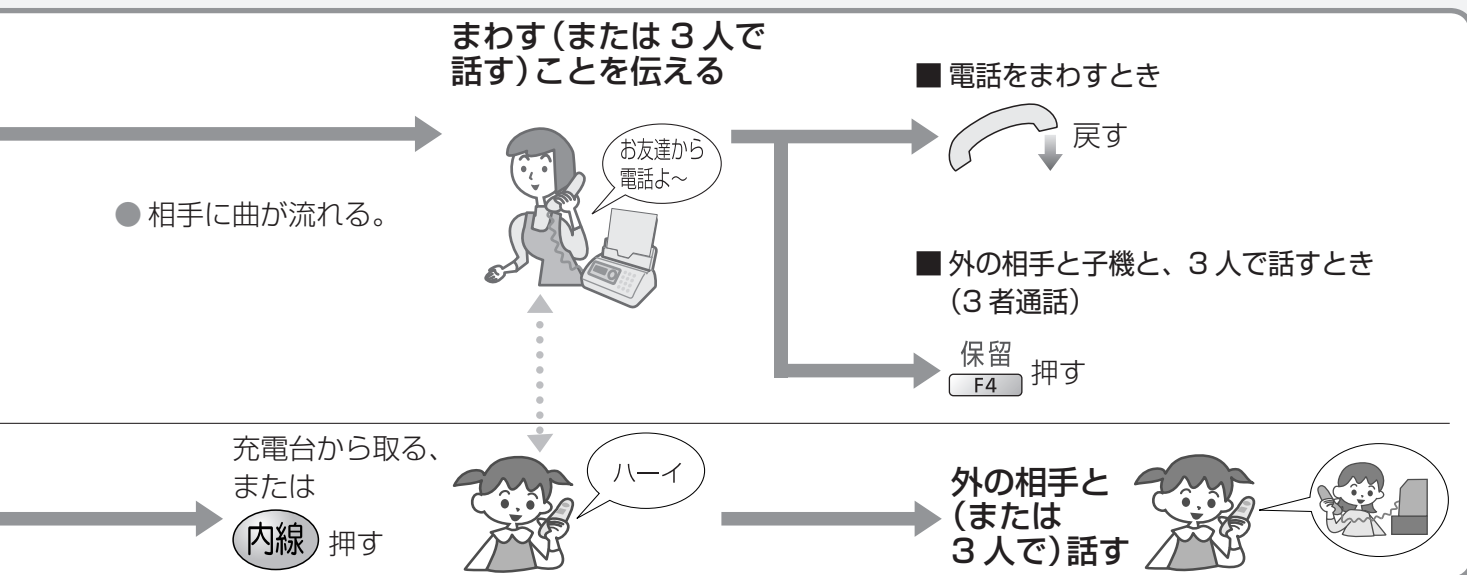
ファクス親機側

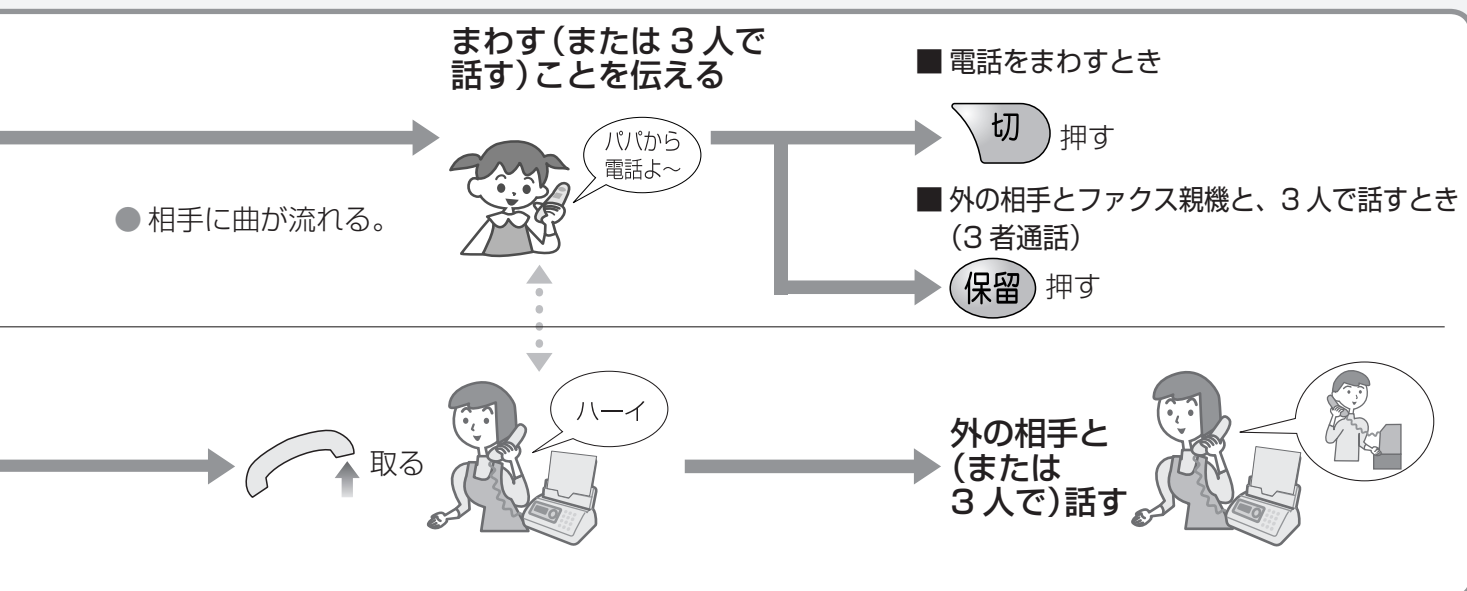
プルル プルル

■まわす（または3者通話の）相手が出ないとき

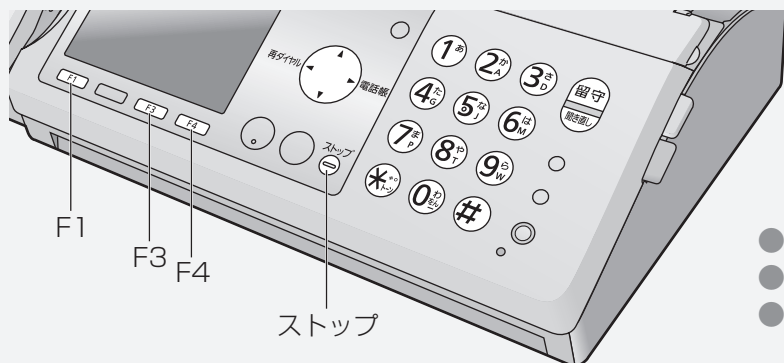
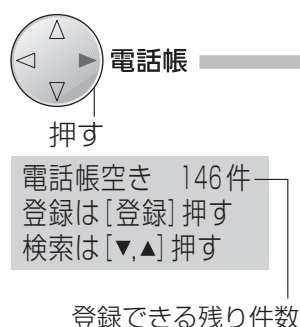
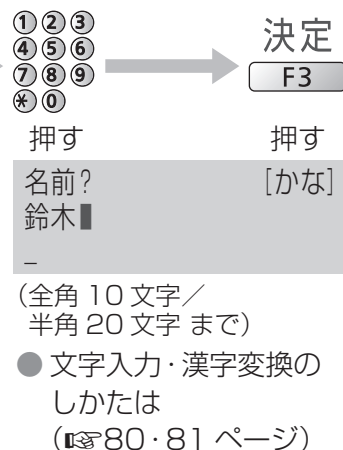
外線 押す（通話に戻る）

※子機が1台しかなく、お買い上げ後、一度もドアホンからの呼び出しがない場合は、内線番号を押す操作は不要です。（自動的に相手の子機やファクス親機を呼び出します）

お知らせ

● 「内線呼出」が「音声」のときは、（☞33ページ、設定は☞75ページ）
● 子機でボイスチェンジやミュートを使っているときは、電話をまわす操作をすると解除されます。
● 子機から電話をまわすときなど、子機側の操作について詳しくは（☞「子機編」35ページ）

■まわす相手が近くにいるとき

〈ファクス親機〉 保留 F4 ➡ 戻し、まわしたい相手に声をかける ➡〈子機〉 外線 押す

■まわす相手が近くにいるとき

〈子機〉 保留 ➡ まわしたい相手に声をかける ➡〈ファクス親機〉 取る

電話帳に登録する

● 電話帳で電話をかけるには（☞29 ページ）
● 電話帳でファクスを送るには（☞43 ページ）
● 登録済みの相手先を、子機へ転送するには（☞38 ページ）

お知らせ

● 184 や 186 をつけて電話番号を入力するとき（☞58 ページ）
　①⑧④（または①⑧⑥）のあとに 留守（ポーズ）を入れる
　（ポーズを入れないと誤発信することがあります。かけられないときは ☞98 ページ）
● 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）がすでに登録されています。（修正・消去できます）

■途中でやめるとき ストップ 押す

■操作案内が流れないようにするには（☞25 ページ）

■登録を確認するには

（電話帳）➡（順に表示）➡ ストップ

● を押すと、次のフリガナ順に表示されます。
　数字（小さい順）→アルファベット（A ～ Z）→カナ（ア～ン）→記号→電話番号（名前登録なし）
● よくかける相手を先に表示させたいときは、フリガナの前に数字をつけて登録すると（例：「001 ﾅｶﾑﾗ」「002 ｲｲﾂﾞｶ」…）、数字の小さい順に表示されます。

■再ダイヤルから登録するには

（再ダイヤル）➡ 相手を選び ➡ 電話帳登録 F3 ➡ 名前を入力 ➡ 決定 F3 ➡ フリガナを確認 ➡ 決定 F3 ➡ 電話番号を確認 ➡ 決定 F3 ➡ グループ番号を入力 ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

1 ～ 9 のグループ番号をつけて登録すると

グループ別に相手を探して電話をかけたり（☞29 ページ）、ナンバー・ディスプレイサービスを利用すれば、グループごとに呼出音を変えることができます。（☞63 ページ）

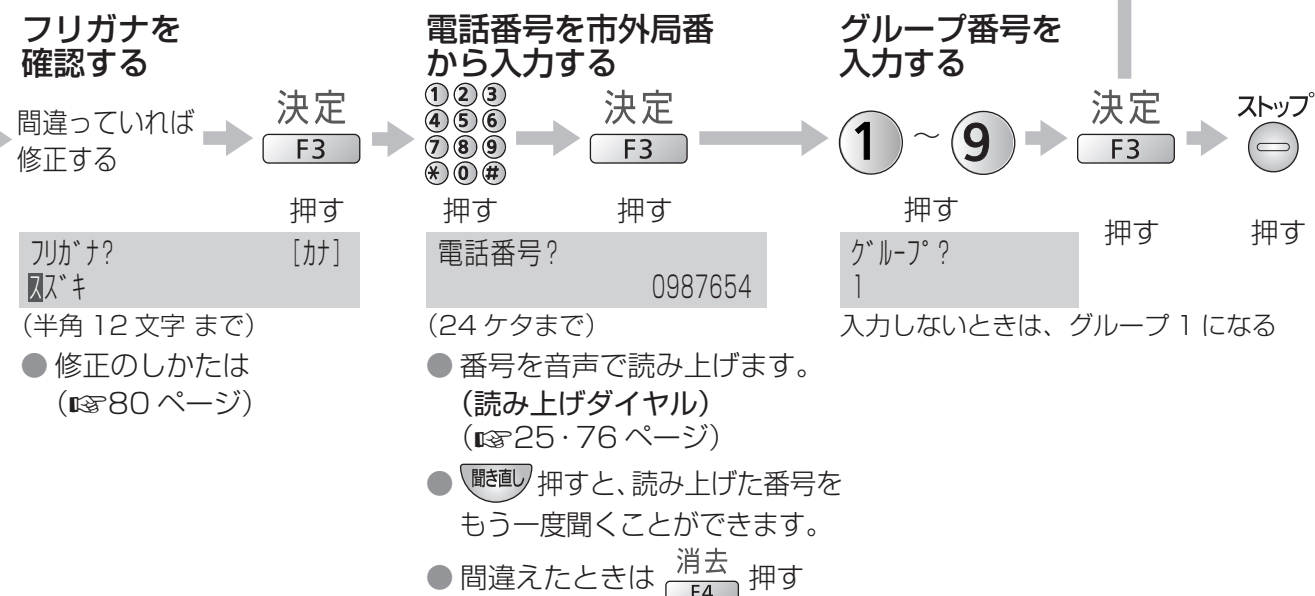
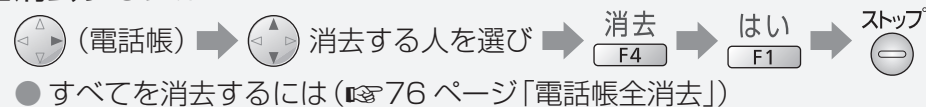
■修正するには

（電話帳）➡ 修正する人を選び ➡ 修正 F3 ➡ 名前を修正 ➡ 決定 F3 ➡ フリガナを修正 ➡ 決定 F3 ➡ 電話番号を修正 ➡ 決定 F3 ➡ グループ番号を修正 ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

■消去するには

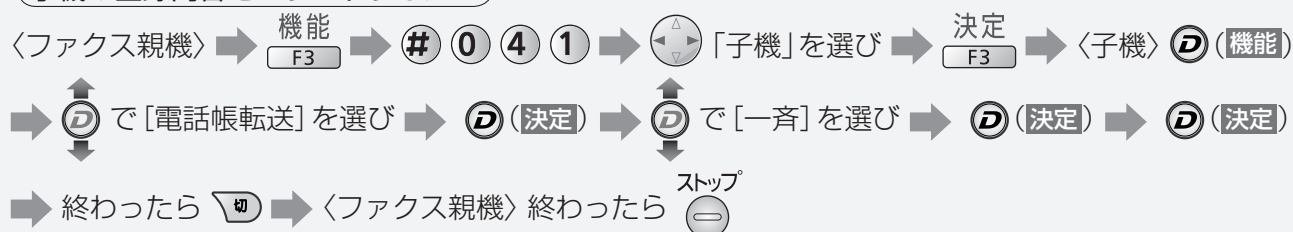
● すべてを消去するには（☞76 ページ「電話帳全消去」）

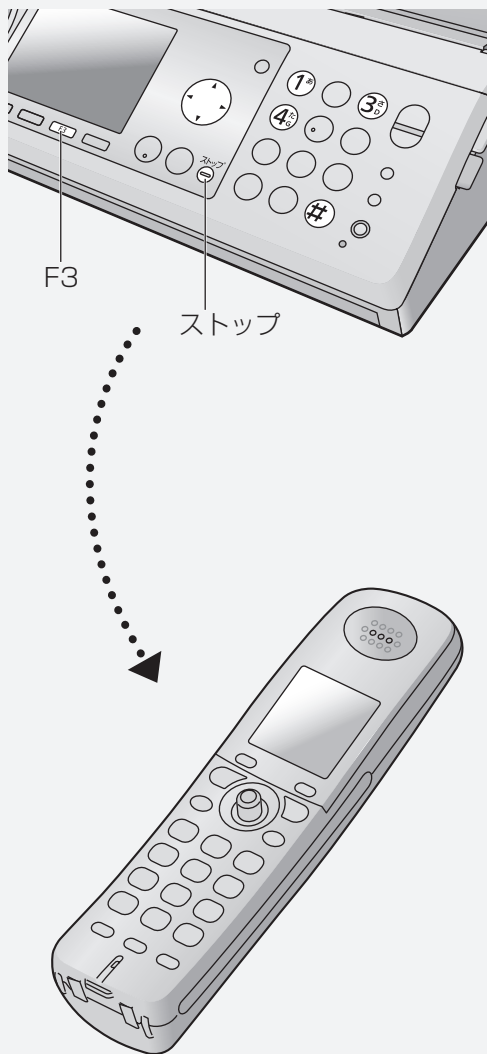
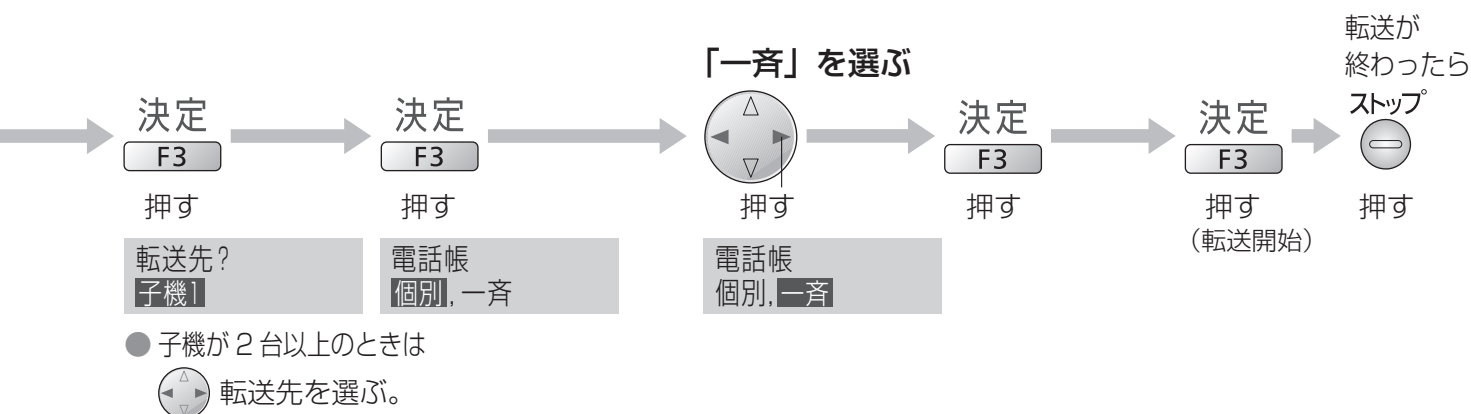
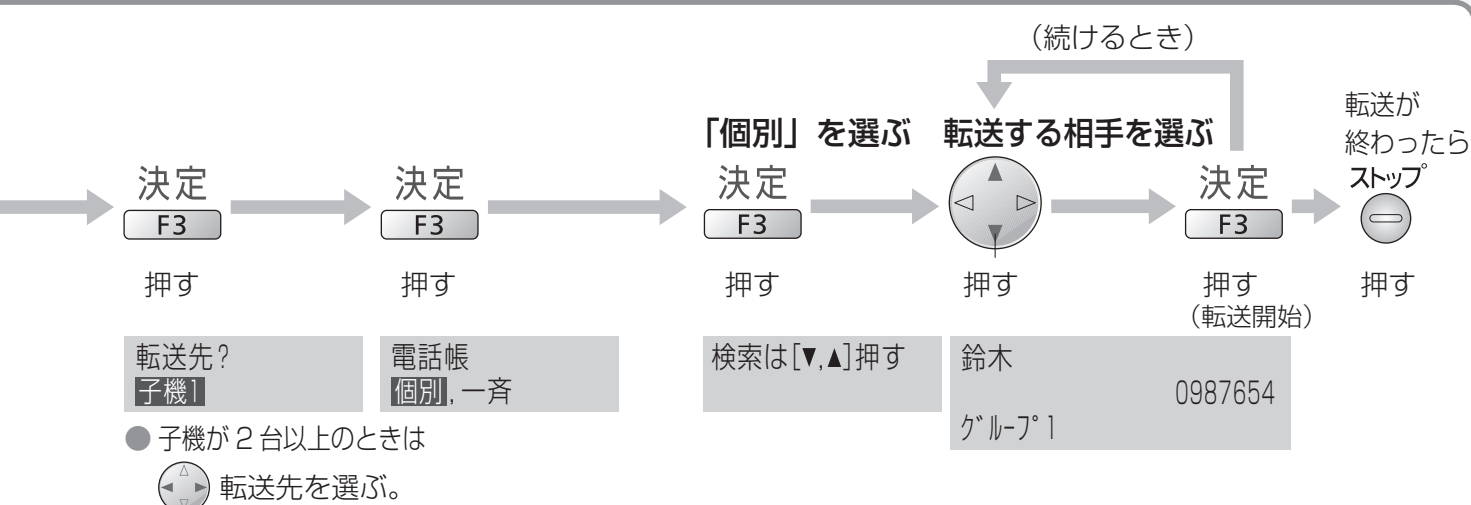
■登録内容をプリントするには

機能 F3 ➡ # 0 4 1 ➡ 決定 F3 ➡ 終わったら ストップ

子機の登録内容をプリントするには

〈ファクス親機〉➡ 機能 F3 ➡ # 0 4 1 ➡ 「子機」を選び ➡ 決定 F3 ➡〈子機〉（機能）

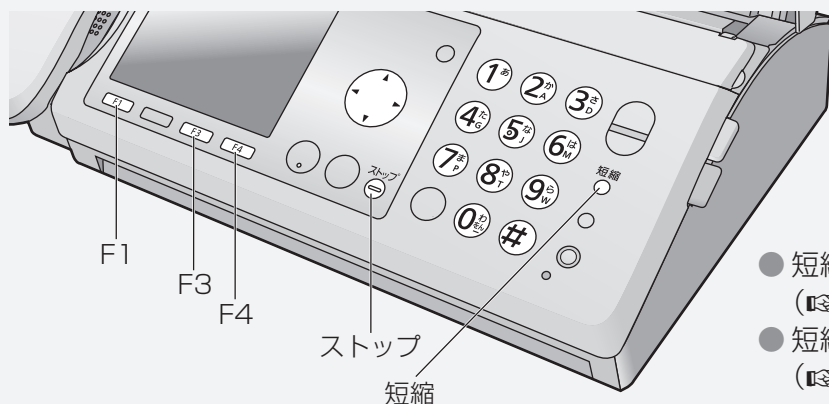
➡ で［電話帳転送］を選び ➡（決定）➡ で［一斉］を選び ➡（決定）➡（決定）

➡ 終わったら 切 ➡〈ファクス親機〉終わったら ストップ

● 上記で子機の電話帳を一斉転送しても、ファクス親機の電話帳には登録されません。

電話帳を子機へ転送する

（お知らせ）

- 転送先に同じ内容があるときは、追加登録されません。
  （名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます）
- 全件を一斉に転送したとき ➡ を押して表示される順に転送されます。（多いと時間がかかります）
  ➡ 空き件数がなくなると終了します。
- 転送するときは、子機をファクス親機の近くに持ってきてください。

短縮ダイヤルに登録する

ファクス親機の電話帳に登録している相手を、短縮ダイヤルに登録できます。

● 短縮ダイヤルで電話をかけるには
（☞29 ページ）
● 短縮ダイヤルでファクスを送るには
（☞43 ページ）

短縮ダイヤルを登録する
（9 件まで）

短縮 押す
● 操作案内が流れる。

→ 短縮番号を押す
①～⑨ いずれかを押す

1 を押したときの例

短縮1 未登録

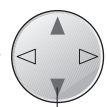
● すでに登録されているときは、別の短縮番号を押す。
● （カーソルキー）を押しても選べます。

→ 登録 F3 押す

お知らせ

● 名前や電話番号を修正するには、電話帳の内容を修正してください。（☞37 ページ）
電話帳を修正・消去すると、
短縮ダイヤルも修正・消去されます。
● 短縮ダイヤルを消去しても、電話帳は消去されません。
● 短縮ダイヤルを変更するときは、一度短縮ダイヤルを消去して、再度登録してください。

■途中でやめるとき ストップ 押す

■操作案内が流れないようにするには
（☞25 ページ）

■消去するには

短縮 ➡ ① ～ ⑨ （短縮番号）➡ 消去 F4 ➡ はい F1 ➡ ストップ

■登録内容をプリントするには

機能 F3 ➡ ＃ ⓪ ③ ⑨ ➡ 決定 F3 ➡ 終わったら ストップ

ファクスを送る

1 原稿ふたを開け、原稿をセットする

① 原稿ガイドを紙の幅に合わせる。
② 送る面を表向きに入れる。
- 操作案内が流れる。流れないようにするには（☞25 ページ）
- 一度に重ねて 5 枚まで。
- 原稿について（☞53 ページ）

2 ファクス 押す

3 ダイヤルする

- 番号を音声で読み上げます。**（読み上げダイヤル）**（☞25・76 ページ）
- 聞き直し 押すと、読み上げた番号をもう一度聞くことができます。

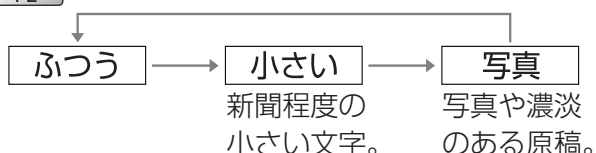
4 ファクス 押す

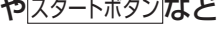
写真や小さい文字の原稿を送るとき

原稿をセットしたあと

画質 F2 押して**画質を選ぶ**

ふつう → 小さい → 写真

小さい：新聞程度の小さい文字。
写真：写真や濃淡のある原稿。

- 「小さい」や「写真」では、「ふつう」に比べて通信時間が長くかかります。

■送るのをやめるには ストップ 押す（原稿排出）
（原稿が残っているときは、再度押す）

■送れなかったときは ストップ 押す（原稿排出）

■操作案内を聞かずにファクスを送るには
「自動操作案内」を「なし」にする
（☞25・76 ページ）
（上記手順 2 の操作は不要になります）

お知らせ

- 原稿をセットする前に ファクス を押すと、操作案内が始まります。（止めるには ストップ 押す）
- 原稿をうまく引き込まないときは、記録紙スタンドを立ててください。（☞18 ページ）

■いろいろな送りかた

同じ相手にもう一度送る（再ダイヤル）	**原稿をセットし** ➡ **再ダイヤル**（◀）押す ➡（▲▼）押して**相手を選び** ➡ ファクス 押す
電話帳で送る	**原稿をセットし** ➡（▶）**電話帳** 押す ➡（▲▼）押して**相手を選び** ➡ ファクス 押す
短縮ダイヤルで送る	**原稿をセットし** ➡ **短縮** 押す ➡ ①～⑨ 押す（短縮番号） ➡ ファクス 押す
相手と話してから送る	**原稿をセットし** ➡ 取って**ダイヤルし、相手と話す** ➡ 相手にファクスを送ることを伝え**相手に**ファクスボタン**や**スタートボタン**などファクス受信のボタンを押してもらう** ➡「ピーヒョロロ」が聞こえたら ファクス 押し、**戻す**
海外へ送る	**原稿をセットし** ➡ モニター 押し、**ダイヤルする** ➡「ピーヒョロロ」が聞こえたら ファクス 押す ■「通信ｴﾗｰ U40」が表示されて送れないとき 海外送信モードを「1 回」に設定して送る。（☞77 ページ） ● 送信時間が通常の約 2 倍かかる。 ● 送信後、海外送信モードは自動的に解除（設定：なし）される。

お願い

● 間違った相手にファクスを送らないために、相手の電話番号をよく確かめてから送信してください。

お知らせ

● 電話帳でかける相手を選ぶときに
- フリガナの頭文字から探すには　（電話帳）➡ ⓪～⑨（フリガナ）➡ （選ぶ）
- グループから探すには　（電話帳）➡ ＃ ➡ ①～⑨（グループ番号）➡（選ぶ）

● 送信結果を音声でお知らせします。お知らせが必要ないときは（☞76 ページ「ファクス親切案内」）

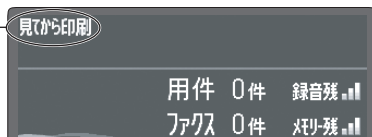
● 構内交換機に接続しているとき　外線発信番号 ➡ 留守（ポーズ）➡ 電話番号をダイヤルする

● 相手が話し中など、応答がなかったときは、自動的に再ダイヤルします。（1 分間隔、3 回まで）
- 受話器を取る、またはモニターボタンを押して送ったときは、はたらきません。
- 再ダイヤル待ちは「再ﾀﾞｲﾔﾙ待機中」と表示します。ただし、ファクス親機を使うと中止されます。

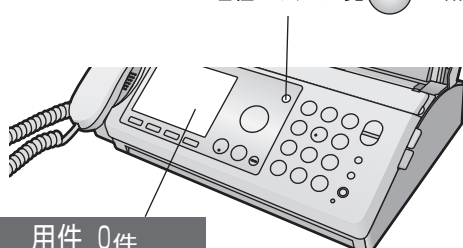
見てから印刷（メモリー受信）に設定する／解除する

ファクスの見かたを選ぶ

メモリーに受信してディスプレイで見る

■見てから印刷（メモリー受信）に設定する（お買い上げ時の設定）

■「見てから印刷」が表示されていないときは

見てから印刷 入/切 F1 押す

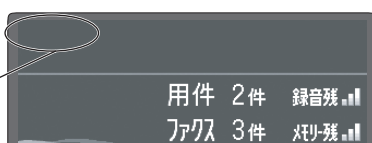
ファクスを受信すると、受信したことをお知らせ

ディスプレイで見る（☞48 ページ）

● プリント・消去するとき（☞48 ページ）

● ナンバー・ディスプレイサービスを利用時に、電話に出られなかったときも着信・ファクス一覧 が点灯します。（☞58 ページ）
● メモリー受信できる枚数は（☞95 ページ「■メモリー容量のめやす」）

記録紙に直接プリントして見る

■見てから印刷（メモリー受信）を解除する

見てから印刷 入/切 F1 押す

● 記録紙に直接プリントしたときは、メモリーに記憶していませんので、ディスプレイで見ることはできません。
● インクフィルムや記録紙がなくなると、メモリー受信します。

ファクスを受信すると、受信終了後に記録紙にプリント

お願い

● メモリー受信したファクスは、内容を見るかプリントしたあと、できるだけ早く消去してください。（☞48 ページ）
記録紙に直接プリントするときでもメモリーを使うため、メモリーがいっぱいになっているとファクスは受信できません。（☞15 ページ「メモリー残」）
また、メモリーが残っていても、写真画質で送られてきたファクスなどは受信できないことがあります。

ファクスを電話に出て受ける

電話に出て受ける（お買い上げ時）

■受信を中止するときは 押す

お知らせ

- 「ファクスを受信します…」と聞こえたら、ボタンを押さなくても受信します。（**ファクス親切受信**）
- 受信結果を音声でお知らせします。（ファクス親機のみ）
  お知らせが必要ないときは（☞76 ページ「ファクス親切案内」）
- 7 ～ 8 回以上呼出音が鳴ってから電話に出ると、ファクスを受信できないことがあります。
- ファクスを記録紙に直接プリントするときでもメモリーを使うため、メモリーがいっぱいになっているとファクスは受信できません。（☞15 ページ「メモリー残」）
  また、メモリーが残っていても、写真画質で送られてきたファクスなどは受信できないことがあります。

（ファクスを自動で受けるには ☞46 ページ）

ファクスを自動で受ける

在宅時、電話に出られなくても自動で受ける

消灯

ファクスや電話がかかってくると
呼出音が 3 回鳴る
● 5回にすることもできます。（☞ 下記「■ 在宅呼出回数を5回にするとき」）

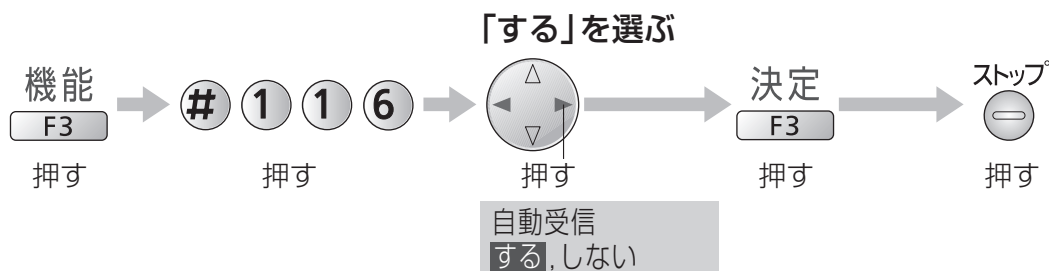
ファクス親機が応答して呼出音が再度鳴り出す
● 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかります。※
相手には呼出音が流れる。

ファクスのとき
自動的に受信。

電話のとき
再度鳴り出した呼出音が6 回鳴ったあと、メッセージ ①（☞79 ページ）が相手に流れ、電話が切れる。

※呼出音が鳴っている間も、相手に通話料金がかかっています。

● 電話に出て相手がファクスのときは、「電話に出て受ける」操作をする。（☞45 ページ）

■設定が必要です。

自動受信
する, しない

● 設定すると、ディスプレイに「自動受信」と表示します。

● 解除は「しない」を選ぶ。（在宅呼出回数は 15 回に設定される）

■在宅呼出回数を 5 回にするとき

機能 F3 → # 1 1 2 → 「5」を選び → 決定 F3 → ストップ

● 在宅呼出回数で「3」または「5」以外を選ぶと、自動受信が解除されます。（☞76 ページ）

留守のときなど自動で受ける

点灯

● 詳しくは（☞54 ページ）

ファクスや電話がかかってくると
呼出音が 4 回鳴る
● 呼出回数を変えるには（☞76 ページ「留守着信呼出音の回数」）

応答メッセージが流れる
※ファクスのときは相手の送信のしかたによって流れないことがあります。

ファクスのとき
自動的に受信。

電話のとき
用件を録音。

ファクスのみ専用で受ける

点灯

ファクスや電話がかかってくると
呼出音が 1 回鳴る
● 呼出音「切」にすると鳴らない。（☞74 ページ）

ファクスのとき
自動的に受信。

電話のとき
かかってきても受けられません。

● 設定が必要です。留守着信呼出音の回数を「ﾌｧｸｽ専用」にしてください。（☞76 ページ）

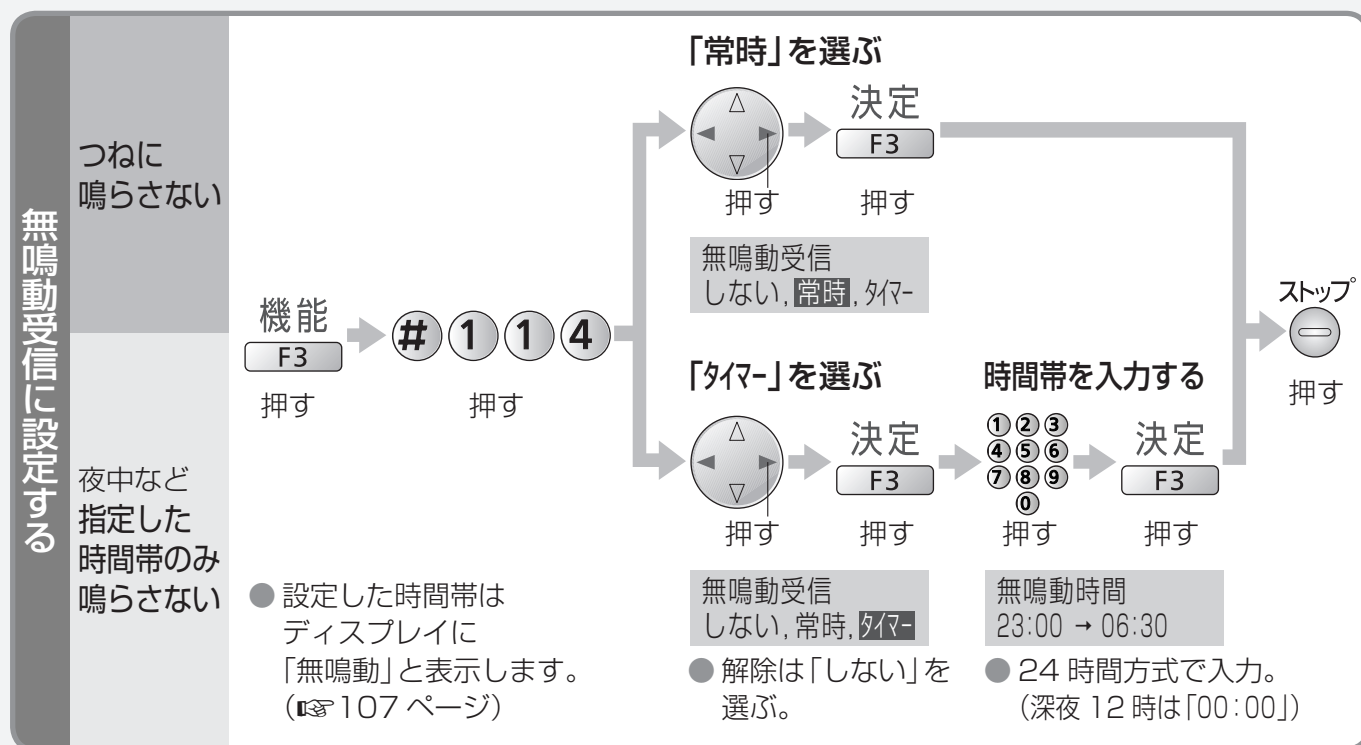
在宅時、呼出音を鳴らさずに自動で受ける（無鳴動受信）

設定しておけば、留守 が消灯しているときにはたらきます。

ファクスや電話が
かかってくると
**呼出音が鳴らずに
ファクス親機が応答する**
● 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかります。※

ファクスのとき
自動的に受信。

電話のとき
約 7 秒後に呼出音が鳴り始め、6 回鳴ったあと、メッセージ ①（☞79 ページ）が相手に流れ、電話が切れる。

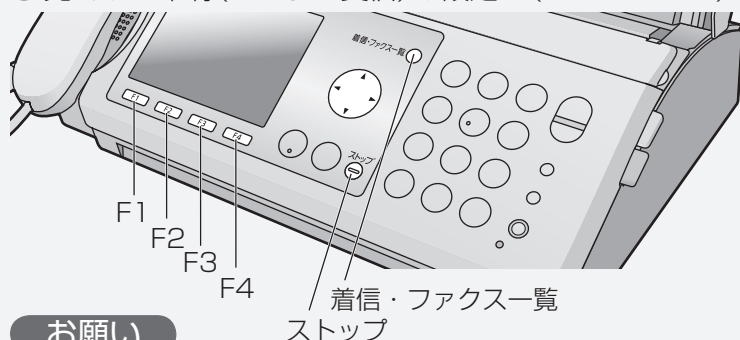
※呼出音が鳴っていなくても、相手に通話料金がかかっています。

お知らせ

- 次の場合は、無鳴動受信を設定していても呼出音が鳴ります。
  - 留守設定中。（留守ボタン点灯）
  - ファクスのメモリーがいっぱいのとき。（☞15 ページ「メモリー残」）
  - 相手が受話器を取ってダイヤルし、回線がつながってから送信の操作をしたとき。（再呼出音が鳴る）
  - IP 電話などからかかってきたとき。（相手の回線や接続機器によっては、鳴ることがある）
  - 並列接続（☞91 ページ）した電話機の呼出音。（ファクス親機が応答すると呼出音は止まる）
- おやすみになりたいときや静かにすごしたいとき、おやすみモード（☞71 ページ）を使うと、ファクス親機と子機の音を鳴らさないで用件の録音とファクスの受信ができます。

メモリー受信したファクスを表示・

ファクスを表示・プリント・消去する

受信したファクスをディスプレイに表示、プリント、消去できます。
● 見てから印刷（メモリー受信）の設定は（☞44 ページ）

お願い

● メモリー受信したファクスは、内容を見るかプリントしたあと、できるだけ早く消去してください。

お知らせ

● 写真や文字の多い原稿など、原稿によっては、表示に時間がかかることがあります。
● 相手が A3、B4 サイズで送信したときは、A4 サイズに縮小して表示されます。縮小後に A4 縦幅（約 297 mm）より長くなる場合、A4 縦幅を超えた部分は表示できませんが、プリントすると、受信原稿のすべてを見ることができます。
● 通話中は、ファクスの表示やプリントができません。ファクスを見ながら話すには、通話の前にプリントしておいてください。

着信・ファクス一覧 押す

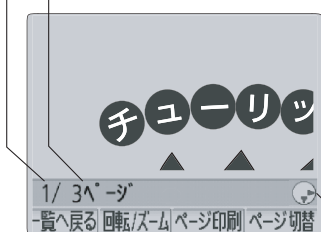
着信メモリー ： ファクス一覧
新規 2件 ： 未読 1件―①
： 合計 3件―②

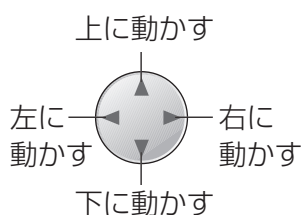
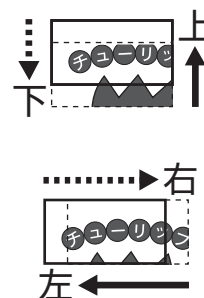
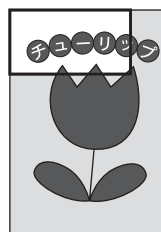
● 操作案内が流れる。

① プリントも表示もしていないファクスの件数
② メモリーに記憶しているファクスの件数

■終わるには ストップ 押す

ファクス表示中にできること

＜表示例＞

画面に表示されていない部分があるときに表示されます。
● 表示されている方向に 押すと、続きを表示できます。

■画面を上下左右に動かす

（例）

● 各ボタンを押し続けると、画面を連続して動かせます。
● 各ボタンを押して画面が受信原稿の端までくると、「ピピッピピッ」音が鳴ります。
さらに同方向のボタンを押すと、受信原稿の反対側の端を表示します。
● 受信原稿の大きさによっては、表示されない部分があります。画面を上下左右に動かして内容を表示させてください。
● 画面に何も表示されないときは、画面を上下左右に動かして内容を表示させてください。

プリント・消去する（見てから印刷）

ファクスを選ぶ

● 新しいファクスが最初に表示されます。

③ プリントも表示もしていないファクス
④ ファクスを受信した日時
　● 受信したファクスに表示されている日時と異なる場合があります。
⑤ 相手の名前（表示できないときは空白）
⑥ ファクスの受信順（新しい順）
⑦ メモリーに記憶しているファクスの件数
⑧ メモリー使用量の多いファクス（写真や新聞など）
　● 表示またはプリントして内容を確認したら消去してください。
⑨ ファクスの受信ページ数
⑩ 相手の電話番号（表示できないときは空白）

選んだファクスを見るには

表示 [F2]

● ファクス表示中にできることは（☞ 左ページ）

選んだファクスをプリントするには

印刷 [F3] → はい [F1]

● プリントしたファクスのみ消える。
残すには いいえ [F4] 押す

メモリーの内容を消去するには

■ 選んだファクスを消去するとき

消去 [F4] → はい [F1]

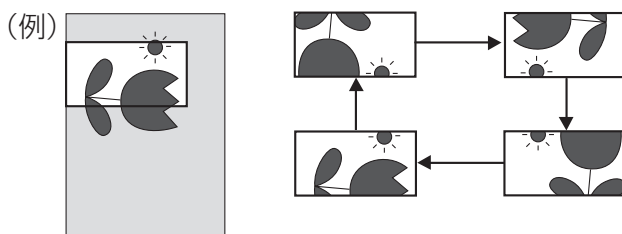
■ すべてのファクスを消去するとき

ボタン切替 [F1] → 全消去 [F4] → はい [F1]

■画面の向きを変える（回転）

画面の向きを時計回りに 90 度ずつ回転できます。

回転/ズーム [F2] → 回転 [F2] 繰り返し押す

（例）

● プリント時の向きは、回転されません。

■画面を拡大・縮小する（ズーム）

回転/ズーム [F2] → ズーム [F4] 繰り返し押す

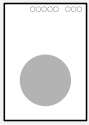
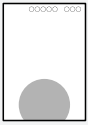
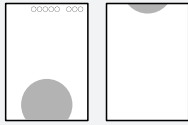
● 標準→拡大（2 倍）→縮小（2 分の 1）→標準…の順に切り替わります。
● プリント時の大きさは、拡大･縮小されません。

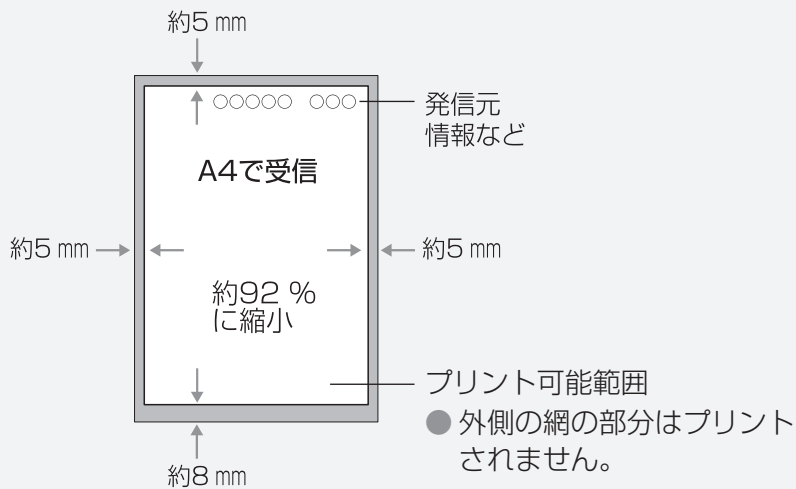
■前ページへ戻る

ページ切替 [F4] → 前ページ [F2] 繰り返し押す

■次ページへ進む

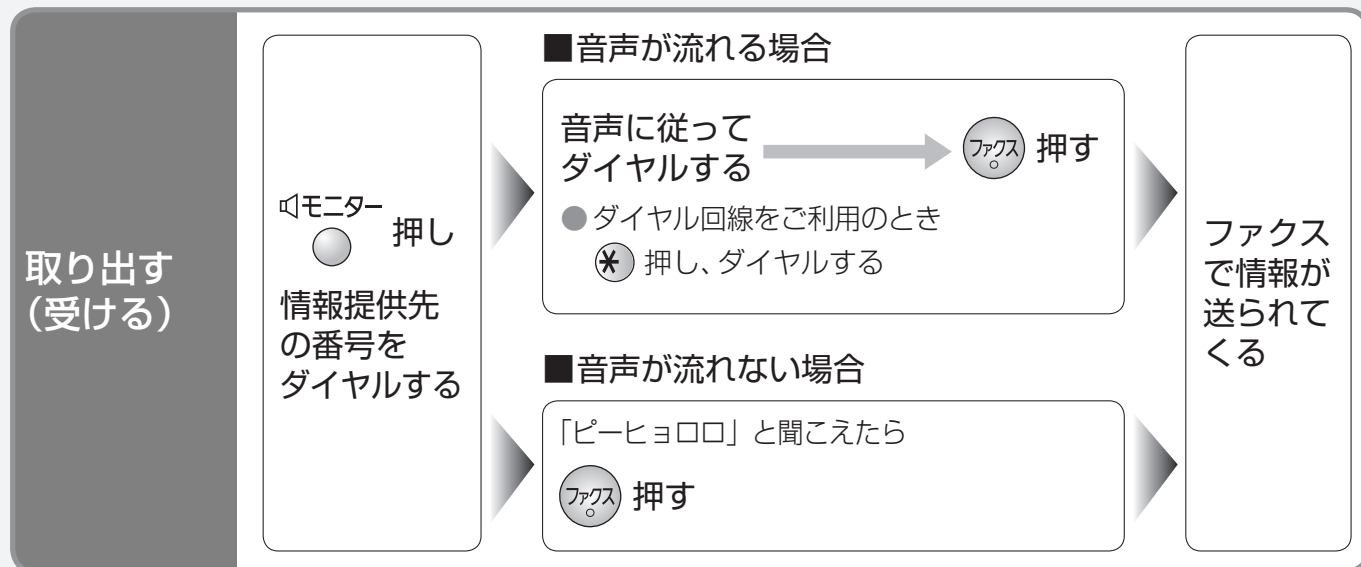
ページ切替 [F4] → 次ページ [F4] 繰り返し押す

■表示中のページをプリントする

ページ印刷 [F3]

ファクスのプリントについて

- 相手が B4 サイズや A3 サイズで送ったときは、A4 サイズに縮小されます。
  - 文字が読みにくいときは相手に、画質を変えて送ってもらってください。
  - B5 サイズで横向きで送られたときも、縮小されるので縦向きに送ってもらってください。
- **エコノミー受信**…原寸で受けたいときは「あり（2）」または「なし」にする。（☞77 ページ）

「あり（1）」	「あり（2）」	「なし」
お買い上げ時		1 枚目　2 枚目
92 %に縮小 （発信元情報などをプリントするため）	**原寸でプリント** （はみ出た部分はプリントしない）	**2 枚にわたり原寸でプリント** 相手の原稿によっては 2 枚目が白紙となる場合があります。

ファクスの便利な機能

娯楽情報などをファクスで受けたいとき

お知らせ
- 相手機によっては、文字が小さくなったり、受信できない場合があります。
- 情報内容や提供方式については、各情報提供先にお問い合わせください。
- ポーリング受信には対応していません。

NTT　Ｆネット（ファクシミリ通信網サービス）

1. NTT と加入契約する（G3 サービス 1300 Hz）
2. 「Ｆネット」の設定を「あり」にする （☞77 ページ）

お知らせ
- Ｆネットに加入して、ファクスが送られてきたときは
  - 呼出音は鳴らずに自動受信します。（契約が 16 Hz のときは鳴る）
  - コピーや登録操作中は「Fﾈｯﾄ呼出です」と表示され、約３秒間断続的にブザーが鳴りますが、受信しません。そのあと、再送信され自動受信します。

お問い合わせ先（通話料金無料）
- お申し込み
  フリーダイヤル **0120-414-924**
- サービスに関して
  フリーダイヤル **0120-161-011**

コピーする

原稿をセットすると **ピッ** と鳴る

原稿（表向き）

❶ 原稿ふたを開け、原稿をセットする

① 原稿ガイドを紙の幅に合わせる。
② コピーする面を表向きに入れる。

- 操作案内が流れる。
  流れないようにするには
  （☞25 ページ）
- 一度に重ねて５枚まで。
- 原稿について
  （☞ 右ページ）

原稿ふた

原稿ガイド

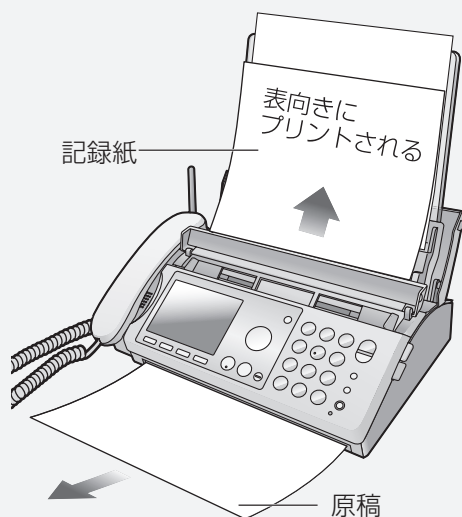
ストップ

コピー

❷ （コピー） 押す

写真や濃淡のある原稿をコピーするとき

原稿をセットしたあと、画質を「写真」にする。
（☞42 ページ）

コピーが終わったら…

■途中でやめるには （ストップ） 押す（原稿排出）
（原稿が残っているときは、再度押す）

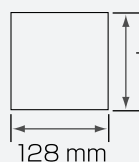
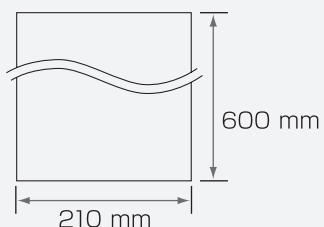
■操作案内を聞かずにコピーするには
「自動操作案内」を「なし」にする。（☞25・76 ページ）

お知らせ

- 原稿をセットする前に
  （コピー） を押すと、操作案内が始まります。
  （止めるには （ストップ） 押す）
- 画質「ふつう」でコピーしても、自動的に「小さい」に変わります。
- ファクス親機でプリント中は、子機で電話を受けられません。
- A4 サイズより長い原稿をコピーすると
  - A4 サイズ分のみプリントされる。
  - 続きを次ページにプリントするには （☞78 ページ「分割コピー」）

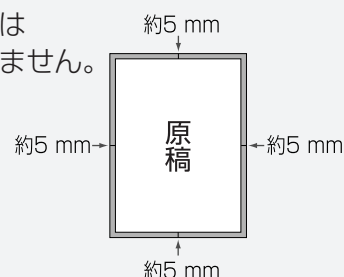
ファクス・コピーの 原稿・記録紙について

原稿について

■サイズ

- 最小
- 最大

■厚さ

- 1 枚のとき
  0.06 ～ 0.2 mm
- 2 枚以上 5 枚以下
  0.06 ～ 0.13 mm
  （この取扱説明書は、
  約 0.1 mm です）

■読み取り可能範囲

- 網の部分は
  読み取れません。

- 原稿が 2 枚以上のときは、同じサイズ・厚さで先端をそろえる。

■次のような原稿は、別の複写機でコピーするか、キャリアシートを使う

原稿の状態	別の複写機でコピーする	キャリアシートを使う
薄い紙（0.06 mm 未満のもの）	○	○
厚い紙（0.2 mm を超えるもの）	○	
布地・金属シート	○	
のりやセロハンテープで貼り合わせたもの	○	
幅 128 mm ×長さ 128 mm より小さいもの	○	○
破れ・しわ・カールや折り目のあるもの	○	○
フィルムやトレーシングペーパーのようなもの	○	○
表または裏がコーティングされているもの	○	○
感熱紙、裏カーボン紙など化学処理したもの	○	○
パンチ穴が開いているもの	○	○
こしが強いもの	○	

- キャリアシートを使うとき
  （別売品 ☞94 ページ）

- 原稿は
  閉じて
  いる側に
  寄せる。

■こんなときは

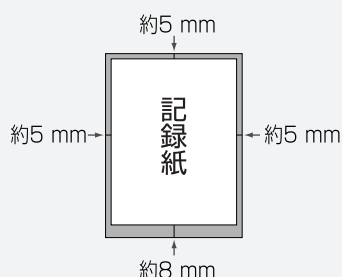
- キャリアシートを使ってうまく送れないときは、別の複写機でコピーする。
- クリップやホッチキスは、取り外す。
- インク・のり・修正液は、完全に乾かしてからファクス・コピーする。
- 白や黒い線が入るときは、原稿読み取り部の汚れをふき取る。（☞84 ページ）

■次のものはコピー禁止です

- 通貨・証券類・未使用郵便切手・官製はがき・印紙・酒税法で規定の証書類など（法律で禁止）
- 著作権の対象となっている書籍類・芸術作品類・地図など（個人的な使用以外は法律で禁止）

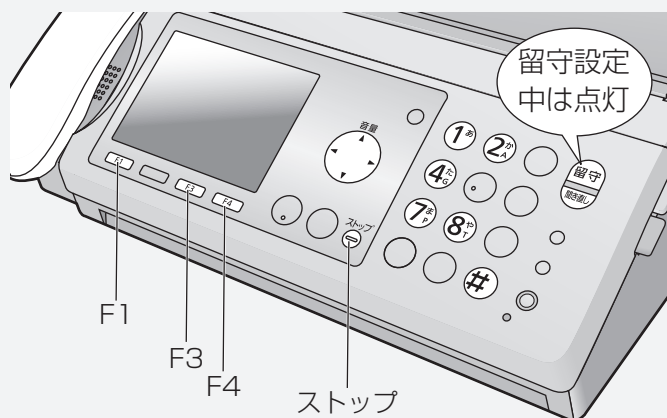
記録紙について

■プリント可能範囲

- 網の部分はプリント
  されません。

■こんなときは

- 表面がざらざらしている記録紙は、文字が
  かすれるので、滑らかな記録紙にする。

留守番電話を使う

留守設定しておけば、
自動的に電話の用件録音とファクスの受信ができます。

留守設定し、用件を聞く	お出かけ前に **留守設定する** 留守 押す ● ランプが点灯。 ● 応答メッセージが流れる。 止めるには ストップ 押す メッセージの種類（固定 / 自作） 留守ﾓｰﾄﾞ 応答ﾒｯｾｰｼﾞ：固定 ↓ ３秒後 残り約 8分です ― 録音残り時間

お知らせ
- 留守設定しても…
  - ファクス親機に残している用件は消えません。
  - ドアホンの留守録画や録音はできません。
- 6 秒以上相手が話さなかったときや、声が小さいときは、正しく録音されません。
- おやすみモードのときは、自動的に留守設定されます。

■あとからすべての用件を聞き直すとき
聞き直し 押す

留守設定して、電話やファクスを受ける

ファクスや電話が
かかってくると
呼出音が 4 回鳴る
- 鳴る回数を変えるには…（☞76 ページ「留守着信呼出音の回数」）

応答メッセージが流れる
（☞ 下記）
※ファクスのときは相手の送信のしかたによって流れないことがあります。

電話のとき
相手の用件が録音される。
（スピーカーから相手の声が聞こえる）
- 電話に出るには、受話器を取る
  （録音は途中で止まり、1 件分として残る）

ファクスのとき
ファクスを自動的に受信する。

- 応答メッセージの内容は（固定の応答メッセージ）（☞79 ページ「メッセージ一覧」）
  - 通常は…メッセージ ②
  - 用件録音できないときは…メッセージ ③
  - ファクスが受信できないときは…メッセージ ④
  - 用件録音もファクス受信もできないときは…メッセージ ⑤

録音時間と件数について
- 1 件あたり 2 分まで。変更するには（☞77 ページ「用件録音時間」）
- 合計 12 分、最大 50 件まで。（録音時間は、通話録音・自作応答メッセージを含む）
  （詳しくは ☞95 ページ「■ メモリー容量のめやす」）

■あとからすべての用件を消すとき 用件消去 F4 ➡ はい F1

● 1件ずつ消すには 聞き直し ➡ 消去する用件を再生中に 用件消去 F4 ➡ はい F1

自分の声で応答メッセージを作る

■固定の応答メッセージにするには 機能 F3 ➡ # ① ② ⑧ ➡ 「固定」を選び ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

■自作の応答メッセージを消すには 機能 F3 ➡ # ① ④ ⑧ ➡ 決定 F3 ➡ はい F1

お知らせ

● メモリーがファクスや用件などでいっぱいのときは、自作から固定のメッセージ③～⑤(☞ 左ページ「● 応答メッセージの内容は」)に切り替わります。

外出先から 留守番電話を聞く

外出先から聞くための準備

外から電話をかけると、新しい用件が聞けます。

■外出前に留守設定してください 留守 押す。

■外出先から留守設定できます

家に電話をかける ➡ 呼出音が少し小さい音に変わったら、暗証番号を押す ➡ 「留守設定をしました」と聞こえたら切る

「在宅着信呼出音の回数」を「自動応答しない」に設定すると、外出先から留守設定することはできません。(☞76 ページ)

お願い

● 暗証番号は、「0000」や電話番号の一部など推測されやすい番号は登録しないでください。
また、定期的に変更することをお勧めします。

外出先での操作

外出先で 留守番電話を聞くとき

公衆電話などで、
家に電話をかける。

➡ 応答メッセージ中に **暗証番号を押す**

携帯電話などに 転送されてきたとき

用件が録音されると、
家から電話がかかる。
● 電話に出ないときは
　● 約 50 秒で切れる。
　● 1 分間隔で 3 回、30 分間隔で 3 回かけ直す。

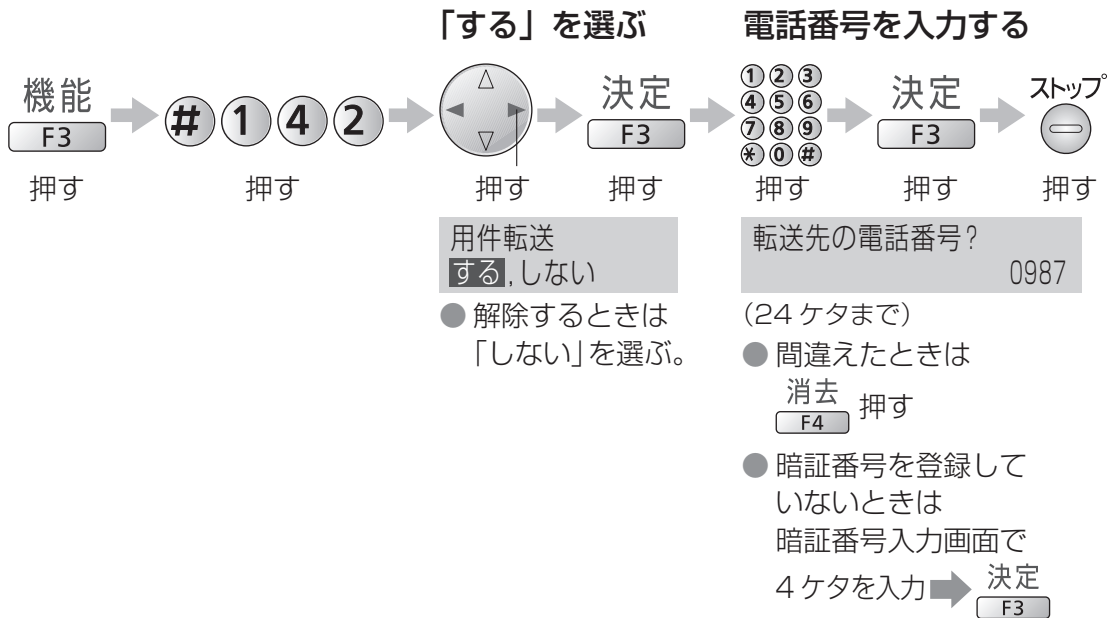
➡ メッセージに従い、**暗証番号を押す**

➡ **用件を聞く**
● 新しい用件
　4 秒待つ
　または
　2 押す
● すべての用件
　4 押す

■電話代節約のために〈トールセーバー〉

● 家に電話をかけたとき、留守番電話が応答するまでの呼出音の回数で新しい用件の有無がわかります。
　● 3 回以内：新しい用件あり　4 回以上：新しい用件なし
　留守番電話が応答する前に電話を切ると、通話料金がかかりません。
● 設定は（☞76 ページ「留守着信呼出音の回数」）
● モデムダイヤルインサービス（☞64 ページ）を利用しているときは、うまくはたらかないことがあります。

携帯電話などに転送するための設定

新しい用件が録音されると、自動的に家から電話がかかってきます。

● ホームテレホンや構内電話に接続していると、転送できないことがあります。
● おやすみモードのときは、転送できません。(☞71ページ)

こんなことができます

■用件再生前・終了後
●留守設定を解除する…… 0
●用件転送を設定する……… 7
（事前に転送先の登録が必要）
●用件転送を解除する……… 9
●すべての用件を聞き直す… 4
（一度聞いた用件を含む）
●すべての用件を消す……… 6
押して「消去します…」メッセージのあと、再び 6 押す。

■用件再生中
●前の用件を聞く………………… 1
●再生中の用件を聞き直す……… 2
●次の用件を聞く………………… 3
●再生を中止する………………… #
●再生中の用件を消す…………… 6
押して「消去します…」メッセージのあと、再び 6 押す。

電話を切る

お知らせ

● 外出先では、トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機をお使いください。
● 新しい用件を聞く操作（☞ 左ページ）では、一度聞いた用件は再生されません。
繰り返し再生させるには、「留守電リモート再生」を「繰り返し」にしてください。(☞77ページ)
ただし、設定する前に一度聞いた用件は再生されません。
● かかってきた電話やファクスを直接転送するには、NTTのボイスワープサービス（有料）をご利用ください。
（お問い合わせはNTT窓口 ☎ 116へ）
● ファクス専用（☞46ページ）にすると、外出先から用件を聞けません。

ナンバー・ディスプレイサービス

ナンバー・ディスプレイサービスとは…

電話がかかってくると…

相手の電話番号を表示

〈ファクス親機〉

松下太郎
09876543‥

● 電話帳に登録した相手は、名前も表示。
● ネーム・ディスプレイサービスを使うと、名前（最大 10 文字）と電話番号を表示。（電話帳に登録した相手は、ファクス親機・子機とも電話帳の名前を表示）

〈子機〉

松下 太郎
09876543‥

- ネーム・ディスプレイで名前が表示されないとき
  ➡かけてきた相手が名前を表示するように NTT に申し込んでいないことがあります。
- ファクス親機や子機で表示できない漢字があると、自動的に「※」に変わります。

相手の電話番号を確認してから電話に出る

● 日時と電話番号を着信メモリーに記憶。（30 件まで）（☞右ページ）
● 電話に出なかったときは、着信・ファクス一覧 が点灯。（留守番電話が応答したとき、ファクスを自動で受けたとき、新規にファクスをメモリー受信したときも点灯）

■こんな表示が出たとき

ファクス親機の表示	子機の表示	相手がこんなとき	着信メモリー
非通知		電話番号を通知していない	記憶される
公衆電話		公衆電話から	
表示圏外		海外など番号を通知できない電話	
表示できません	ー（表示なし）	回線状態が悪い	記憶されない

● キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は
キャッチホンでかかってきた電話も、相手の番号を表示（約 30 秒間）し、メモリーに記憶。

ナンバー・ディスプレイを利用するには（契約が必要です）

NTT と契約する（有料） ▶ 設定は必要ありません（ネーム・ディスプレイも設定は不要） ▶ NTT 工事終了後に利用できる

● 契約・工事についてのお問い合わせは　NTT 窓口 ☎ 116（通話料金無料）
● NTT の他のサービスと同時に使えないことがあります。
● ネーム・ディスプレイは、地域によって利用できない場合があります。
● ISDN 回線のときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
● ホームテレホン・構内交換機に接続のときは、利用できません。

お願い

● 1 回線に複数台接続（☞91 ページ）しないでください。（誤動作の原因）

■キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は、設定してください

機能 F3 ➡ # 1 3 7 ➡ 「あり」を選び（解約時は「なし」を選び）➡ 決定 F3 ➡ ストップ

■ナンバー・ディスプレイの利用をやめるには（NTT への連絡が必要）

機能 F3 ➡ # 1 3 3 ➡ 「なし」を選び ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選べます

	常に決めておく（回線ごと）	かけるたびに選ぶ（通話ごと）
通知するとき	NTT に「通常通知」申し込み	1 8 6 をつけてかける（☞28 ページ）
通知しないとき	NTT に「通常非通知」申し込み	1 8 4 をつけてかける（☞28 ページ）

（続く）

着信メモリー（履歴）を見る・使う（ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要）

着信メモリーは、ファクス親機・子機共通で 30 件まで。

着信メモリーを見る

着信・ファクス一覧 押す → 着信メモリー F1 押す → 繰り返し押す

電話に出なかった着信メモリーの件数

着信メモリー	：	ファクス一覧
新規　2件	：	未読　1件
	：	合計　3件

電話に出なかったとき

（新規）　1/30件
7月 1日(日) 12:34
松下太郎
09876543‥

● 操作案内が流れる。
● 新しい順に表示。

■ 終わるには ストップ 押す

■ 操作案内が流れないようにするには（☞25 ページ）

■ すべて消去するには

着信・ファクス一覧 → 着信メモリー F1 → ボタン切替 F1 → 全消去 F4 → はい F1

■ 着信メモリーをプリントするには

着信・ファクス一覧 → 着信メモリー F1 → ボタン切替 F1 → リスト印刷 F3

■ 電話をかけるとき

取る

■ ファクスを送るとき

原稿をセットする → ファクス 押す

■ 電話帳に登録するとき

登録 F3 押す → 電話帳 F4 押す → （☞36 ページの名前の入力へ）

■ 消去するとき

消去 F4 押す → はい F1 押す

■ 迷惑電話を拒否するとき（☞60 ページ）

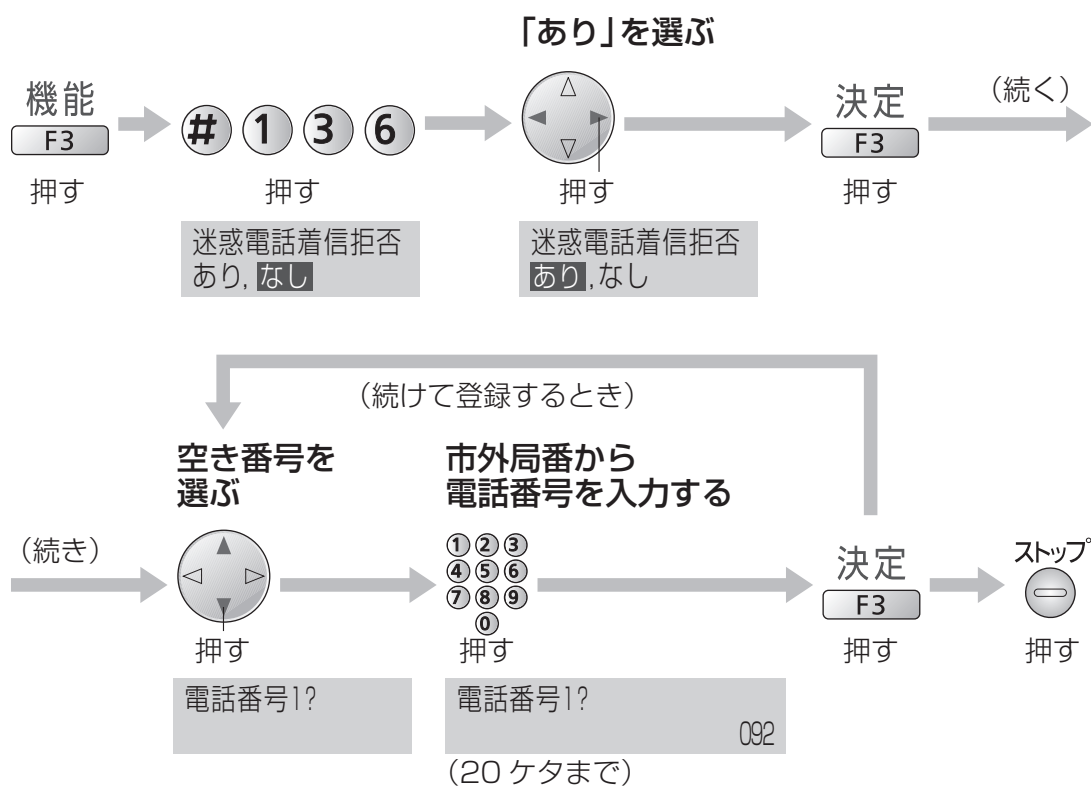
■ 非通知の電話・公衆電話・表示圏外からの電話を拒否するとき（☞61 ページ）

● 電話番号に 184 や 186 をつけてかけるとき（☞ 左ページ）

①⑧④（または①⑧⑥）→ 留守（ポーズ）→ 着信・ファクス一覧 → 相手を選び → 取る

（ポーズを入れないと誤発信することがあります。かけられないときは ☞98 ページ）

ナンバー・ディスプレイサービス
（続き）

相手によって受けかたを変える（ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要）

● 拒否した相手から電話があったときは、呼出音は鳴らずに相手に話し中の音（プープー…）が流れます。

■着信メモリーを使って迷惑電話を拒否するとき

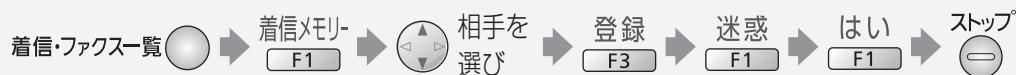
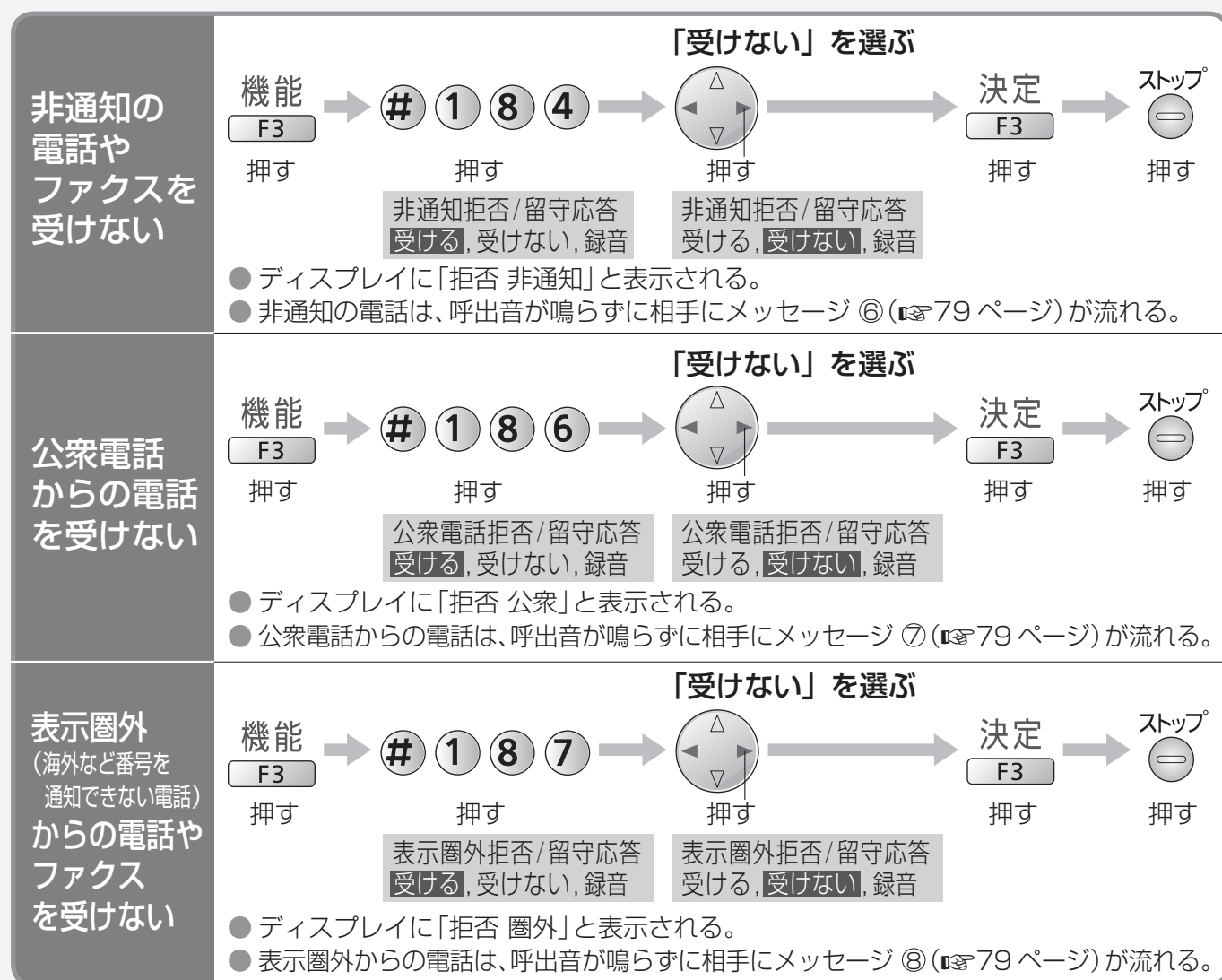
■解除するとき

（個別に）

機能 F3 → ＃ 1 3 6 → 「あり」を選び → 決定 F3 → 番号を選び → 消去 F4 2秒以上押す → 決定 F3 → ストップ

（すべて）

機能 F3 → ＃ 1 3 6 → 「なし」を選び → 決定 F3 → ストップ

（続く）

● 非通知、公衆電話、表示圏外の設定で、「録音」を選ぶと、留守設定していなくても留守番電話が応答し、相手の声を確かめてから電話に出られます。（ファクスは受信）

■着信メモリーを使って、非通知の電話・公衆電話・表示圏外からの電話を拒否するとき

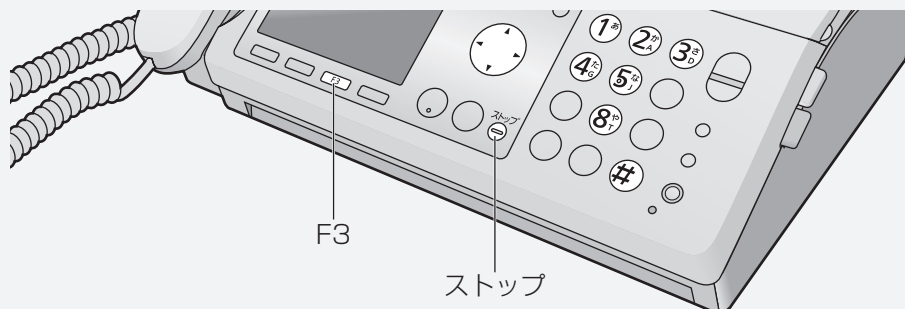
着信・ファクス一覧 ➡ 着信メモリー F1 ➡ 表示を選び ➡ 登録 F3 ➡ はい F1 ➡ ストップ

■解除するとき

機能 F3 ➡ それぞれコード番号を押し ➡ 「受ける」を選び ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

お知らせ

● 通話拒否したあとに設定することもできます。（☞32 ページ）
● キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても迷惑電話の拒否や上記機能は、はたらきません。

ナンバー・ディスプレイサービス（続き）

相手によって受けかたを変える（ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要）

ファクス親機の電話帳に登録していない相手からの電話やファクスを、約8時間受けないようにできます。

● 「受けない」に設定していても、約 8 時間後に自動的に解除（設定：受ける）されます。
　●「受けない」に設定しているときに、再度設定すると、再設定してから約 8 時間拒否されます。
● 「録音」を選ぶと、留守設定していなくても留守番電話が応答し、相手の声を確かめてから電話に出られます。（ファクスは受信）
　（次に設定するまで、設定は変わりません）
● 拒否した相手の電話番号を着信メモリーで確認することができます。（☞59 ページ）

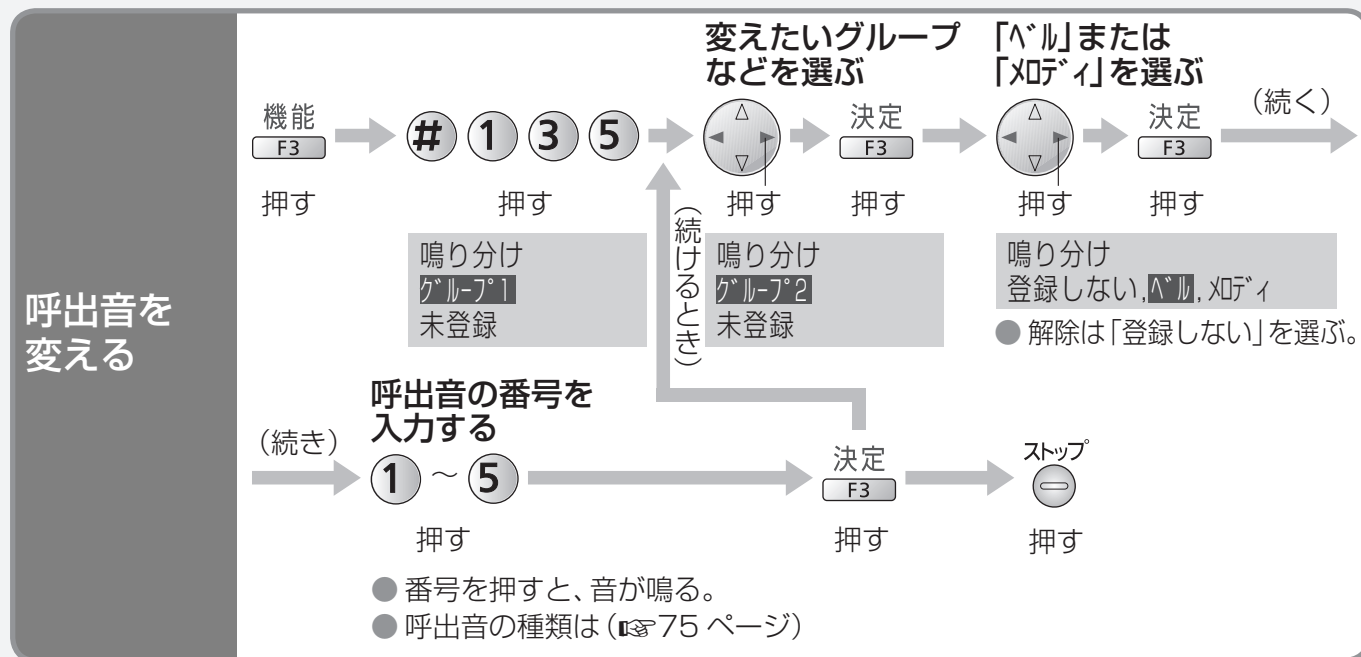
■解除するとき

お知らせ

● ファクス親機の電話帳に、5 ケタ以上の番号が登録されていないときは、設定できません。
● ファクス親機の電話帳の内容をすべて消去すると、自動的に解除（設定：受ける）されます。
● 4 ケタ以内の番号は拒否されません。
● キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても上記機能は、はたらきません。
● 「受けない」に設定しているときに、停電したり、電源コードを抜くと解除（設定：受ける）されます。
● モデムダイヤルインで、子機のみに電話がかかってきたときは、上記機能は、はたらきません。

相手によって呼出音を変える〈外線着信鳴り分け〉(ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要)

電話帳のグループ(事前に登録が必要 ☞36 ページ)、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに変えられます。

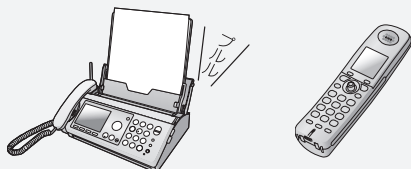
- 電話帳に登録していない電話番号からかかってくると、「呼出音を変える」(☞75 ページ) で設定した呼出音が鳴ります。外線着信鳴り分けでは、「呼出音を変える」(☞75 ページ) で設定した呼出音以外を選ぶことをお勧めします。(同じ呼出音にすると、区別がつかなくなります)

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても上記機能は、はたらきません。
- 電話内線通話中、ドアホン通話中は、上記機能は、はたらきません。

モデムダイヤルインサービス

モデムダイヤルインサービス、マイナンバーとは…

1 つの回線で複数の電話番号を使うことができます。
ファクス親機のモデムダイヤルイン機能を使って、ひかり電話の追加番号（マイナンバー）サービスを利用することもできます。

■ 電話用番号にかかってくると…

番号ごとに設定したファクス親機や子機だけが鳴る

- ファクス親機を呼び出し先に設定すると、ファクス受信や留守番電話の応答もできます。ファクス親機を呼び出し先に設定していない電話番号では、ファクス自動受信や留守番電話の応答ができません。
- 呼び出し先に設定した子機でも、ファクス受信の操作ができます。
  （☞「子機編」39 ページ）
- 呼び出し先に設定していないファクス親機や子機では、電話に出られません。

■ ファクス専用番号にかかってくると…

呼出音を鳴らさずにファクスを受信

- 電話に出たり、留守番電話での応答はできません。

お知らせ

- ファクス親機でモデムダイヤルインに設定していない番号にかかってくると、ファクス親機とすべての子機の呼出音が鳴ります。
- おやすみモード中は、モデムダイヤルインによる子機の呼び出しはできません。おやすみモード中に子機だけを呼び出す番号にかかってきたときは、電話を受けることができません。
- 外線電話中のキャッチホン時は、モデムダイヤルインによる呼び出し（キャッチ）は、はたらきません。
  外線電話中の電話機の受話口からキャッチ音が聞こえます。（☞30 ページ「キャッチホンを受ける」）
- ドアホン通話中、ファクス親機と子機で電話内線通話中、子機どうしの電話内線通話中は、モデムダイヤルインによる呼び出しは、はたらきません。通話中の電話機の受話口から呼出音が聞こえます。ドアホン通話または電話内線通話を終え、外線電話を受けてください。
  （☞66 ページ「■ドアホンとの通話中に電話がかかってきたとき」、☞33 ページ「■電話内線通話中に電話がかかってきたとき」）

モデムダイヤルインサービス、マイナンバーを利用するには（契約が必要です）

■契約の前にご確認ください

- 複数の電話番号は同時に通話・通信できません。
- ホームテレホン・構内交換機では使用できません。
- 他のサービスとの併用は、NTT 窓口 ☎ 116（通話料金無料）に確認してください。

NTT と契約する（有料） ▶ 連絡が来る ▶ 必ずサービス開始後に設定する（☞右ページ）

- 契約・工事についてのお問い合わせは　NTT 窓口 ☎ 116（通話料金無料）

お願い

- 1 回線に複数台接続（☞91 ページ）しないでください。（誤動作の原因）
- 「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を利用してください。
  （ダイヤルインサービス利用時は変更する〈有料〉）

お知らせ

- ISDN 回線のときは、ターミナルアダプタの設定が必要です。
  主番号に設定したアナログポートに、ファクス親機を接続してください。
- 電話がかかってきたときは、つながる（呼出音が鳴る）まで約 4 ～ 10 秒かかります。
- トールセーバー（☞56 ページ）がうまくはたらかないことがあります。

設定のしかた（モデムダイヤルインサービスまたはマイナンバーの契約が必要です）

モデムダイヤルイン番号は、５つまで設定でき、番号ごとに電話用かファクス専用かを設定できます。

電話用番号と呼出先を登録する

機能 F3 押す → #131 押す → 「あり」を選ぶ（押す） → 決定 F3 押す → 空き番号を選ぶ（押す） → 電話番号の下４ケタを入力する（1234567890 押す） → 決定 F3 押す →（続く）

ディスプレイ表示
ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし
ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし
電話番号1？ ....
電話番号1？ 1234

● 間違えたときは 消去 F4 押す

（続き）→ 「しない」を選ぶ（押す） → 決定 F3 押す → ファクス親機を「呼び出す」「呼び出さない」を選ぶ（押す） → 決定 F3 押す → 子機１を「呼び出す」「呼び出さない」を選ぶ（押す） → 決定 F3 押す（続けるとき：空き番号を選ぶへ戻る） → ストップ 押す

ディスプレイ表示
ﾌｧｸｽ専用 する,しない
親機 呼び出す,呼び出さない
子機1 呼び出す,呼び出さない

● ２台目以降の子機があるときは、続けて選ぶ。

ファクス専用番号を登録する

機能 F3 押す → #131 押す → 「あり」を選ぶ（押す） → 決定 F3 押す → 空き番号を選ぶ（押す） → 電話番号の下４ケタを入力する（1234567890 押す） → 決定 F3 押す →（続く）

ディスプレイ表示
ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし
ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ あり,なし
電話番号2？ ....
電話番号2？ 1235

● 間違えたときは 消去 F4 押す

（続き）→ 「する」を選ぶ（押す） → 決定 F3 押す → ストップ 押す

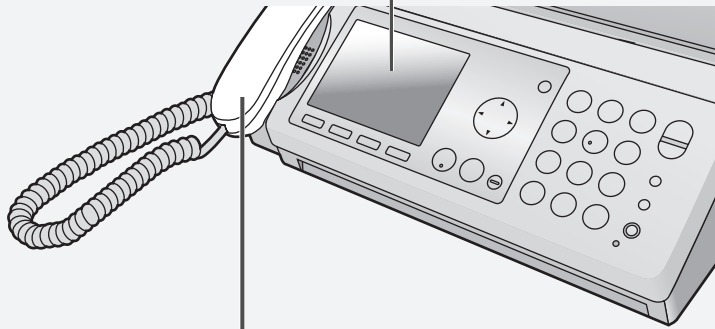
ディスプレイ表示
ﾌｧｸｽ専用 する,しない

■利用をやめるには（NTT へ連絡し、工事終了後に設定する）

お知らせ

● 電話番号１～５には、同じ番号は設定できません。

モデムダイヤルインサービス

ドアホンの呼び出しに応答する

1 ドアホンから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、相手の映像が映る

● 映像（ドアホン画像）は静止画で、約 3 秒ごとに更新しながら表示される。

2 応答する（相手と話す）には

受話器を取り、話す

● 相手と交互に話す
（同時に話すと途切れることがあります）

3 終わったら

受話器を戻す

■ ドアホンからの呼出音が鳴らず、映像も出ないとき（☞103 ページ）

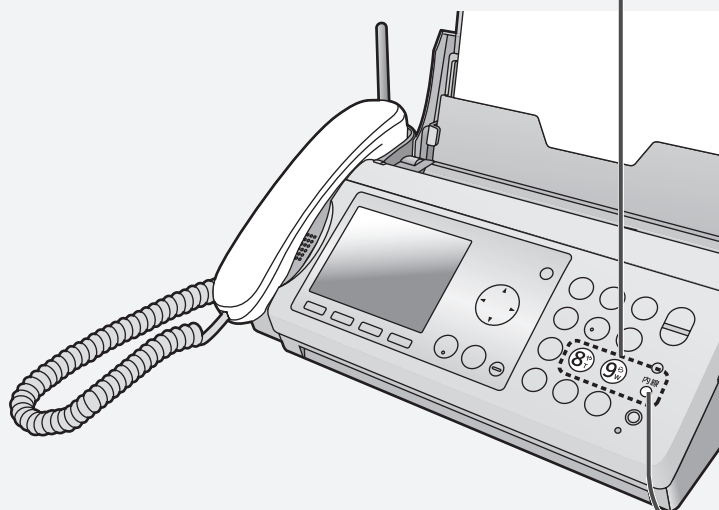
■画面の明るさやドアホン画像の大きさを変更できます（☞68 ページ）

■ドアホンとの通話中に電話がかかってきたとき（ドアホンとの通話を切って出る）

戻す（ドアホン通話が切れる）➡ 取る（外線通話になる）

お知らせ

- 画像を表示する性能が違うため、ファクス親機のドアホン画像は、ドアホン親機や子機よりも画質が劣ります。
- ファクス親機でドアホンからの呼び出しに応答すると…
  子機では映像がすぐに消えますが、ドアホン親機では、ファクス親機で通話を終了するか、最大３分経過するまで映像が消えません。
- 次のときにドアホンから呼び出しがあっても、ファクス親機にはドアホン画像が映りません。
  - 外線通話中（または保留中）
  - 電話内線通話中
  - ファクス送受信中
  - コピー中
- 次のことは、できません。
  - ドアホンとの通話を子機（またはドアホン親機）にまわす。
  - ドアホン・ファクス親機・子機（またはドアホン親機）の 3 者通話。
  - ファクス親機でドアホン通話中やモニター中に、電話をかける、または電話内線通話をする。
  - ファクス送受信中のドアホン通話。（ファクス親機の呼出音は鳴りますが、応答することはできません）
- ファクス親機で留守設定していても、来客の映像や用件を録画・録音することはできません。
  （ファクス親機の留守設定は外線着信にのみはたらきます）

ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）

1 内線 押し、
8（ドアホン 1）または
9（ドアホン 2）押す※

- 映像（ドアホン画像）が映り、周囲の音が聞こえる。
 （こちらの声はドアホン側には聞こえません）
- ドアホン側の相手と話すには
 取る。
 （終わったら、 戻す）

2 終わったら
内線 押す

■画面の明るさやドアホン画像の大きさを変更できます（☞68 ページ）

■ドアホンモニター中に電話がかかってきたとき（ドアホンモニターを終了して出る）

内線 押す（ドアホンモニターが終了する）➡ 取る（外線通話になる）

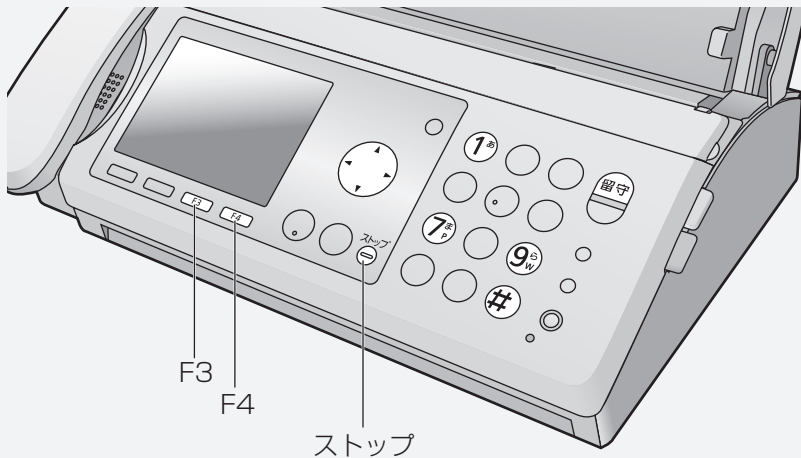
お願い

- ドアホンモニターを終了するには、必ず 内線 を押してください。（自動的には終了しません）

お知らせ

- ファクス親機でドアホンモニター中は、ドアホン親機の画面にも映像が表示されます。
 （ファクス親機でドアホンモニターを終了する、または最大３分経過すると消えます）

※お買い上げ後、一度もドアホンからの呼び出しがない場合は、手順 1 の操作をしてもドアホンモニターはできません。（映像が映りません）
ドアホン側で呼出ボタンを押して、ファクス親機で呼出音が鳴ることを確認したあとで、再度上記の操作をしてください。

ドアホン画像の表示について

■ドアホン画像全体が白っぽい、または黒っぽいとき（画面の明るさを変える）

ドアホン画像を表示中に 明るさ［F4］ 押す（押すごとに5段階で明るさが変わる）

● 最も明るい状態で 明るさ［F4］ を押すと、最も暗い状態になります。

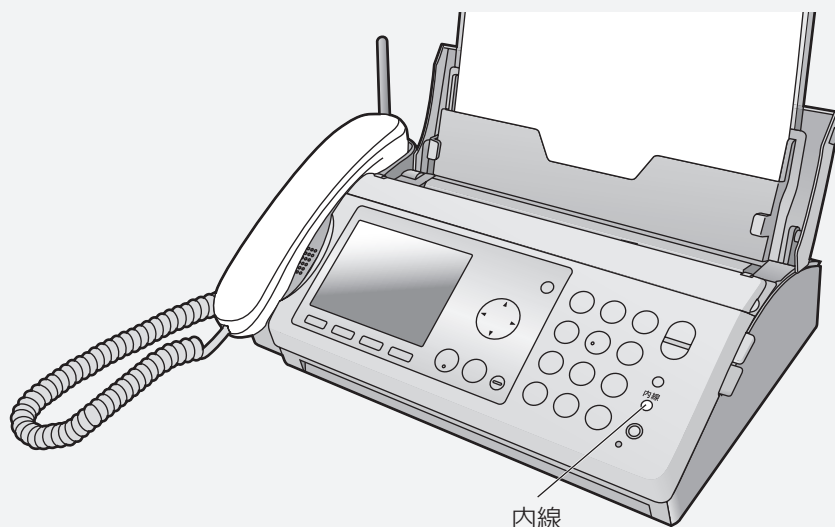
■ドアホン画像の大きさを変えるには

機能［F3］ ➡ # 1 7 9 ➡ ◁▷ 大きさを選び ➡ 決定［F3］ ➡ ストップ

● お買い上げ時は、「小」に設定されています。

「小」のとき

「大」のとき

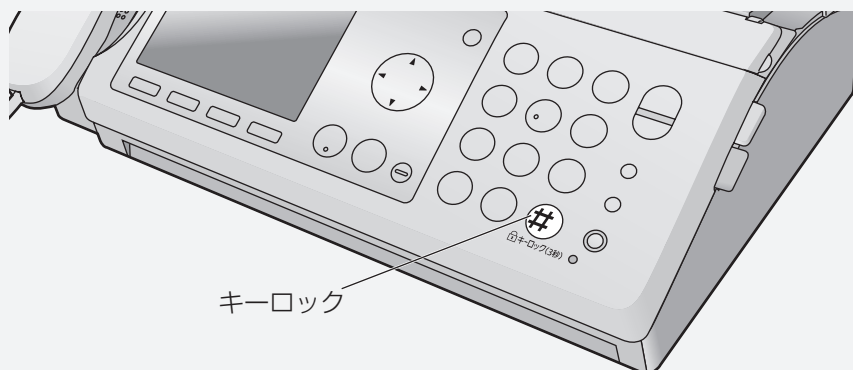
通話中にドアホンが鳴ったら

電話（外線通話・電話内線通話）中にドアホンから呼び出しがあったとき

電話内線通話中は、通話を終わらせてドアホンに応答してください。
外線通話中は、外線を保留してドアホンに応答することもできます。

ドアホンとの通話中・モニター中に別のドアホンから呼び出しがあったとき（ドアホンが2台あるとき）

元のドアホン通話やモニターを終わらせて、別のドアホンに応答してください。

キーロックを使う

お掃除などのとき、誤操作を防ぐため操作ボタンを受けつけないようにできます。

操作をできないようにする

■ 設定するには

「ピッ」と鳴るまで

3 秒以上押す

キーロックを
設定しました

● 設定するとディスプレイに キーロック と表示します。

■ 解除するには

「ピッ」と鳴るまで

3 秒以上押す

キーロックを
解除しました

● 外線通話中やドアホン画像表示中は解除できます。

お知らせ

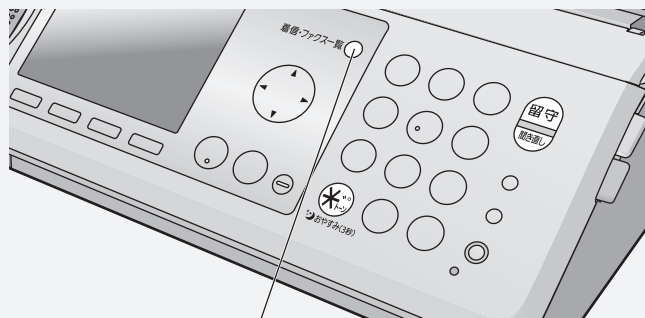
● キーロックを設定すると、
  - 電話をかけることはできません。(「110」「119」などの緊急連絡先にもかけることはできません)
  - かかってきた電話を受けたり、ドアホンに出ることはできます。
  - 受話器を取ったり、ボタンを押すとディスプレイに次のように表示します。

キーロック設定中
解除は[#]を3秒押す

● 表示中にファクス親機で受話器を取る、またはボタンを押す操作を合計 3 回行うと、キーロックの設定をしていることを音声でお知らせします。

おやすみモードを使う（続く）

おやすみになりたいときや、静かにすごしたいとき、おやすみモードにすると、ファクス親機の音を鳴らさないようにできます。

- 毎日指定した時間帯に、おやすみモードをタイマー設定することもできます。（☞72 ページ「おやすみタイマー」）
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは、特定の相手からの電話やファクスを、呼出音を鳴らして留守番電話が応答するようにできます。（☞73 ページ）

着信・ファクス一覧

- おやすみモードのときは
  - ファクス親機の呼出音（外線・ドアホン）やキー確認音が鳴りません。（内線の呼出音は鳴ります）
  - 子機では外線の呼出音のみ鳴りません。（ドアホン・内線の呼出音やキー確認音は鳴ります）
  - 留守設定されます。（☞54 ページ）
  - ファクスはメモリーに受信されます。（☞44 ページ）
  - 留守番電話が応答中の音声は、スピーカーから聞こえません。（☞54 ページ）
  - 操作案内などの音声は流れません。（☞25 ページ）

おやすみモードにする

■ 設定するには

3 秒以上押す

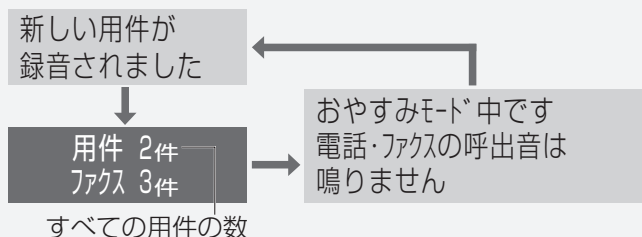
おやすみﾓｰﾄﾞを
設定しました

■ 解除するには

3 秒以上押す

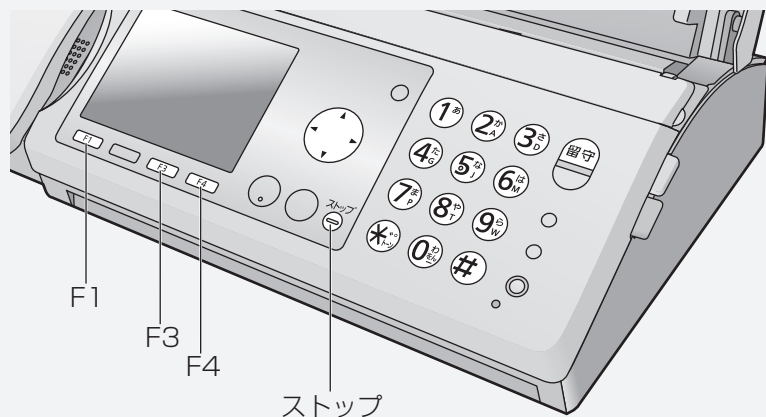
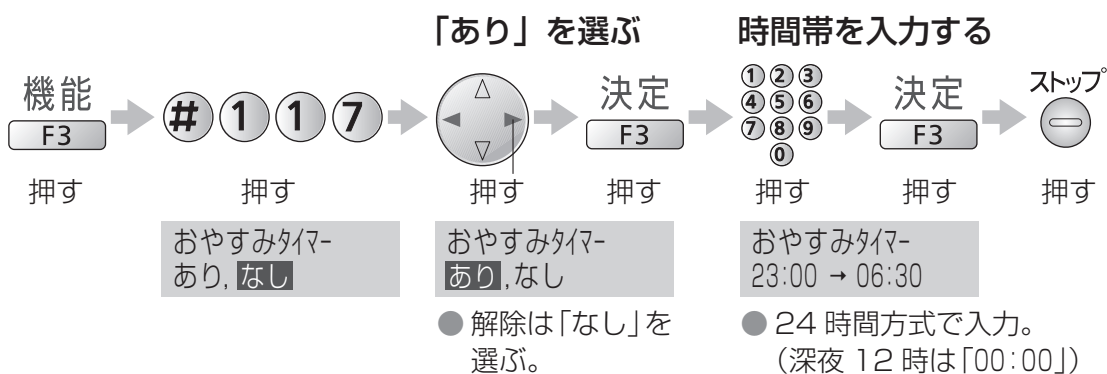
おやすみﾓｰﾄﾞを
解除しました

- おやすみモードのときは、ディスプレイに と表示し、留守 が点灯します。

- 次の場合は、着信･ファクス一覧 が点灯します。
  - 新規にファクスをメモリー受信したとき。（☞44 ページ）
  - ナンバー・ディスプレイを利用している場合に着信があったとき。（☞58 ページ）
- 「新しい用件が録音されました」と表示されたときは

- 留守 が点滅しているとき 留守 押す（新しい用件を再生し、おやすみモードが解除される）（☞55 ページ）
- 留守 が消灯しているとき 聞き直し 押す（すべての用件が再生される）（☞54 ページ）

お知らせ

- おやすみモードのときは、次の機能は、はたらきません。
  - 用件転送（☞57 ページ）
  - モデムダイヤルインによる子機の呼び出し
- おやすみモードのときに、用件録音・通話録音のメモリーがいっぱいになると、新しい用件は記憶されません。
- おやすみモードのときに、ファクスのメモリーがいっぱいになると、新しいファクスは受信されません。
- おやすみモードのときに留守設定を解除する（☞55 ページ・「子機編」40 ページ）と、おやすみモードも解除されます。

おやすみモードを使う（続き）

おやすみモードにする時間帯を設定する（おやすみタイマー）

- 設定した時間帯は、ディスプレイに おやすみ と表示し、留守 が点灯します。
- おやすみタイマーの設定時間帯の中で上記操作をした場合は、開始時間が過ぎているため、＊ を３秒以上押しておやすみモードにしてください。

お知らせ

- おやすみタイマー中に、＊ を３秒以上押すと、おやすみモードは解除されます。
- ＊ を押しておやすみモードに設定したときも、おやすみタイマーの終了時間になると、おやすみモードは解除されます。
- ディスプレイに表示される時刻がずれていると、おやすみタイマーがはたらく時間帯もずれます。ずれているときは、日付・時刻を設定し直してください。（☞23 ページ）

おやすみモード中、特定の相手のみ呼出音を鳴らす（ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要）

- ファクス親機の電話帳に登録している相手のみ登録できます。
- 登録した相手から電話があったときは、呼出音が鳴り、留守番電話が応答します。
- 登録した相手からファクスがあったときは、呼出音が鳴り、ファクスが自動的に受信されます。見てから印刷を解除しているときは（☞44 ページ）、記録紙にプリントされます。

■解除するとき

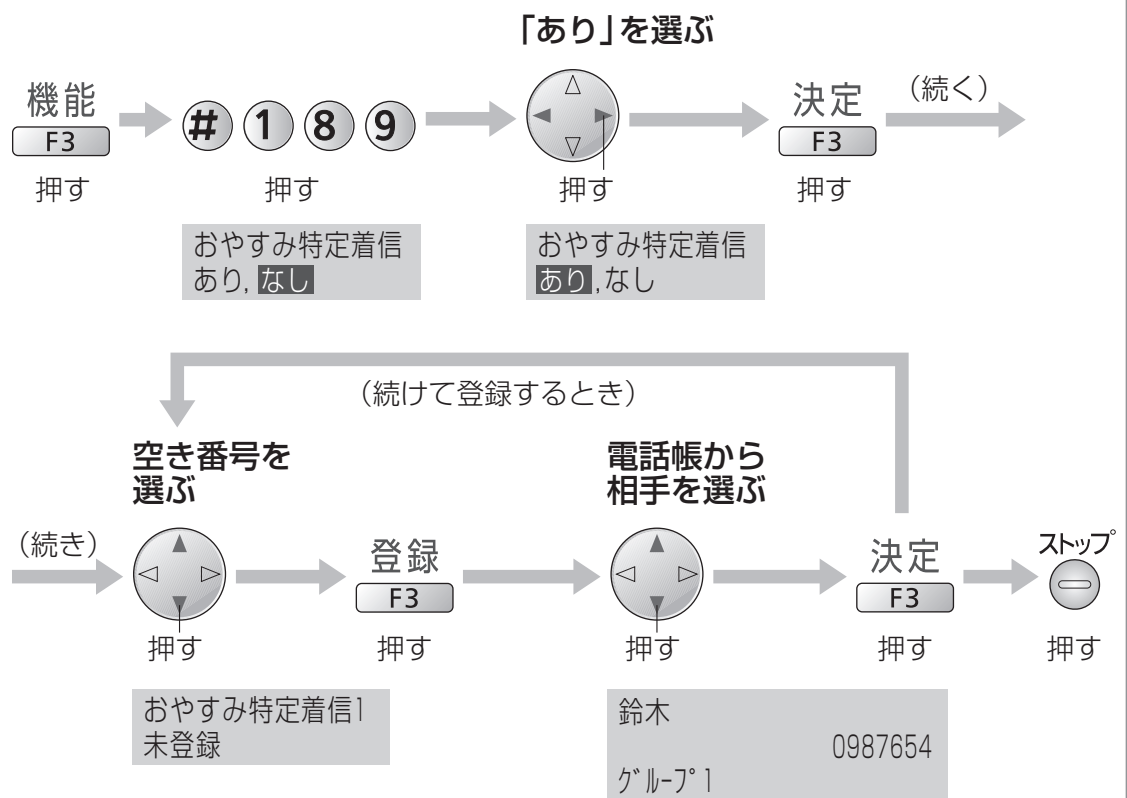
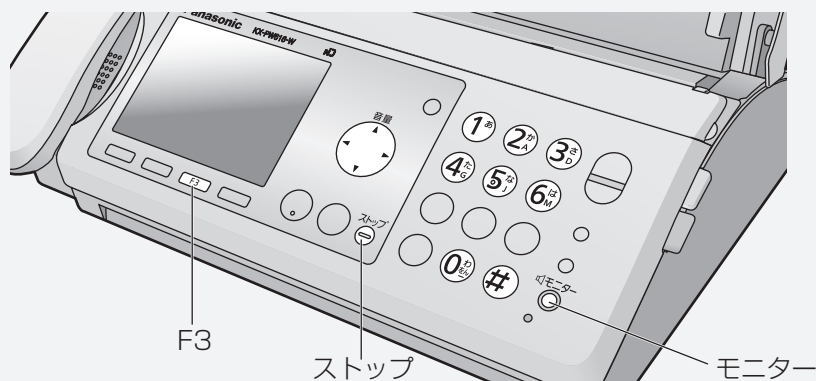
（個別に）

機能 F3 ➡ # 1 8 9 ➡ 「あり」を選び ➡ 決定 F3 ➡ 番号を選び ➡ 消去 F4 ➡ はい F1 ➡ ストップ

（すべて）

機能 F3 ➡ # 1 8 9 ➡ 「なし」を選び ➡ 決定 F3 ➡ ストップ

お知らせ

- ファクス親機の電話帳を修正・消去すると、おやすみ特定着信で登録した番号も修正・消去されます。

音の設定 音量・呼出音

音の大きさを変える

	変えられるとき	変えられる範囲
呼出音量 （外線／内線／ドアホン）	電話をかけていないとき	ステップトーン＋８段階＋「切」
受話音量	通話中	３段階
スピーカー音量	モニター を押したとき／保留中／操作案内中／留守電再生中／音声内線呼出中（受ける側）	９段階

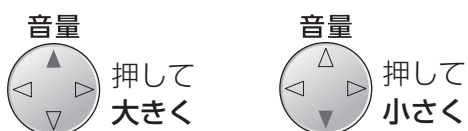
■ステップトーンについて

電話がかかってきたときに、呼出音量がレベル「１」から「8」まで１段階ずつ大きくなります。

● ドアホンの呼出音は、「ステップトーン」にしてもレベル「4」の音量で鳴ります。

音量を変える

音量 押して **大きく**

音量 押して **小さく**

■ 呼出音をステップトーンにするには

レベル「8」で 押す
（押すと、レベル「1」で鳴る）
（ 押すと解除）

■「切」（呼出音を鳴らさない）にするには

「ピピッピピッ」と鳴るまで押し続ける。
（ 押すと解除）

● 電話内線通話／ドアホンの呼出音は、「切」にしても最小で鳴ります。

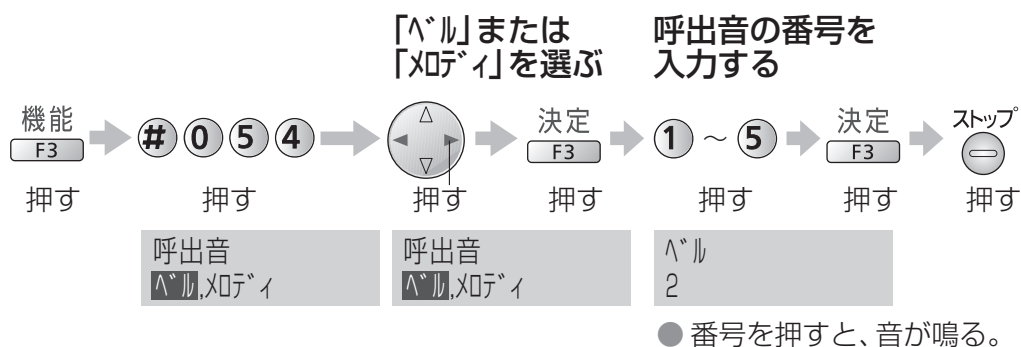
● スピーカー音量はレベル「0」にしても、次回使うときは「2」の音量になります。

呼出音を変える

電話が
かかって
きたときの
**呼出音を
変える**

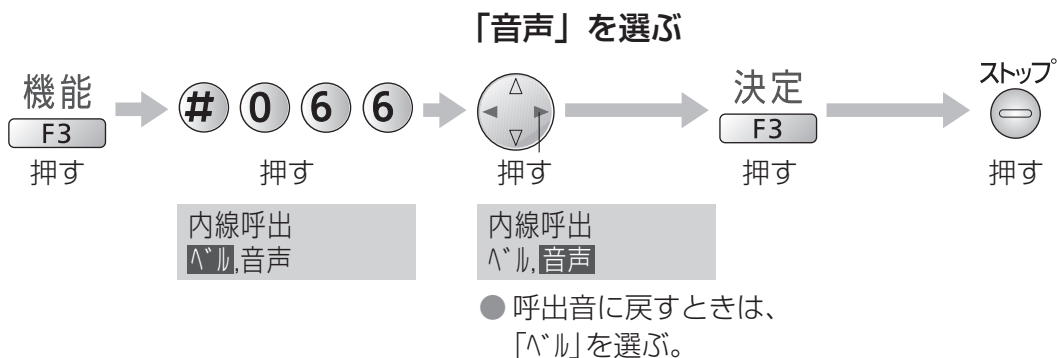
機能 F3 押す → #054 押す → ▶ 押す → 決定 F3 押す → 1 ～ 5 押す → 決定 F3 押す → ストップ 押す

ﾍﾞﾙ
2

● 番号を押すと、音が鳴る。

■呼出音の種類

	呼出音の番号	内　容
ベル	1 ～ 5	5 種類のベル
メロディ	1	JUPITER
	2	ヴァルキューレの騎行
	3	CANTATA（主よ、人の望みの喜びよ）
	4	くるみ割り人形

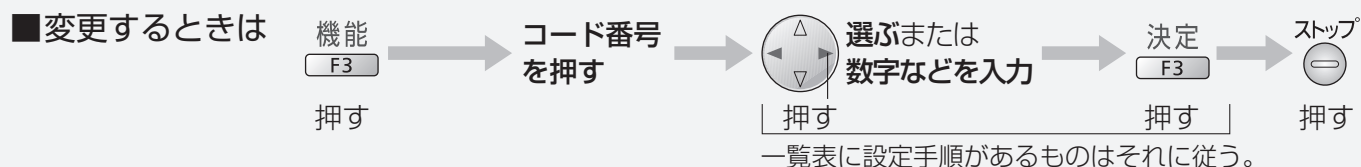
● 電話内線通話／ドアホンの呼出音は変更できません。

電話内線通話の呼び出しかたを変える

● 設定後の使いかたは（☞33 ページ『■「内線呼出」が「音声」のときは』）

機能一覧

● お買い上げ時は、[　　　] 枠の値に設定されています。

■変更するときは　機能 F3 押す → コード番号を押す → 選ぶまたは数字などを入力 押す → 決定 F3 押す → ストップ 押す

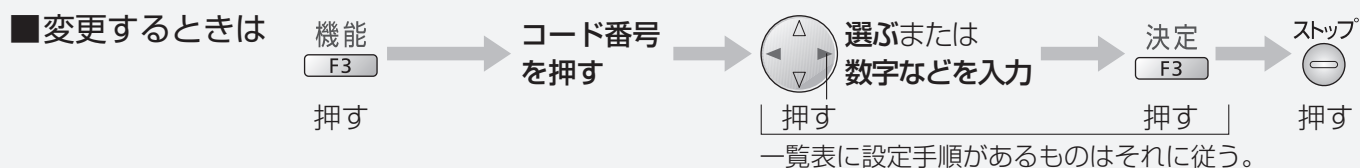
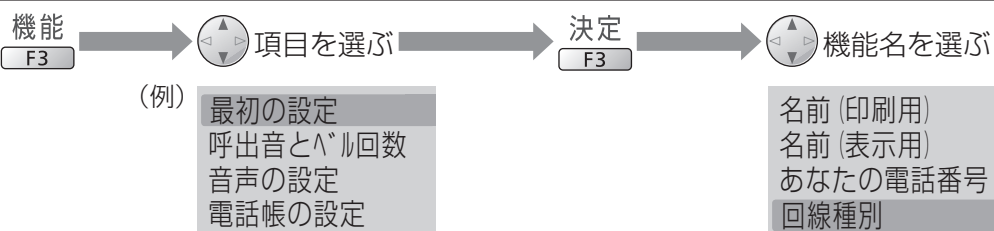
一覧表に設定手順があるものはそれに従う。

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
最初の設定	現在の日時〈日付・時刻〉	#001	年・月・日・時刻を入力	23
	相手のファクスにプリントされる名前〈あなたの名前(印刷用)〉	#002	名前を入力	24
	相手のファクスに表示される名前〈あなたの名前(表示用)〉	#003	名前を入力	24
	相手のファクスにプリントされる電話番号〈あなたの電話番号〉	#004	電話番号を入力	24
	電話回線の設定〈電話回線種別〉	#079	[自動]、プッシュ、20、10	22
	機能登録の内容をプリント〈登録リスト印刷〉	#000	決定 F3 押す	–
呼出音とベル回数	呼出音〈呼出音〉	#054	ベル：[1]、2、3、4、5 メロディ：1、2、3、4	75
	在宅時、自動的に回線がつながるまでの呼出音の回数〈在宅着信呼出音の回数〉	#112	3、5、10、[15]、20、自動応答しない(電話に出るまで鳴り続ける) ● 「3」、「5」を選ぶと、自動受信に設定される。	46
	留守時、応答メッセージを流すまでの呼出音の回数〈留守着信呼出音の回数〉	#121	2、[4]、6、9、ファクス専用、トールセーバー ● 9：応答するまでの時間が長いため、相手機のファクス信号が終了し、ファクスを自動受信できないことがある。 ● ファクス専用：留守設定が必要。 ● トールセーバー(☞56 ページ)	46
	ファクス親機の音を鳴らさない時間帯を設定〈おやすみタイマー〉	#117	あり、[なし] ● あり：時間帯を設定	72
音声の設定	送受信結果の音声を流す〈ファクス親切案内〉	#020	[あり]（流す）、なし（流さない）	43 45
	原稿をセットしたとき、自動で操作案内をする〈自動操作案内〉	#021	[あり]、なし	25
	ダイヤルした番号を音声で読み上げる〈読み上げダイヤル〉	#130	[あり]、なし	25
	電話帳・短縮ダイヤルに登録するときや検索して電話をかけるとき、音声で操作案内をする〈電話帳音声案内〉	#167	[あり]、なし	25
	インクフィルム交換でバックカバーを開けたとき、音声で操作案内をする〈インクフィルム交換音声案内〉	#173	[あり]、なし	25
	メモリー受信したファクスを選ぶとき、音声で操作案内をする〈ファクス一覧音声案内〉	#177	[あり]、なし	25
電話帳の設定	電話帳の内容をプリント〈電話帳印刷〉	#041	[親機]、子機	37
	電話帳の内容を子機に転送〈電話帳転送〉	#143	転送先を選ぶ → 内容を選ぶ	38
	電話帳の内容をすべて消去〈電話帳全消去〉	#144	決定 F3 → はい F1	–
	短縮ダイヤルの内容をプリント〈短縮ダイヤル印刷〉	#039	決定 F3 押す	41

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
ファクスの受け方	在宅着信呼出音の回数を3回にして、ファクスの自動受信を設定する〈ファクス自動受信〉	#116	する、しない ● する　:呼出回数が3回に設定される。 しない:呼出回数が15回に設定される。(自動受信を解除)	46
	在宅時、呼出音を鳴らさずにファクスを受ける〈無鳴動受信〉	#114	しない、常時、タイマー ● タイマー:鳴らさない時間帯を設定。	47
	記録紙節約のため、縮小してプリント〈エコノミー受信〉	#090	あり(1):92 %に縮小してプリント あり(2):原寸でプリント(収まらない部分はプリントしない) なし　:原寸でプリント(収まらない部分は2ページ目にプリント)	50
ファクスの設定	海外へうまく送れないとき〈海外送信モード〉	#023	1回、なし	43
	NTT のＦネットを利用する〈Ｆネット〉	#105	あり（する）、なし（しない） ● ホームテレホンに接続するときは、「あり」を選ぶ。	51
留守番電話の設定	外出先から操作時の暗証番号〈暗証番号〉	#006	4ケタの数字を入力	56
	用件1件あたりの録音時間〈用件録音時間〉	#030	2分、最大	54
	留守電のリモート再生で一度聞いた用件の再生〈留守電リモート再生〉	#127	繰り返し:聞くたびにすべて再生する 1回　:一度聞いた用件を再生しない	57
	用件を外出先に転送〈用件転送〉	#142	する（転送先登録）、しない	57
	自分の声で応答メッセージを作る〈自作応答録音〉	#147	録音する	55
	自作メッセージを消す〈自作応答消去〉	#148	決定 F3 → はい F1	55
	自作の応答メッセージから固定にする〈応答切替〉	#128	自動 : 自動切替(自作メッセージ優先) 固定 : 固定にする	55
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイサービスを利用〈ナンバー・ディスプレイ〉	#133	自動、あり、なし（やめるとき）	58
	キャッチホン・ディスプレイサービスを利用〈キャッチホン・ディスプレイ〉	#137	あり（する）、なし（しない）	58
	相手によって呼出音を変える〈外線着信鳴り分け〉	#135	電話帳のグループ(1～9)・非通知・公衆電話・表示圏外ごとに設定。	63
	非通知の電話に出ない〈非通知着信拒否／留守応答〉	#184	受ける、受けない(拒否)、録音(留守番電話で応答)	61
	公衆電話からの電話に出ない〈公衆電話着信拒否／留守応答〉	#186	受ける、受けない(拒否)、録音(留守番電話で応答)	61
	表示圏外の電話に出ない〈表示圏外着信拒否／留守応答〉	#187	受ける、受けない(拒否)、録音(留守番電話で応答)	61
	ファクス親機の電話帳に未登録の電話に約8時間出ない〈未登録番号着信拒否／留守応答〉	#188	受ける、受けない(約8時間拒否)、録音(留守番電話で応答)	62
	特定の相手からの電話に出ない〈迷惑電話着信拒否〉	#136	あり(拒否する相手を設定)、なし	60
	おやすみモードのとき、特定の相手からの電話に、呼出音を鳴らして受ける〈おやすみ特定着信〉	#189	あり(呼出音を鳴らす相手を設定)、なし	73

機能一覧（続き）

● お買い上げ時は、[　　　] 枠の値に設定されています。

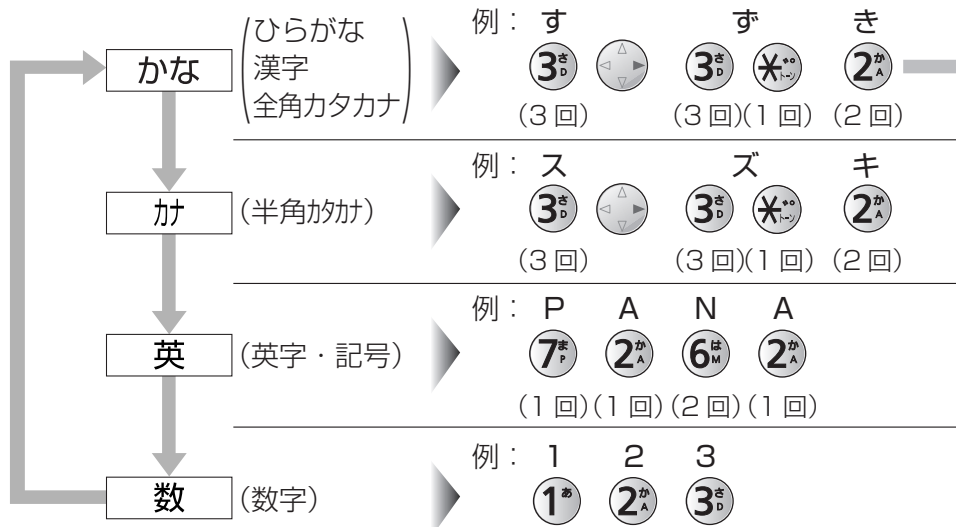
■変更するときは　機能 F3 押す → コード番号を押す → 選ぶまたは数字などを入力（押す）→ 決定 F3 押す → ストップ 押す

一覧表に設定手順があるものはそれに従う。

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
接続機器の設定	子機を増やす〈子機増設〉	#123	増設番号を選ぶ	86
	子機を減らす〈子機減設〉	#178	減設番号を選ぶ	87
	中継アンテナを登録する〈中継アンテナ設定〉	#101	減設 =1、増設 =2	89
	ワイヤレスアダプター機能での接続を解除（減設）する〈ワイヤレスアダプター機能〉	#164	減設 =1、増設 =2	96
	ドアホン画像の大きさを変える〈ドアホン画像サイズ〉	#179	大、[小]	68
	ドアホン接続の設定〈ドアホン〉	#160	**（設定は不要です）**	–
その他の設定	別売品のインクフィルムの残量のめやすを表示〈フィルム残量表示〉	#098	あり（表示する）、[なし]（表示しない）	92
	ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴らす〈キー確認音〉	#058	[あり]（鳴らす）、なし（鳴らさない）	–
	複数の電話番号を使う〈モデムダイヤルイン〉	#131	あり、[なし] ● あり：電話番号ごとに、ファクス専用か呼出先（ファクス親機・子機）を設定。	65
	ADSL や ISDN 回線に接続する〈TA/ スプリッタ〉	#172	ｵﾝ、[ｵﾌ] ●「ｵﾝ」に設定すると、電話の声がやや小さくなります。	90
	A4 サイズより長い原稿の下部を次ページにプリント〈分割コピー〉	#091	あり、[なし]（1 ページで中断）	52
	携帯電話への通話料金を選ぶサービスを利用〈選んでケータイ〉	#198	あり、[なし] ● あり：NTT 東日本、NTT 西日本、その他（事業者識別番号を登録）	26
	IP 電話解除番号を登録する〈IP 電話解除機能〉	#199	あり（IP 電話解除番号登録）、[なし]	26
	電話内線通話を音声で呼び出す〈内線呼出〉	#066	[ﾍﾞﾙ]、音声	75
	すべてお買い上げ時の設定に戻す〈出荷時設定〉	#111	決定 F3 → はい F1 ……→ 決定 F3	11
	液晶ディスプレイのコントラストを調整する〈LCD コントラスト〉	#052	−4、−3、−2、−1、[0]、+1、+2、+3、+4	–

メッセージ一覧

メッセージ ①	呼び出しましたが近くにおりません。ファクスをご利用の方は送信してください。 電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	46·47
メッセージ ②	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は送信してください。 電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	54
メッセージ ③	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は送信してください。 電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	54
メッセージ ④	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は、おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	54
メッセージ ⑤	ただいま留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	54
メッセージ ⑥	あなたの電話番号は通知されていません。 おそれいりますが、電話番号の前に「186」をつけて、おかけ直しください。	32·61
メッセージ ⑦	公衆電話からはおつなぎできません。おそれいりますが、公衆電話以外から、おかけ直しください。	32·61
メッセージ ⑧	表示圏外からの電話はおつなぎできません。	32·61
メッセージ ⑨	おそれいりますが、あなたの電話番号からはおつなぎできません。	62
メッセージ ⑩	おそれいりますが、この電話はおつなぎできません。	31·32

● ファクス親機の状態によってメッセージ ① ～ ⑩ は自動的に切り替わります。選択することはできません。

文字入力のしかた

● あなたの名前（☞24 ページ）や電話帳（☞36 ページ）を登録するときなどに使います。

こんなときは

■同じボタンの文字を続けて入力するには

例：あい
あ 1 → （カーソルを右へ）→ い 1 1

■カーソルを移動するには　押す

■途中で入力をやめるには　ストップ 押す

挿入・修正・消去するには

■挿入するには

挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する。

■修正するには

修正する文字にカーソルを移動し、消去 F4 押して消し、入力し直す。

■消去するには

消去する文字にカーソルを移動し、消去 F4 押す。

■すべて消去するには

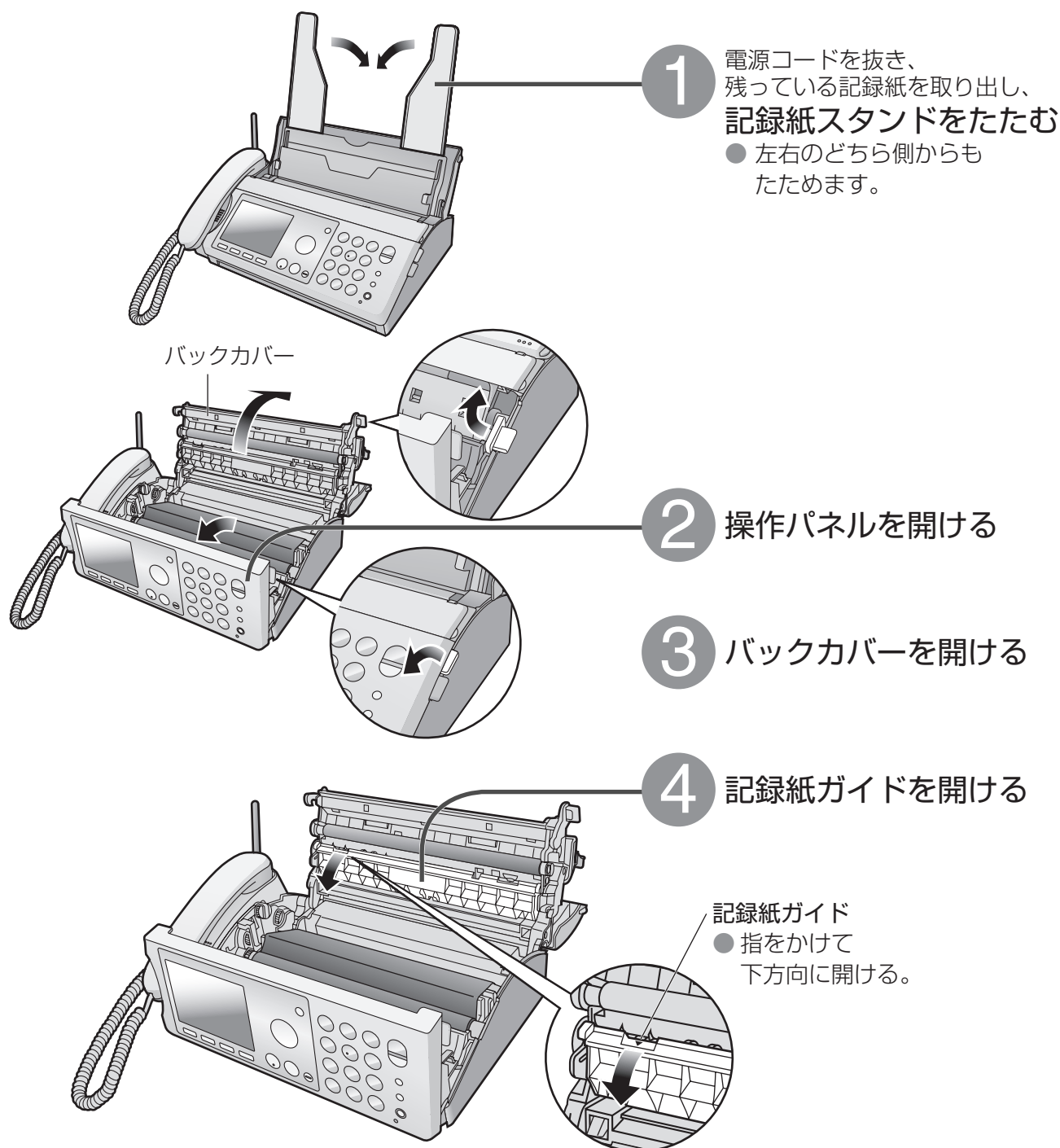
文字の先頭にカーソルを移動し、消去 F4 を約 2 秒以上押す。

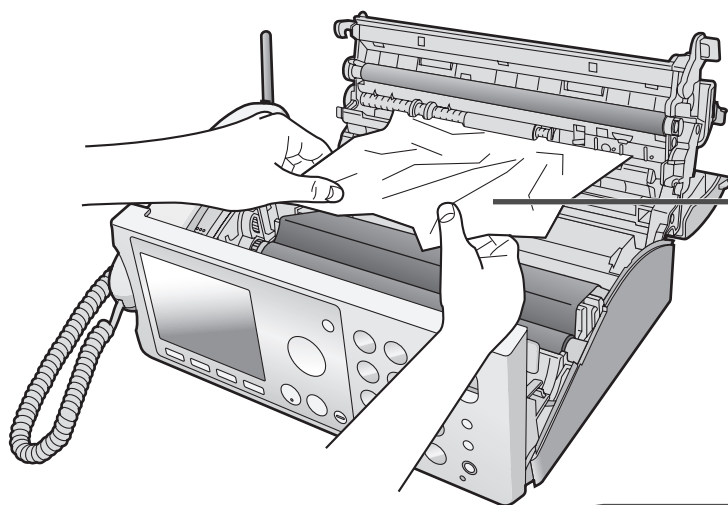
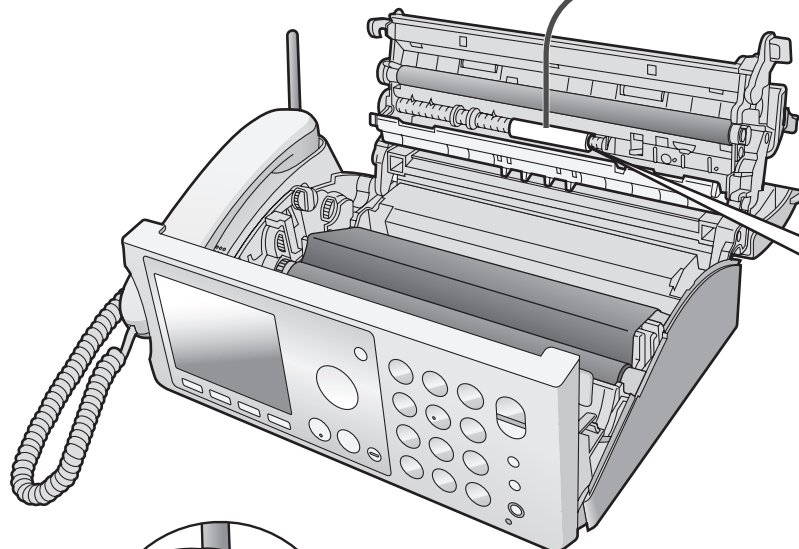
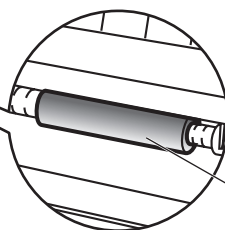
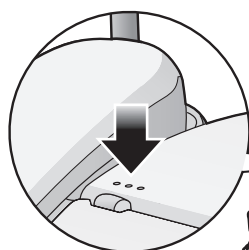
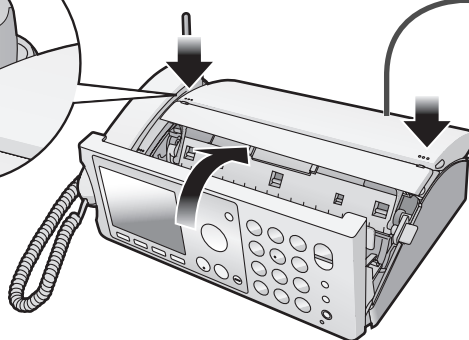
文字列一覧表

ボタン ＼ 表示	かな	カナ	英	数
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ	@ . _ −(ハイフン) & $ ¥ % + = ˜ ^	1
2	か き く け こ	カ キ ク ケ コ	A B C a b c	2
3	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ	D E F d e f	3
4	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ	G H I g h i	4
5	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ	J K L j k l	5
6	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ	M N O m n o	6
7	ま み む め も	マ ミ ム メ モ	P Q R S p q r s	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ	T U V t u v	8
9	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ	W X Y Z w x y z	9
0	わ を ん ー(長音) ! ? ( )	ワ ヲ ン ー(長音) ! ? ( )	! ? / −(ハイフン) ＊ # , ; : ｜ · ’ ” ( ) [ ] { } 〈 〉 「 」	0
＊	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。	、 。	
内線	スペース（1 文字分空ける）			

● 一覧表の文字とディスプレイの文字は形が異なることがあります。
● 文字数には、スペースも含まれます。

記録紙が詰まったとき

記録紙を取り除いたあと、給紙ローラーの汚れをふき取ってください。

お願い

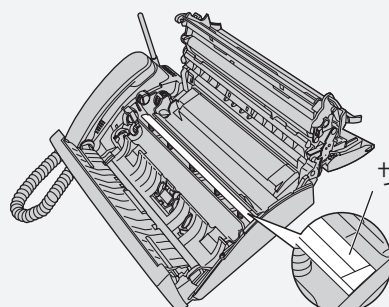
- **ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。**
  （開けたままにしていると、ほこりが中に入り、**記録紙詰まりの原因になります**）
  受信したファクスのプリントやコピーをするときに、随時、記録紙をセットしてください。
- プリント・コピーするときは、必ず記録紙スタンドを立ててください。（☞18 ページ）
  （記録紙スタンドを立てないで記録紙を入れると、記録紙詰まりの原因になります）

5 詰まった記録紙を内側から取り除く

6 給紙ローラーをふく
● 水を含ませて固く絞った布でふく。

給紙ローラー

7 「カチッ」と音がするまで両端の「◦◦◦」の部分を押してバックカバーを閉める

8 操作パネルを閉めて電源コードを接続する

9 記録紙をもう一度セットし直す
(☞18 ページ)

お願い

● サーマルヘッド部分は、触らないようにご注意ください。(汚れなどにより、白や黒の線が出る原因になります)

お知らせ

● 「未登録番号着信拒否／留守応答」(☞62 ページ)を「受けない」に設定しているときに、電源コードを抜くと解除(設定:受ける)されます。(その他の登録した内容・応答メッセージ・用件は消えません)

記録紙や相手の受信用紙に 白や黒の線などが入るとき

白い線・黒い線・黒い点が入るときは、内部の汚れをふき取ってください。

1 電源コードを抜き、残っている記録紙を取り出し、
記録紙スタンドをたたむ
- 左右のどちら側からもたためます。

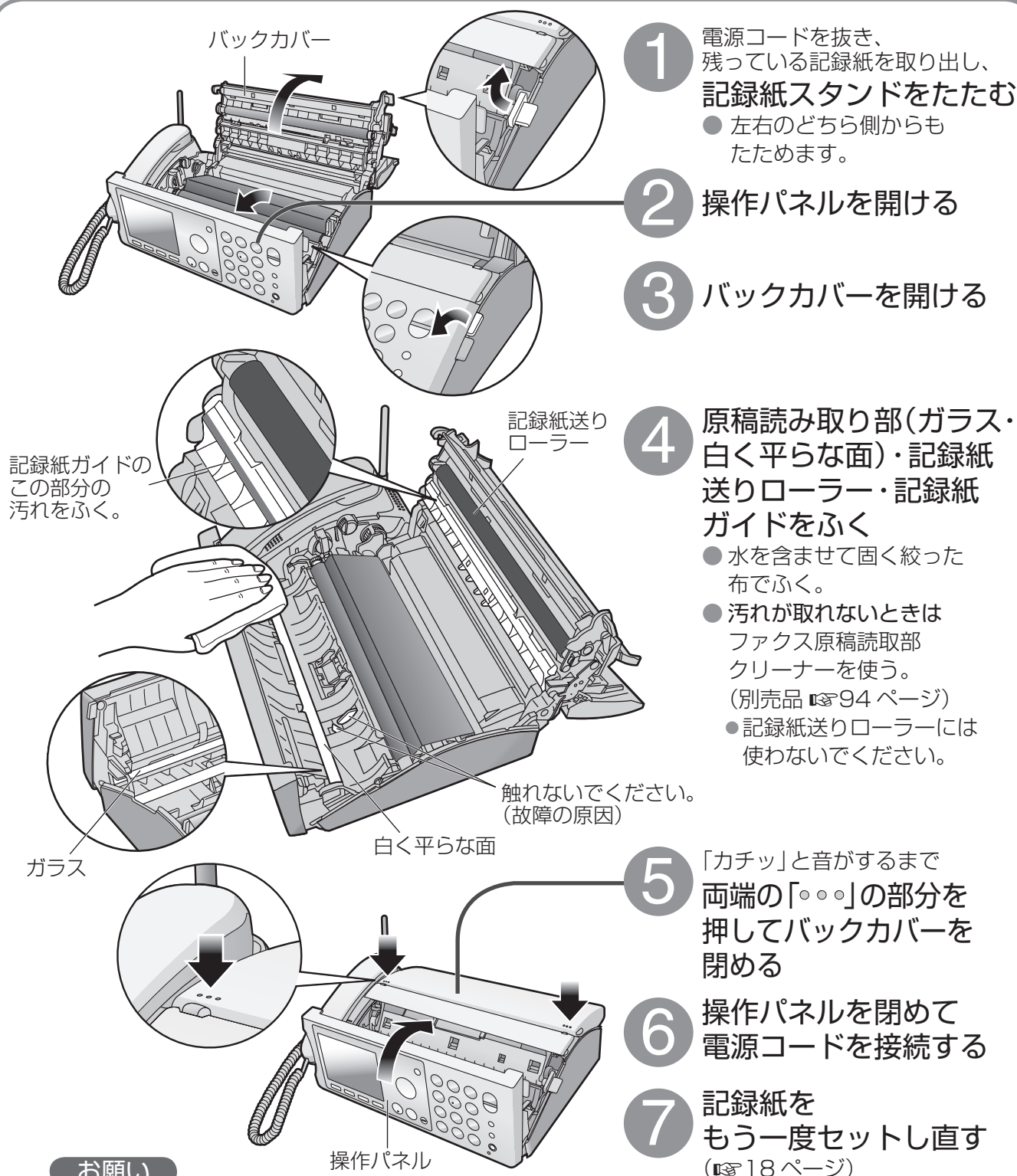
2 **操作パネルを開ける**

3 **バックカバーを開ける**

4 **原稿読み取り部(ガラス・白く平らな面)・記録紙送りローラー・記録紙ガイドをふく**
- 水を含ませて固く絞った布でふく。
- 汚れが取れないときは
  ファクス原稿読取部クリーナーを使う。
  (別売品 ☞94 ページ)
  - 記録紙送りローラーには使わないでください。

5 「カチッ」と音がするまで
両端の「◦◦◦」の部分を押してバックカバーを閉める

6 **操作パネルを閉めて電源コードを接続する**

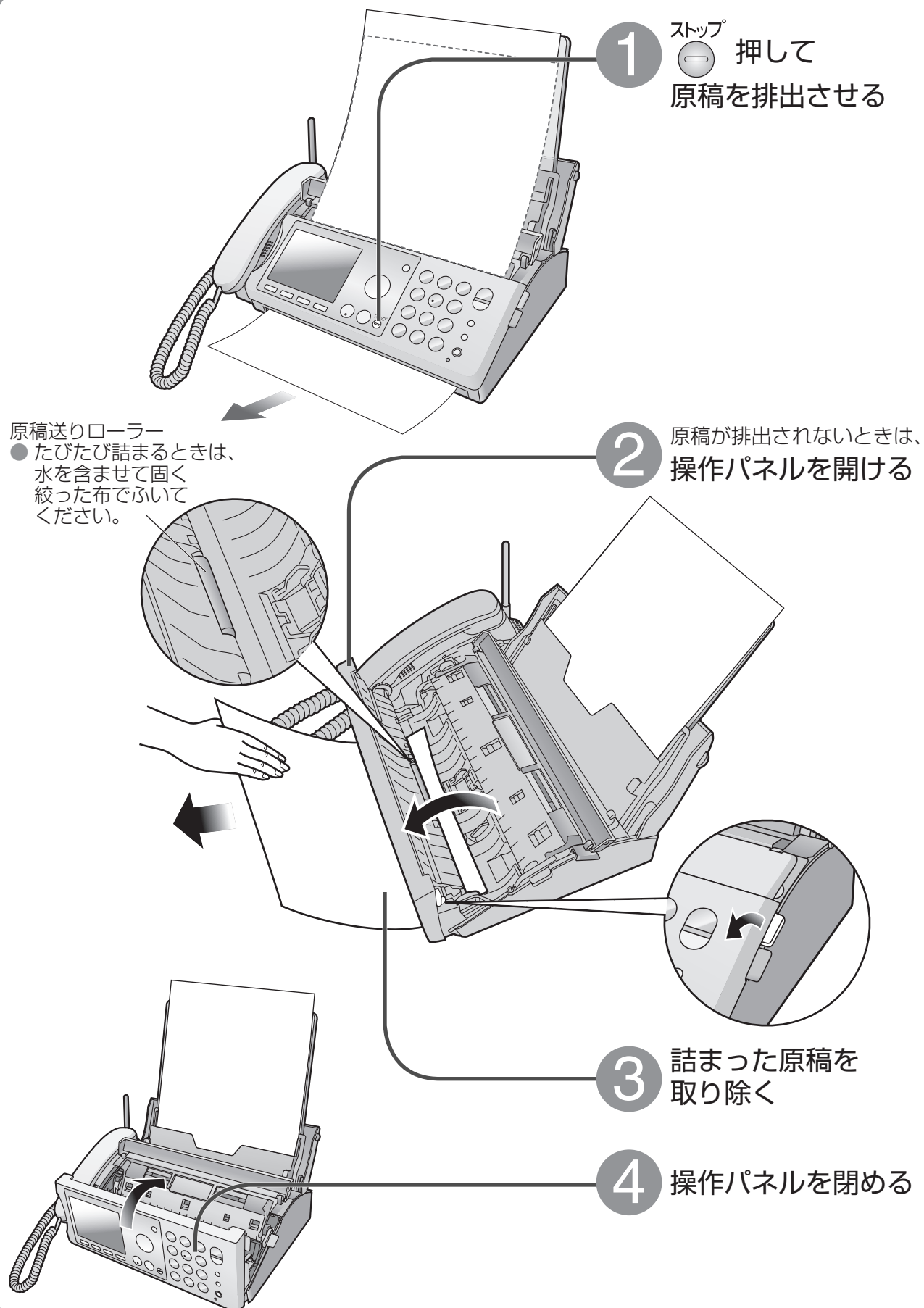
7 **記録紙をもう一度セットし直す**
(☞18 ページ)

お願い

- ガラス部分は指で触らないでください。(汚れの原因)
- お手入れ後は、コピーして線が入らないことを確認してください。(入るときは、販売店にご相談を)

お知らせ

- お手入れ後も記録紙が汚れるときは
  通信相手の問題も考えられます。相手の原稿またはファクスの読取部が汚れていないか、確認してもらってください。

原稿が詰まったとき

白や黒の線などが入るとき／原稿が詰まったとき

別売品の 子機を増やす （増設・減設）

■増やせる子機は

- 別売品をお使いください。(☞94 ページ)
- あと 5 台まで増やせます。
- 増やせる子機の機種は追加になることがあります。
- 子機によって使える機能が異なることがあります。
- KX-FKN531 と VL-W603 はドアホン / 電話両用子機です。
  - •ドアホン機能を使うにはドアホン親機に
  - •電話機能を使うにはファクス親機に

  それぞれ登録が必要です※

※ドアホン親機への登録については、「ドアホン親機編」の 49 ページをお読みください。

ファクス親機で 新しい子機を登録する

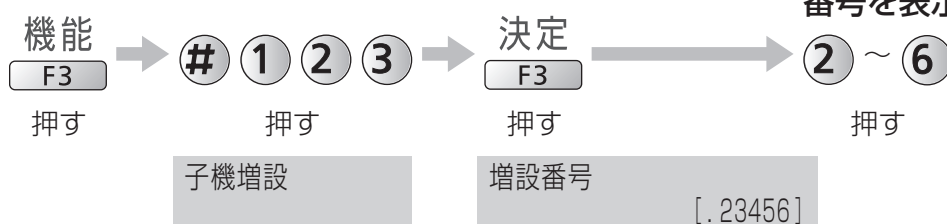
- ファクス親機・子機で登録操作中は、電話機コードを抜いてください。

機能 F3 押す → # ① ② ③ 押す → 決定 F3 押す → 増設する子機の番号を表示から選ぶ ② ～ ⑥ 押す

子機増設

増設番号 [.23456]

- 空いている番号のみ表示。

新しい 子機で 登録する

- ファクス親機の操作後、約 2 分以内に子機を操作してください。

■ KX-FKN531 の場合

Ⓓ（機能）押す

- 下記のどちらかを表示

Ⓐ 子機増設 / 電話/ファクス / ドアホン

Ⓑ 機能 1/10 / 操作ガイド / 子機の名前 / 呼出音 / キー確認音

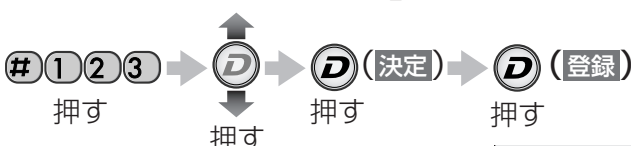
■ Ⓐ の場合

「電話 / ファクス」を選ぶ

Ⓓ（上下）押す → Ⓓ（決定）押す → Ⓓ（登録）押す

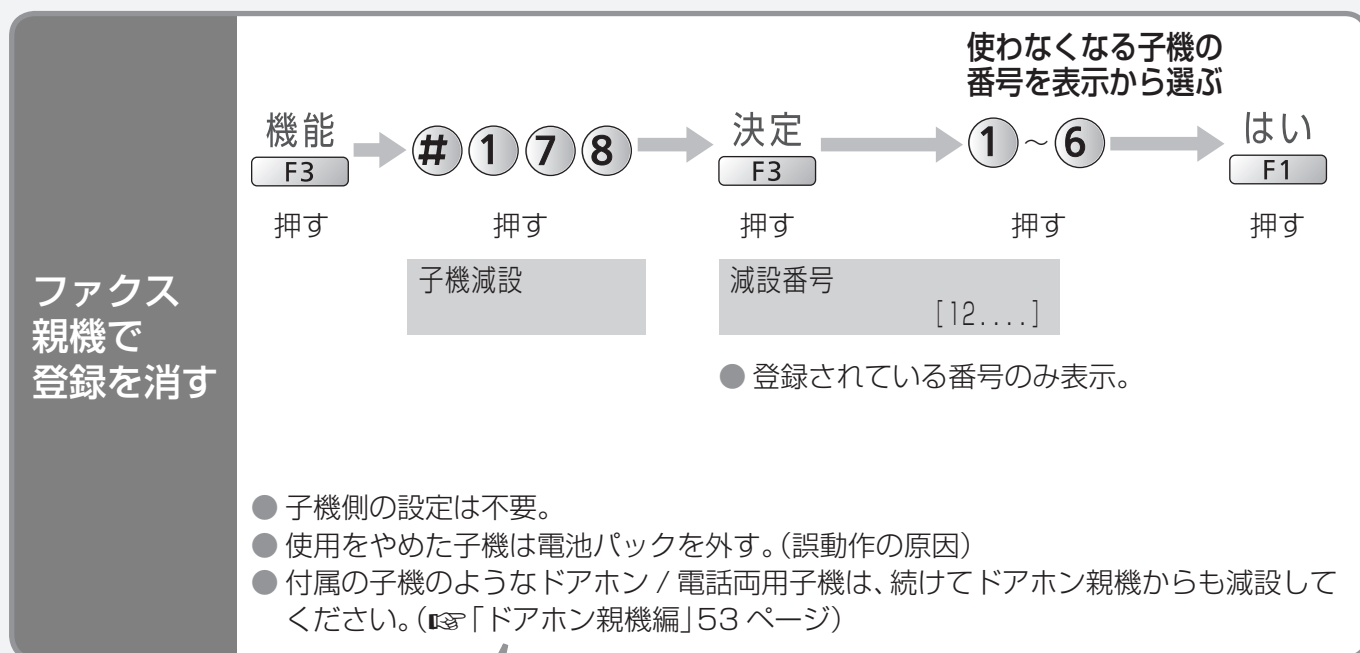
ファクス登録完了

■ Ⓑ の場合 「電話 / ファクス」を選ぶ

#①②③ 押す → Ⓓ（上下）押す → Ⓓ（決定）押す → Ⓓ（登録）押す

ファクス登録完了

■ その他の子機の場合

増設子機の取扱説明書をお読みください。

■子機を減らすとき（減設）

どちらか一方の親機からだけ減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うこともできますが、このときは必ず子機の「動作モード」の設定を変更してください。

（例）ファクス親機から減設して、ドアホン専用で使うとき

➡ 子機の「動作モード」を「ドアホン」に変更（☞「子機編」59 ページ）

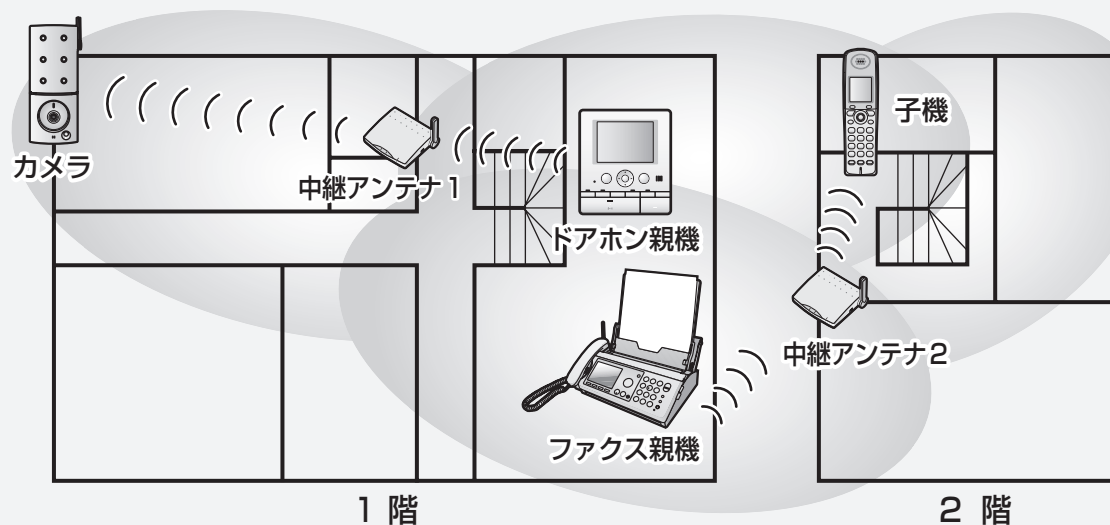
「動作モード」を変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が圏外となって使えないことがあります。

別売品の 中継アンテナを設置する

ファクス親機と子機の距離が離れていたり、壁などの障害物（☞8 ページ）があって、通話が途切れたり、子機に「圏外」と表示して使えないときは、別売品の中継アンテナ（☞94 ページ）を設置すると症状を改善できることがあります。

- ドアホン親機と子機またはカメラ（別売品）間の通話の途切れや映像の乱れがある場合には、ドアホン親機への増設が必要です。（☞「ドアホン親機編」50 ページ）
- ファクス親機側の中継アンテナは、1 台につき最大で子機 6 台を中継できます。
  設置は、**ドアホン親機側と合わせて最大 2 台**まで。

〈電波のイメージと設置例〉

部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。中継アンテナを使用するファクス親機やドアホン親機にそれぞれ登録したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

お願い

- ファクス親機とドアホン親機に、中継アンテナをそれぞれ増設するときは、中継アンテナ番号を**必ず別の番号で登録**してください。
  （例：ドアホン親機側 ➡ **中継アンテナ1**、 ファクス親機側 ➡ **中継アンテナ2**）
  ➡ 同じ番号で登録されたときはドアホン親機の画面表示でお知らせします。
  （☞「ドアホン親機編」65ページ）

お知らせ

- ファクス親機とドアホン親機の間には、中継アンテナは使えません。
- 付属の子機のようなドアホン/電話両用子機を、ファクス親機からもドアホン親機からも電波が届きにくい場所に設置すると、1台の子機でも中継アンテナが2台必要です。
  （両方の親機に登録が必要なため）
- 1台の中継アンテナを、ファクス親機とドアホン親機の両方に登録することはできません。

増設・減設

■中継アンテナの使用をやめるとき（減設）

お知らせ

● 設置のしかたなど、詳しくは中継アンテナの取扱説明書をお読みください。

いろいろな接続

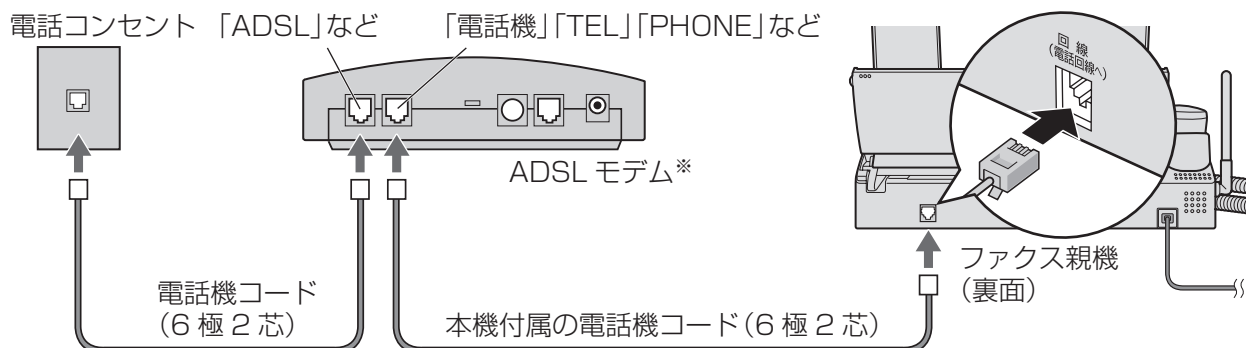
ADSL に接続するとき

電話コンセント　「ADSL」など　「電話機」「TEL」「PHONE」など

ADSL モデム※

回線（電話回線へ）

ファクス親機（裏面）

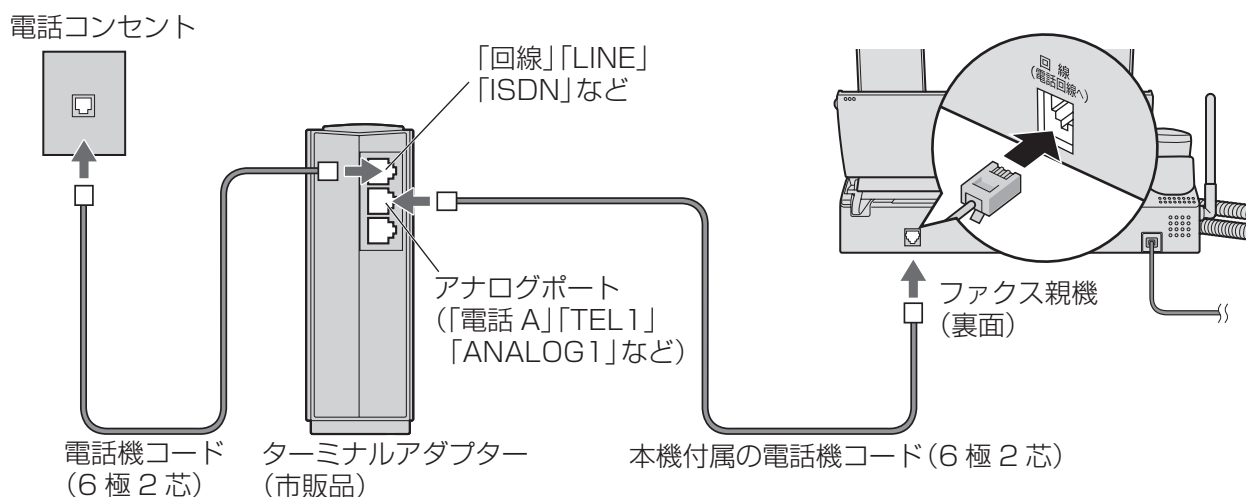
電話機コード（6 極 2 芯）　本機付属の電話機コード（6 極 2 芯）

※種類によってはスプリッタ（市販品）などが必要。

■ファクス親機の「TA/ スプリッタ」の設定を「ｵﾝ」にする（☞78 ページ）

■困ったときは

- 電話をかけられない。（フリーダイヤル・天気予報など）→ 回線を手動で設定する。（☞22 ページ） → うまくいかないとき → ファクス親機を電話コンセントに直接つないで確認する。正常の場合は、ADSL の事業者に相談する。
- 音量が小さい、雑音が多い。
- ファクスを送受信できない。
- ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号が表示されない。
- 携帯電話に電話をかけると、相手に「非通知」と表示される。

→ ファクス親機を電話コンセントに直接つないで確認する。正常の場合は、ADSL の事業者に相談する。

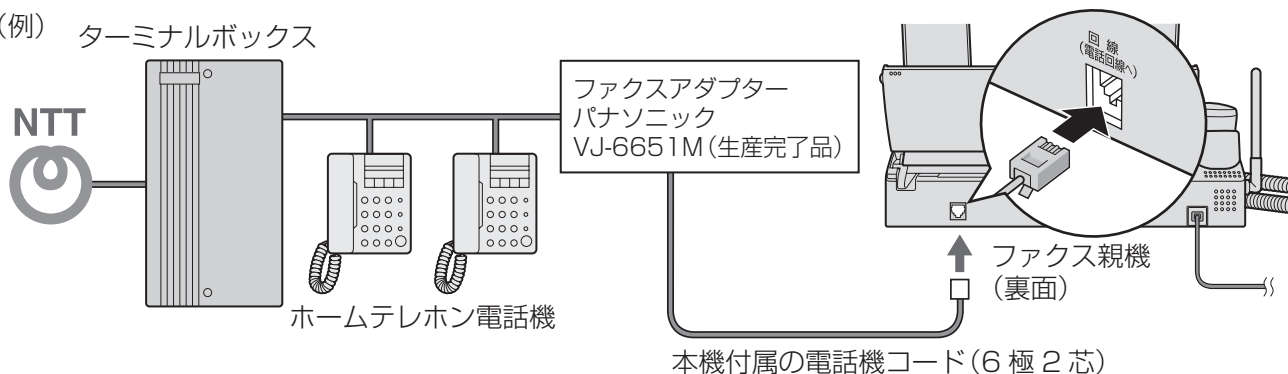
ISDN 回線に接続するとき

■ファクス親機の「TA/ スプリッタ」の設定を「ｵﾝ」にする（☞78 ページ）

■接続したら回線の設定を「ﾌﾟｯｼｭ」にする（☞22 ページ）

■こんなときは、ターミナルアダプターの取扱説明書をお読みください。

- i・ナンバー、ダイヤルインを利用する。（主番号のアナログポートにファクス親機を接続）
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンを利用する。
- 電話をかけられない・受けられない・相手が切っても呼出音が鳴り続ける。（リバース〈極性切替〉スイッチと DSU を切り離すスイッチを確認）

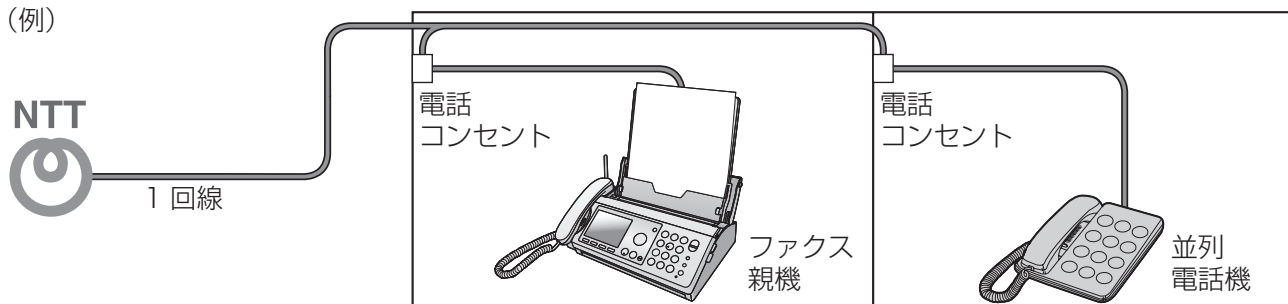
ホームテレホンに接続するとき

- 接続できるホームテレホン（生産完了）
  - パナソニック ホームテレホンシステム 108・208　● システムホームテレホン
- すでに上記を設置されている方のみ、下図のようにファクス親機に接続できます。

■接続したら「F ネット」の設定を「あり」にする（☞77 ページ）

- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、モデムダイヤルインは使えないので解除する。（☞58・65 ページ）

■ホームテレホン電話機で受けたファクスをファクス親機で受信する

ホームテレホンの保留ボタンを押す。➡ 2 秒以内にファクスアダプターで設定した内線番号を押す。➡「ピッピッピッ」と聞こえたら受話器を戻す。➡ ファクス受信。

1 回線に複数台接続するとき（並列接続）

- ナンバー・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用しているときは、並列接続しないでください。（誤動作の原因）
- コードレスタイプの電話機を並列接続すると、子機が使えなくなることがあります。

■こんなときの操作

- **並列電話機に出て、ファクス親機の応答メッセージが聞こえたとき**
  並列電話機を切らず、ファクス親機または子機で出て切る ➡ 並列電話機で話す。
- ファクス親機または子機で保留した電話に、並列電話機で出るときは、並列電話機で出たあとでファクス親機または子機の保留を解除する。
- **並列電話機で受けたファクスをファクス親機で受けるには（リモート受信）**
  - ダイヤル回線のときは、トーン信号「ピッポッパッ」に切り替える。
    並列電話機で ⊠ 9 （リモート受信番号）押す。➡ 受話器を静かに戻す。➡ ファクス受信。
  - ファクス送受信中は、並列電話機の受話器を取らないでください。

お手入れ／インクフィルムを交換する

お手入れ

お手入れするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

● 操作パネルをふくときは、キーロックを使うと(☞70 ページ)、電源コードをコンセントから抜かずにお手入れすることができます。

● お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因)

■ファクス親機の内部のお手入れ

● **記録紙がスムーズに入っていくように**
月に一度は、記録紙の給紙ローラーをお手入れしてください。(☞82・83 ページ)

● **記録紙や相手の受信用紙に白い線・黒い線・黒い点が入らないように**
月に一度は記録紙送りローラーなどをお手入れしてください。(☞84 ページ)

インクフィルムについて

■別売品(KX-FAN190/190W/191/191W)を使う

(☞94 ページ)

● KX-FAN140/141/142/200 は使えません。

● 別売品以外のインクフィルムの使用は、記録品質への悪影響や故障の原因になります。

■残量のめやすを表示させたいとき

交換終了後に「フィルム残量表示」を「あり」に設定する(☞78 ページ)と、ディスプレイにインクフィルム残量のめやすを表示します。(☞15 ページ)

● 設定すると、バックカバー開閉時に下記の表示が出ます。

インクフィルムを交換しましたか?

● 交換したときは はい F1 押す

交換していないときは いいえ F4 押す

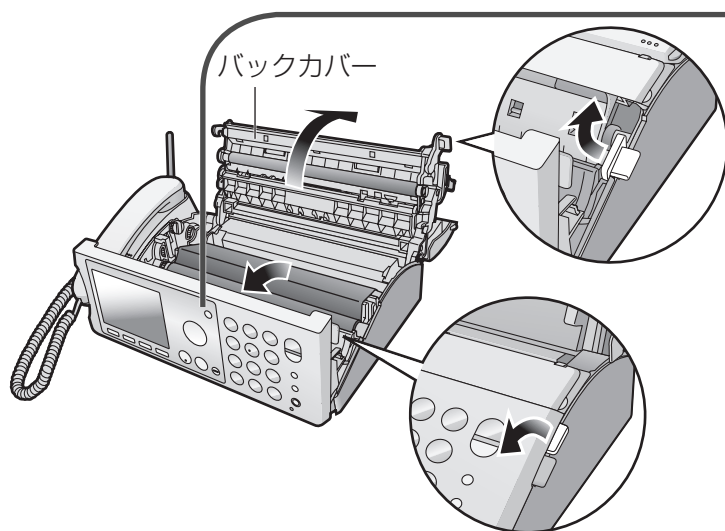
● インクフィルムを使用後に「フィルム残量表示」を設定したときは、正しく表示されません。

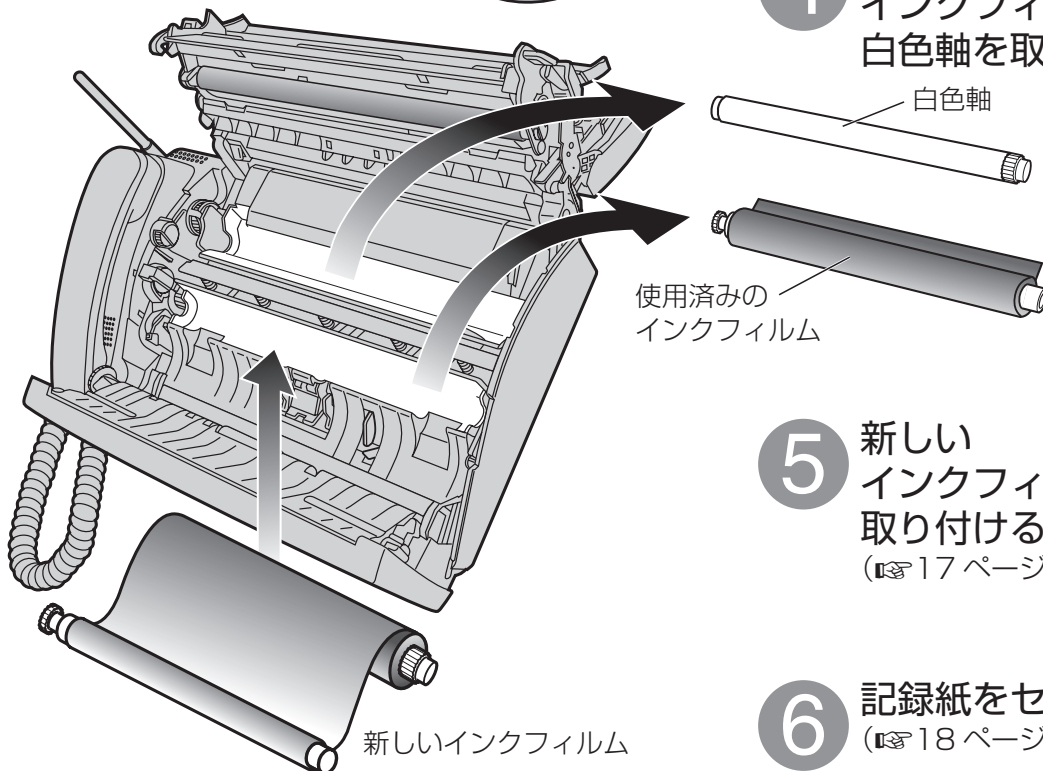
■使用済みのインクフィルム(芯を含む)を捨てるとき

● 「プラスチック製品」として、地域条例に基づいて破棄してください。

● 情報の保護のため、はさみなどで切ってください。(プリント跡が残ります)

インクフィルムの交換のしかた

1 記録紙を取り出し
記録紙スタンドをたたむ
- 左右のどちら側からもたためます。

2 **操作パネルを開ける**

3 **バックカバーを開ける**
- 「ﾌｨﾙﾑがなくなりました」と表示されているときは、操作案内が流れる。
  - 止めるときは ストップ（⊖）押す。
  - 流れないようにするには
    （☞25 ページ）

4 **使用済みのインクフィルムと白色軸を取り出す**

5 **新しいインクフィルムを取り付ける**
（☞17 ページ手順 ❸ ～ ❻）

6 **記録紙をセットし直す**
（☞18 ページ）

（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）

価格は 2007 年 11 月現在のものです。

品　名		品　番	希望小売価格
ワイヤレスモニター子機	ドアホン / 電話両用	VL-W603	29,400 円（税込）
増設子機（コードレスモニター子機）	ドアホン / 電話両用	KX-FKN531-W（ホワイト）※1	27,300 円（税込）
増設子機	電話専用	KX-FKN511-W（ホワイト）	21,000 円（税込）
		KX-FKN512-S（シルバー）	22,050 円（税込）
		KX-FKN513-S（シルバー）	16,800 円（税込）
		KX-FKN514-W（ホワイト）	16,800 円（税込）
		KX-FKN521-S（シルバー）	18,900 円（税込）
		KX-FKN523-S（シルバー）	14,700 円（税込）
		KX-FKN524-S（シルバー）	14,700 円（税込）
		KX-FKN550-S（シルバー）	21,000 円（税込）
		KX-FKN550-W（ホワイト）	21,000 円（税込）
		KX-FKN551-W（ホワイト）	29,400 円（税込）
コードレス子機用電池パック 松下テクニカルサービス（株）扱い		KX-FAN50 ※2	2,310 円（税込）
インクフィルム		KX-FAN190（15 m）	714 円（税込）
		KX-FAN190W（15 m、2 本）	1,208 円（税込）
インクフィルム（プリント跡が見えにくいタイプ）		KX-FAN191（15 m）	893 円（税込）
		KX-FAN191W（15 m、2 本）	1,523 円（税込）
普通紙ファクス用記録紙（A4 カット紙 1 包 250 枚）		KX-FAN150A4	551 円（税込）
キャリアシート		KX-A130（A4 用）	473 円（税込）
ファクス原稿読取部クリーナー 松下テクニカルサービス（株）扱い		KX-AN132	525 円（税込）
中継アンテナ		KX-FAN1	12,600 円（税込）

※ 1 付属の子機と同じ仕様です。その他の子機は、仕様や機能が異なります。
※ 2 付属の子機用の電池パックです。

- KX-FKN511、KX-FKN521、KX-FKN550、KX-FKN551 は、音声での内線呼び出しができません。（☞33・75 ページ）
- KX-FKN550、KX-FKN551 は、電話帳がありません。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

仕様

電源	AC100 V（50 Hz/60 Hz）
消費電力	待ち受け時：約 1.3 W （F ネットの設定が「なし」の場合） 最大時　：約 130 W （真っ黒の原稿をコピーするとき） コピー時　：約 18 W 送信時　：約 10 W 受信時　：約 15 W
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約 86 mm × 296 mm × 191 mm （受話器・突起部除く） 約 265 mm × 296 mm × 231 mm （記録紙トレーオープン時、 受話器・突起部除く）
質量	約 2.4 kg （お試し用インクフィルム 10 m 装着時）
使用環境条件	温度 5 ℃～ 35 ℃　湿度 45 %～ 85 %
適用回線	電話回線（ダイヤル回線・プッシュ回線） ファクシミリ通信網・新電電（NCC）回線
直流抵抗値	275 Ω
形式	送受信兼用　G3 機
原稿サイズ	定型サイズ：A4 ～ A5 最大：幅 210 mm × 長さ 600 mm 最小：幅 128 mm × 長さ 128 mm
有効読取幅	208 mm（A4）
有効記録幅	202 mm（A4 普通紙）
電送時間 ※1	約 15 秒（独自モード）
通信速度	9600 ／ 7200 ／ 4800 ／ 2400 bps 自動切替（フォールバック機能）
写真（ハーフトーン）	64 階調
走査線密度	主走査：8 ドット／ mm 副走査：7.7 本／ mm（小さい） 3.85 本／ mm（ふつう）
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
データ圧縮方式	モディファイドハフマン（MH）・独自
記録紙サイズ	A4 カット紙：210 mm × 297 mm
留守番電話	応答メッセージ：デジタル録音方式 オリジナル（約 16 秒） 固定内蔵 留守番録音：デジタル録音方式 合計録音時間：最大約 12 分 ※2

■メモリー容量のめやす

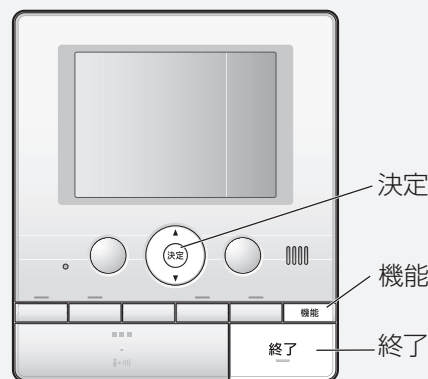
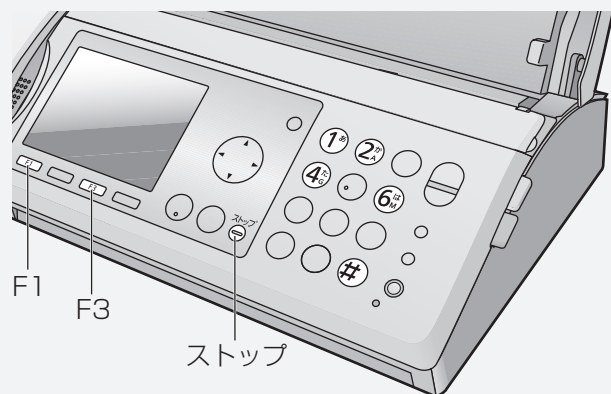
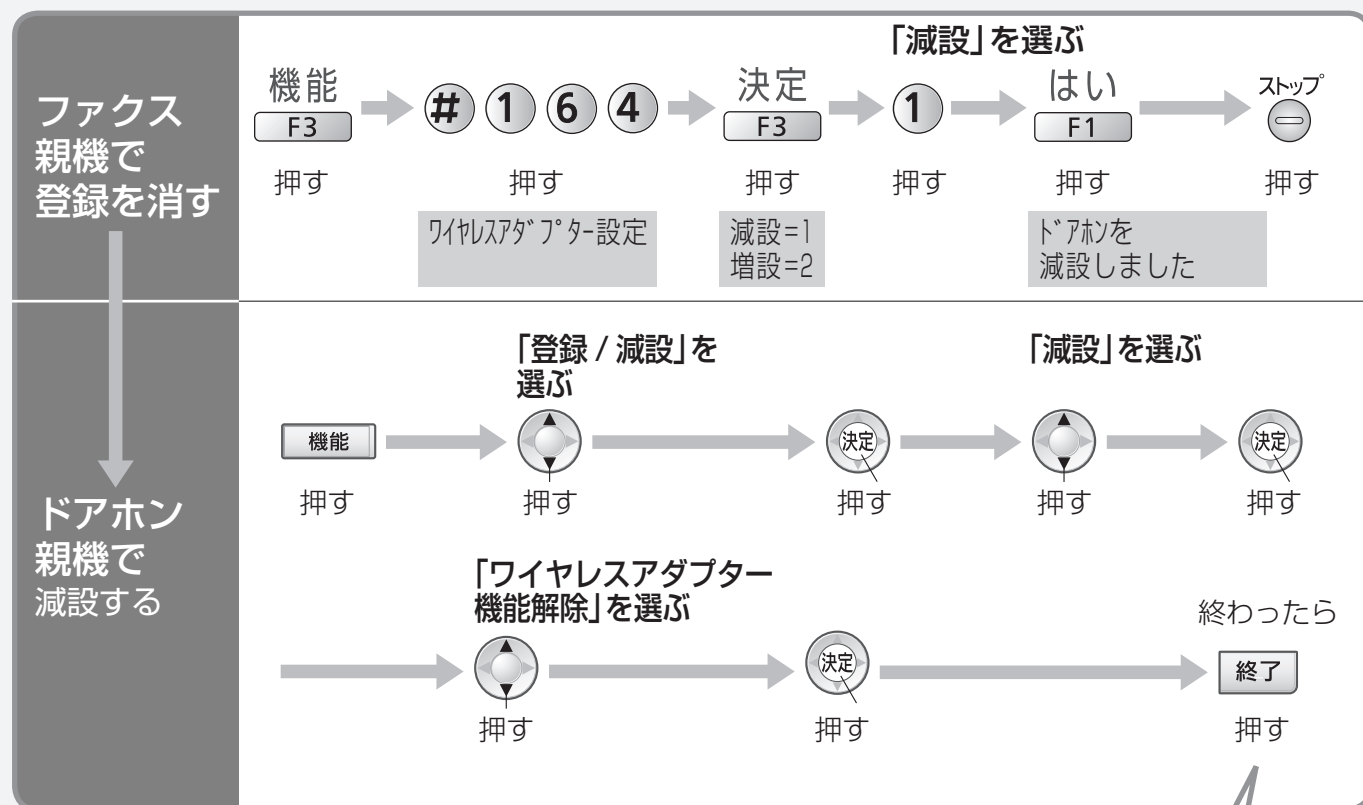
音声	用件録音・通話録音・ 自作応答メッセージの合計 最大約 12 分 ※2
画像	メモリー受信　最大約 50 枚 ※3

- 録音件数が 50 件になると録音できなくなります 。
- ファクス受信枚数が 50 枚になると受信できなくなります。

※ 1 電送時間：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で高速モード（9600 bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容・相手機種・回線状態により異なります。
※ 2 録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
※ 3 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で受信したときの枚数です。写真や文字の多い原稿は受信できる枚数が少なくなります 。
（例：A4 サイズの新聞を画質「ふつう 」で受信・・・最大約 8 枚）

ドアホン親機やファクス親機を 買い替えるとき （ワイヤレスアダプター減設 / 増設）

お買い上げ時、ファクス親機とドアホン親機は、「ワイヤレスアダプター」機能で無線接続されています。（これによってファクス親機でもドアホン通話ができる仕組みです）
どちらかの親機を買い替えるときは、いったんワイヤレスアダプター機能での接続を解除（減設）し、新しい親機を再度ワイヤレスアダプター機能で接続（増設）してください。

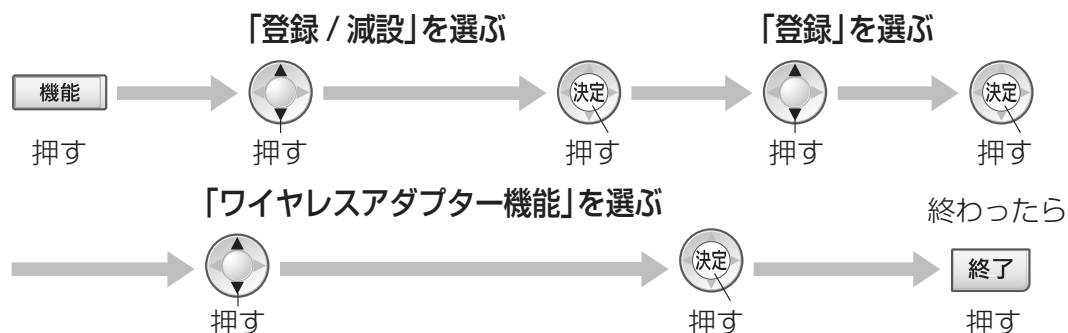
ドアホン親機（VL-MW150K）

ワイヤレスアダプター機能での接続をやめるとき（減設）

ワイヤレスアダプターの減設が終わったら、下記の操作をしてください。

①今までご使用の親機からすべての子機を減設し、そのすべてを新しい親機に登録する

- 減設のしかた（☞87 ページ、「ドアホン親機編」53 ページ）
- 登録のしかた（☞86 ページ、「ドアホン親機編」49 ページ）

②新しい親機を再度ワイヤレスアダプター機能で接続（増設）する（☞ 右ページ）

ワイヤレスアダプター機能で親機同士を接続する（増設）

下記はファクス親機「KX-PW616」、ドアホン親機「VL-MW150K」の例です。
それぞれの操作は新たに接続するファクス親機やドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

困ったとき

	こんなとき	原因と対応	ページ
電話	電話を かけられない	● 電話の回線種別を確認し、手動で設定し直してください。 ● 電話機コードの接続を確認してください。 ● キーロックの設定をしていませんか？ → # (キーロック(3秒)) を３秒以上押して解除してください。	22 20 70
	携帯電話に かけられない	●「選んでケータイ」を設定している場合、携帯電話にかけられないことがあります。 → 事業者識別番号（会社番号）を正しく登録してください。 → IP 電話回線ご利用時は、IP 電話解除番号を正しく登録してください。	 26 26
	フリーダイヤル、 天気予報、 184 や 186 を 付けてかけられない	● IP 電話などで使用しているとき、ポーズ（留守）を入れるとかからないことがあります。 そのときは、ポーズを入れないでください。 ● IP 電話などで使用しているとき、NTT との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。 ● それでもかけられないときは（☞90 ページ）	36 22 90
	電話を 受けられない	● ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは、ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしてください。 ● ダイヤルインサービスを契約しているときは、モデムダイヤルインサービスに変更してください。（有料）	77 64
	通話中、自分の声が 相手に聞こえない	● 受話器を指や顔などでふさいでいませんか？	−
ファクス送受信	ファクスを 送信できない	● 相手が非通知電話を拒否に設定していませんか？ → 電話番号を通知して送信してください 。 ● ADSL 回線に接続しているときは（☞90 ページ） ● キーロックの設定をしていませんか？ → # (キーロック(3秒)) を３秒以上押して解除してください。	 58 90 70
	ファクスを 受信できない	● 記録紙やインクフィルムを確認し、なくなっていたら補充、交換してください。 ● ADSL 回線に接続しているときは（☞90 ページ） ● 電話に出て「ポーポー」音がしたとき、そのまま切っていませんか？ → 電話を切る前にファクスを受ける操作をしてください。 ●「見てから印刷」（メモリー受信）に設定されているとプリントされません。 → 受信した内容を見て、必要であればプリントしてください。 →「見てから印刷」を解除するには（☞44 ページ） ● メモリーがいっぱいになっていませんか？ → 不要なファクスを消去してください。 ● 相手の原稿や画質によっては、途中までしか受信できないことがあります。 → 相手に画質設定を下げて送ってもらってください。	16・18 92・93 90 45 48 44 48 −

	こんなとき	原因と対応	ページ
ファクス送受信（続き）	184 や 186 を付けてファクスを送信できない	● ADSL 回線に接続しているときは、NTT との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。 ● それでもかけられないときは（☞90 ページ）	22 90
	ファクスを海外へ送信できない	● 電話回線のノイズが多いなど、送信しにくいことがあります。 →「海外送信モード」の設定を「1 回」にしてください。	43・77
	メモリー受信されている内容を消去したい	● 1 件ずつまたは、すべて消去できます。 （消去した内容は、あとからプリントできません）	48
	B4 サイズや A3 サイズのファクスを受信するとどうなる？	● およそ A4 サイズになります。ファクス通信の決まりで、送信側のファクスが縮小して送る仕組みです。 （一部のファクスは除きます）	50
	ファクスを送る際、ダイヤルした番号と違う番号が表示される	● 送信先のファクスに登録されている相手の電話番号が表示されています。 → 正しくダイヤルしていれば問題ありません。	−
プリント	コピーできない	● 記録紙やインクフィルムがなくなっていませんか？ → 記録紙やインクフィルムを入れてください。 ● キーロックの設定をしていませんか？ → # （キーロック（3秒））を３秒以上押して解除してください。	16・18 92・93 70
	同じ内容が何度もプリントされる	● メモリー受信されたファクスをプリントするときは、記録紙をなるべく 15 枚セットしてください。 何度もプリントされることがなくなります。	18・48
	記録紙が重なって（ずれて）プリントされる	● 記録紙が正しくセットされていますか？ → 記録紙はさばいてからセットしてください。（なるべく 15 枚）記録紙を追加するときなどは、残っている記録紙を一度取り出してから一緒に入れ直してください。 ● ファクス親機内部の給紙ローラーが汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。	18 82・83
	受信したファクスがプリントされない	●「見てから印刷」（メモリー受信）に設定されているとプリントされません。 → 受信した内容を見て、必要であればプリントしてください。 →「見てから印刷」を解除するには（☞44 ページ）	48 44

	こんなとき	原因と対応	ページ
プリント（続き）	メモリー受信時、記録紙やインクフィルムを入れてもプリントしない	● プリントの操作をしてください。 ● それでもプリントできないときは、電源コードを抜き、10 秒以上待ってから電源コードを接続し、再度操作してみてください。 ● 「未登録番号着信拒否／留守応答」（☞62 ページ）を「受けない」に設定しているときは解除（設定：受ける）されます。（その他の登録した内容、応答メッセージなどは消えません）	48 －
	受けたファクスが縮小される	● お買い上げ時は A4 が約 92 % に縮小されます。相手の原稿サイズや送りかた（B5 サイズ横向きなど）によっては、さらに縮小されます。	50
	受けたファクスがかすれている	● 相手の原稿の文字などが小さかったり、細かったり、薄いとかすれます。 → 相手に画質設定を変えて送ってもらってください。	－
	受けたファクスやコピーに白や黒い線・黒い点が入ったり、文字がつぶれたりする	● 記録紙送りローラーまたは記録紙ガイドが汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。 ● そのほかに、次のことが考えられます。 ● ファクス受信中に、キャッチホンの信号が入った。 ● ファクス受信中に、並列接続した電話機を使った。 → 再度送ってもらってください。（ファクス受信中は、並列接続した電話機は使わないでください）	84 － 91
	相手に送ったファクスに白や黒い線が入ったり、文字がつぶれたりする	● ガラスと白く平らな面が汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。 ● そのほかに、次のことが考えられます。 ● ファクス送信中に、キャッチホンの信号が入った。 ● ファクス送信中に、並列接続した電話機を使った。 → 送り直してください。（ファクス送信中は、並列接続した電話機は使わないでください）	84 － 91
	記録紙が詰まる	● ファクス親機内部の給紙ローラーが汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。	82 18

	こんなとき	原因と対応	ページ
留守番電話	留守番電話の呼出回数を変更したい	●「留守着信呼出音の回数」で変更できます。	76
	外出先から留守番電話を操作できない	● 次の内容を確認してください。 ● トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていますか？ ● 暗証番号を登録していますか？ ● 応答メッセージが終わってから、暗証番号を押していませんか？	 56･57 56 56･57
	用件が録音の途中で切れている	● 録音中に 6 秒以上無音が続く、または相手の声が小さいと録音が切れます 。 → メッセージは続けて話す、または大きめの声で話すよう、相手に伝えてください 。	54
呼出音	呼出音が鳴らない	● 呼出音が「切」になっていませんか？ → ◯ を押す。 ● おやすみモードの設定をしていませんか？ → ✱（おやすみ(3秒)） を３秒以上押して解除してください。 ● モデムダイヤルインで呼び出し先の設定をしていますか？ → 呼び出し先に設定してください。	 74 71 65
	呼出音が鳴り出すのが遅い	● 無鳴動受信の設定をしていませんか？ → かかってきたのが電話かファクスかを判断するため、少し遅く鳴り始めます 。	47
	在宅時、電話に出るまで呼出音を鳴り続けるようにしたい	●「在宅着信呼出音の回数」の設定を「自動応答しない」にしてください。	76
	無鳴動受信に設定しても呼出音が鳴る	● 次の場合は、無鳴動受信でも呼出音が鳴ります。 ● 電話がかかってきたとき。 ● 留守設定中（留守ボタン点灯）。 ● ファクスのメモリーがいっぱいのとき。 （☞15 ページ「メモリー残」） ● 相手が受話器を取って手動でダイヤルし、ファクスを送信したとき。 ● かけてきた相手の回線や接続機器によっても鳴ることがあります。	47

困ったとき（続き）

	こんなとき	原因と対応	ページ
ナンバー・ディスプレイ	ネーム・ディスプレイには、対応していますか？	● 対応しています。（かけてきた相手が名前を表示するようにNTT に申し込んでいると、名前を表示します）	58
	ネーム・ディスプレイを契約しているが、相手の名前を表示しない	● かけてきた相手が名前を表示するようにNTT に申し込んでいるときだけ表示します。	58
		● ネーム・ディスプレイが利用できない地域もあります。	ー
	かけてきた相手の電話番号を表示しない	● NTT との契約が済んで、NTT 側の工事が完了していますか？ → NTT 窓口（116）にお問い合わせください。	58
		● 構内交換機・ホームテレホンに接続していると表示できません。	ー
		● ファクス親機を他の電話機と並列に接続していると表示できないことがあります。	ー
		● ナンバー・ディスプレイの設定が「なし」になっていませんか？ → 設定を「あり」にしてください。	77
		● キャッチホン・ディスプレイサービスの契約をしているときに、キャッチホン・ディスプレイの設定が「なし」になっていませんか？ → 設定を「あり」にしてください。	58
		● ISDN 回線でご使用の場合、ターミナルアダプターの設定を確認してください。 ● 直らない場合は、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。	90
		● 相手またはファクス親機が IP 電話サービスに加入しているとき相手の電話番号が表示されないことがあります。 → IP 電話サービス事業者にお問い合わせください。	ー
	「表示できません」と表示される	● 雑音が多いなど、電話回線の状態が悪いときに電話がかかってきています。	58
ドアホン	ドアホン画像全体が白っぽい、または黒っぽい	● 明るさの設定は適切ですか？ → ドアホン画像を表示中に 明るさ [F4] を押して調節してください。	68
	ドアホン画像を表示中、上記以外の症状があるとき	● ドアホン親機編の 58 ページの内容をお読みください。	ー

	こんなとき	原因と対応	ページ
ドアホン（続き）	ドアホンの映像が出ない ドアホンの呼出音が鳴らない	● ドアホン親機とファクス親機間の電波が圏外になっている場合があります。ドアホン親機で下記の操作を行ってみてください。 1. ドアホン親機の（決定）を押す。（情報表示画面を表示） 2. ワイヤレスアダプターが「圏外」となっていたら、ドアホン親機の（▶）を押す。	－
		● それでも「圏外」になるときは、ファクス親機の設置場所に問題がある場合があります。8ページを参照のうえ、電波の強い場所にファクス親機を設置し直してください。中継アンテナ（別売品）で、親機同士の電波の中継はできません。	8
		● 呼出音だけが鳴らない場合は、おやすみモードの設定をしていませんか？ →（✱ おやすみ（3秒））を３秒以上押して解除してください。	71
		● 上記の操作を行っても改善されないときは、ドアホン親機のリセットスイッチ（☞「ドアホン親機編」10 ページ）を先端の細いもので押してください。（ドアホン親機に録画された画像、登録した内容、応答メッセージなどは消えません）	－
	ドアホン通話が途切れる	● ファクス親機とドアホン親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ → ドアホン親機で電波状態を確認（☞「ドアホン親機編」13 ページ）し、電波の強い場所にファクス親機を設置し直してください。 中継アンテナ（別売品）で、親機同士の電波の中継はできません。	8
		● 近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ → これらの機器から離してご使用ください。	9
こんなときは	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	● 直らないときは、下記の操作を行ってみてください。（リセット） 1. （ストップ）を 5 秒以上押す。 2. （はい F1）を押す。　［リセットしますか？］ ● 上記の画面が表示されなかったり、手順 1～2 を行っても動作がおかしいときは、電源プラグを抜き、10 秒以上待ってから接続し直してください。 （「未登録番号着信拒否／留守応答 ☞62 ページ」を「受けない」に設定しているときは解除（設定：受ける）されます。その他の登録した内容、応答メッセージなどは消えません）	－
	電源ランプは点灯しているが、液晶ディスプレイが消えている	● ファクス親機や子機を操作しないと、節電のため、約２分後に表示が消えます。（常時表示させることはできません） →（ストップ）を押すと表示されます。 また、ファクス親機や子機を操作したり、電話がかかってきたりすると表示されます。	15

困ったとき（続き）

こんなときは（続き）

こんなとき	原因と対応	ページ
本体底部の金属部分が温かい	● 異常ではありません 。 （夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります） → 非常に熱いときは、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	–
インクフィルムがなくなったときは	● ファクスを受けてもプリントされません。 → インクフィルム（別売品）をお買い求めください 。 （価格は 2007 年 11 月現在のものです） （下表参照） ※プリント跡が見えにくいタイプ ● KX- FAN140、KX- FAN141、KX- FAN142、KX- FAN200 は使えません。	92･93
転居などで電話番号が変わったときは？	● 新しい電話番号を登録し直してください。	24
停電のとき使えますか？	● 使えません。 （「未登録番号着信拒否／留守応答 ☞62 ページ」を「受けない」に設定しているときは解除（設定：受ける）されます。その他の登録内容・応答メッセージ・用件は消えません）	–
かかってきた電話を直接転送したい	● NTT のボイスワープを利用するとできます。 → NTT 窓口（116）へ。 （ただし、電話もファクスも区別なく転送されます）	57

品　　番	希望小売価格
KX-FAN190(15m)	714 円（税込）
KX-FAN190W(15m、2 本)	1,208 円（税込）
KX-FAN191(15m) ※	893 円（税込）
KX-FAN191W(15m、2 本) ※	1,523 円（税込）

こんな表示が出たら（続く）

	表示	原因と対応	ページ
ア行	新しい用件が 録音されました	● 通話を録音したときや、下記のときに新しい用件が録音されると表示します。 ● 留守設定中。 ● おやすみモードのとき。 ● 非通知、公衆電話、表示圏外の設定を「録音」にしているとき。 →用件を再生してください。	30 55 71 61 54･55
	印刷できません！　U31 しばらく お待ちください	● 本体が余分な熱を持っていてプリントできません。 →表示が消えるまでしばらくお待ちください。	－
カ行	回線種別が 設定できませんでした 手動設定してください	● 電話の回線種別の自動判定ができませんでした。 →手動で設定してください。	22
	記録紙がありません　U20 紙を入れてください	● 記録紙が入っていません。 →記録紙を入れてください。 それでも表示が出るときは、詰まった記録紙を取り除き、給紙ローラーの汚れをふき取ったあと、正しく入れてください。 また、ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。	18 82
	記録紙づまりです　U12 操作ﾊﾟﾈﾙとﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰを 開けて 紙を取り除いてください	● 記録紙が詰まっています。 →詰まった記録紙を取り除き、給紙ローラーの汚れをふき取ったあと、正しく入れてください。 また、ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーをたたんでおいてください。	82 18
	原稿が残っています　U14 [ｽﾄｯﾌﾟ]を押してください	● 原稿挿入口に原稿が残っています。 → ストップ 押す。（原稿が排出されます）	85
	原稿づまりです　U13 操作ﾊﾟﾈﾙを開けて 紙を取り除いてください	● 原稿が詰まっていませんか？ →原稿を取り除いてください。 ● 600 mm より長い原稿を使っていませんか？ →長さ 600 mm 以下の原稿を使ってください。	85 53
	減設できません	● 選んだ子機や中継アンテナの番号が登録されていません。 →液晶ディスプレイに表示されている番号を選んでください。	87･89
	子機初期化ｴﾗｰ　H82	● ファクス親機に登録している子機の情報が消えています。 →お買い上げの販売店へご相談ください。	－

こんな表示が出たら（続き）

	表　示	原因と対応	ページ
サ行	増設できません	● すでに登録済みの番号に登録しようとしていませんか？ →液晶ディスプレイに表示されている番号を選んでください。	86・89
タ行	通信ｴﾗｰ　H40	● 通信エラーで送信できませんでした。 →お買い上げの販売店へご相談ください。	－
	通信ｴﾗｰ　U40	下記の原因で送信できなかったときに表示します。 ● 回線状況が悪い。 ● キャッチホンの信号が入った。 ● 相手側が受信を中断した。 ● 相手側の記録紙がなくなっている。 （相手側に確認し、送り直してください。） ● 海外に送れなかった。 →「海外送信モード」を「1 回」に設定して送り直してください。	42 77
	通信ｴﾗｰ　U40 相手が話し中です	● 相手が話し中で送信できませんでした。 →しばらく待ってから送り直してください。	42
	通信ｴﾗｰ　U40 相手の応答がありません	● 相手のファクスが応答しなかったため、送信できませんでした。 →相手に確認してください。	－
	転送できませんでした	● 子機がファクス親機から離れすぎていませんか？ →ファクス親機に近づけてください。 ● 子機の電池が切れていませんか？ →充電してください。（☞「子機編」14 ページ） ● 転送先（子機）の電話帳に空きはありますか？ →子機で不要な電話番号を消去してください。（☞「子機編」37 ページ）	8 － －
	電話機ｺｰﾄﾞを 接続してください	● 電話機コードが正しく接続されていません。 →正しく接続してください。 ● 電話機コードが接続されている場合は、回線業者に確認してください。 （電話回線が何らかの原因で不具合の場合があります）	20 －
	電話帳がいっぱいです 登録できません	● 電話帳に空きがありません。 → 不要な電話番号を消去してください。	37
	登録できません　U72	● モデムダイヤルインの番号が正しく登録されていません。 →モデムダイヤルインの番号を正しく登録してください。	64

	表 示	原因と対応	ページ
ナ行	ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲが 使えるようになると この機能が はたらきます	● ナンバー･ディスプレイの契約をしていますか？ ● ナンバー･ディスプレイの契約をしていても、ファクス親機を接続してから一度も電話がかかってきていないときに表示される場合があります。 →一度電話がかかってくると、表示されません。	58 －
ハ行	ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰを U10 閉めてください	● バックカバーが、きちんと閉まっていません。 →きちんと閉めてください。	17
	表示圏外	● ナンバー･ディスプレイサービスの契約をしているときに、海外など番号を通知できない電話からかかってきています。	58
	表示できません	● ナンバー･ディスプレイサービスご利用時、雑音が多いなど、電話回線の状態が悪いときに電話がかかってきています 。	58
	ﾌｨﾙﾑがなくなりました U23 交換してください 品番：KX-FAN190	● インクフィルムがなくなっています。 →交換してください。 ● インクフィルムが正しく入っていません。 →インクフィルムのたるみをとり、正しく入れてください。	92･93 16
	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ ｴﾗｰ	● 子機や中継アンテナの増設操作がファクス親機操作後、2 分以内に完了していません。 →もう一度最初からやり直してください。	86･89
マ行	無鳴動 見てから印刷 無鳴動	● 「無鳴動受信の設定」が「常時」または「ﾀｲﾏｰ」になっています。 →呼出音を鳴らすには、設定を「しない」にしてください。	47
	ﾒﾓﾘｰがいっぱいです U81 ﾌｧｸｽ受信できません 不要なﾌｧｸｽを 消去してください	● ファクスでメモリーがいっぱいになっています。 →表示またはプリントして内容を確認したあと、不要なファクスを消去してください。	48
	ﾒﾓﾘｰがいっぱいです U82 録音できません 不要な用件を 消去してください	● 留守番電話の用件･通話録音でメモリーがいっぱいになっています。 →用件や通話録音を再生したあと、不要な用件を消去してください。	55

こんな表示が出たら（続き）

	表　示	原因と対応	ページ
ヤ行	読み取りｴﾗｰ　U32	● 原稿の読み取りに失敗しました。 →原稿を取り除き、もう一度最初からやり直してください。	ー
ラ行	録音中停電　U83	● 用件録音中に停電になり、用件が途中で消えています。 → ストップ 押す。（表示が消えます）	ー

ファクス情報サービス

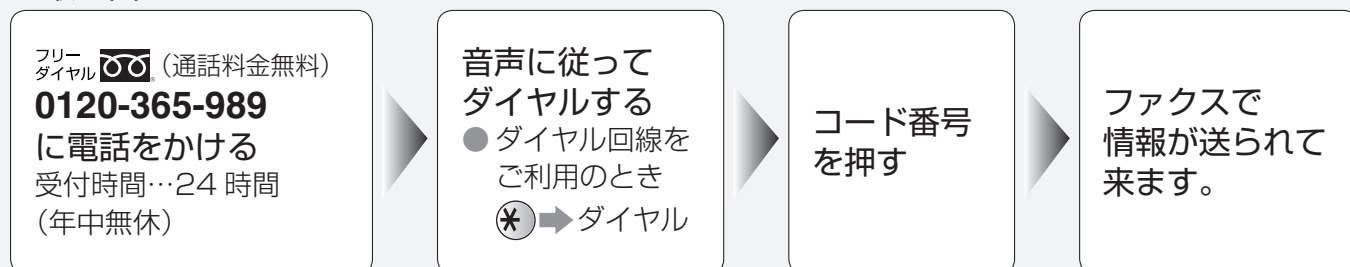
取り扱い方法やご不明な点などの情報を、ファクスで取り出せます。（1回の操作で4件まで）

■取り出しかた

フリーダイヤル （通話料金無料）
0120-365-989
に電話をかける
受付時間…24時間
（年中無休）

音声に従って
ダイヤルする
● ダイヤル回線をご利用のとき
 ダイヤル

コード番号
を押す

ファクスで
情報が送られて
来ます。

● お問い合わせ内容や受付時間は、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
最新のお問い合わせコード表を、コード番号「1500」で取り出せます。
● パソコンを使って、インターネットのホームページ上で見ることもできます。
http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/fax/faq_ac.html

■お問い合わせコード表

お問い合わせ内容		コード番号	回答枚数
NTTへの届け出	NTTへの連絡は必要ですか？	3101	1
発信元電話番号	相手に自分の電話番号をプリントしたくない。	1506	1
ファクス受信	ファクスが受信できない。	1520	1
	ファクスを自動受信できますか？	1521	1
ファクス送信	ファクスの送信ができない。	1530	1
	送信中に表示される電話番号が相手の番号と違う。	3131	1
	送信したときの料金はどうなりますか？	3132	1
ファクス送信・受信	最近の送受信の結果を知ることはできますか？	1538	1
ファクス送信・コピー	送信・コピーのときに用紙が白く抜けたり黒い線が出る。	1536	1
	原稿が斜めに入っていく。	1540	1
電話帳	電話帳に登録するには？	1545	2
留守番電話	固定メッセージ（ただいま留守にしております）が消えた。	1550	1
留守用件転送	携帯電話・自動車電話・PHS電話に転送できますか？	3156	1
ISDN	ISDNとはどのようなものですか？	3181	1
ナンバー・ディスプレイサービス	ナンバー・ディスプレイサービスとは？	1587	1
	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには？	1588	2
	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときの注意点。	1589	1
各種ご相談窓口	National/Panasonicお客様相談窓口一覧表	3190	2

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルファクス付テレビドアホンの補修用性能部品を、ファクス親機と子機については製造打ち切り後 5 年、その他については製造打ち切り後 7 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 98 ～ 108 ページ、「ドアホン親機編」の 58 ～ 65 ページ、「子機編」の 65 ～ 73 ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグと AC アダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	パーソナルファクス付 テレビドアホン
品　番	VL-SW155K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により、録画、録音、通話、ファクス送・受信および料金管理などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

よくお読みください

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

窓口	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

窓口	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

窓口	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

窓口	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

窓口	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

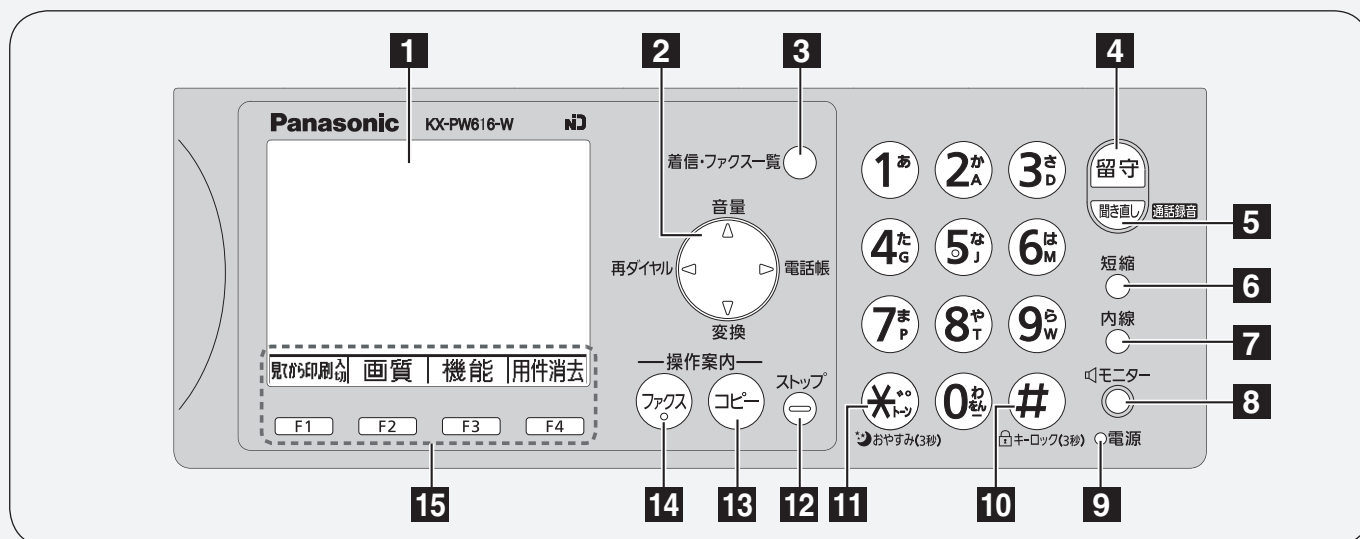
沖縄地区

窓口	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0907

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

1 Liquid crystal display

2 Volume/Change key

Redial key

Phonebook key

3 Call/Fax List button & indicator

4 Auto Answer button & indicator

5 Replay/Record button

6 Speed Dialer button

7 Intercom button

8 Monitor button

9 Power indicator

10 Sharp/Key lock button

11 Tone button (to switch to DTMF tone)/ Night mode button

12 Stop button

13 Copy button

14 Fax button

15 Multi-operation buttons (They refer to the function displayed on the display panel.)

16 Handset

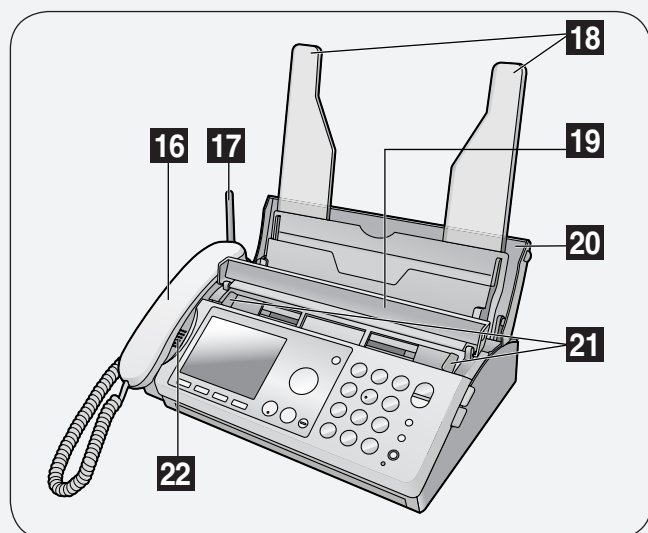
17 Antenna

18 Recording paper stands

19 Document cover

20 Recording paper tray

21 Document guides

22 Speaker

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■To make a call

Lift the handset. ➜Dial.

■To receive a call

When the phone rings... ➜Lift the handset.

■To place the current call on hold

Press 保留 F4 (15) during a call.

(You can place the handset on the base unit.)

■To retrieve the held call

- If you have returned the handset on the base unit, lift the handset.
- If you have not returned the handset on the base unit, press 保留 F4 again.

■To transfer the held call to the personal phone

Press 内線 (7) during a call. ➜Press 1 - 6 (Intercom No.). ➜Place the handset on the base unit when the other party answers.

■To use TAM (Telephone Answering Machine)

When you leave home, press 留守 (4) to turn on the indicator.

(To deactivate, press 留守 again to turn off the indicator.)

➜ When receiving a call while TAM is activated, it answers the call automatically in Japanese, and records the incoming messages.

Then, the 留守 indicator starts flashing.

➜When you return home, press 留守 to play back the messages.

The 留守 indicator turns off and the answering mode is deactivated.
After playing back the messages, press はい F1 (15) to erase the messages or press いいえ F4 (15) to keep the messages.

To play back the message while TAM is deactivated, press 聞き直し (5).

*Up to 50 messages can be recorded for approx. 12 minutes in total.

■To listen to recorded messages while away from home (Remote operation)

Preparation before you leave home

Store a remote operation ID.

With the handset placed on the base unit, press 機能 F3 (15) # 0 0 6 . ➜Enter any 4-digit number. ➜Press 決定 F3 (15), then press ストップ (12).

When you leave home, press 留守 to turn on the indicator.

To listen to messages

Dial your home phone number. ➜While the outgoing message is played back...
➜Enter your remote operation ID.
➜Announcement ➜Press 2. ➜You will hear recorded messages if any.

NOTE

- This operation can be made only from telephones which can send DTMF signals.

■To send faxes

Open the document cover, and adjust the width of the document guides to the size of the document.

➜Insert the document (up to 5 pages) FACE UP until a single beep is heard.

➜If necessary, press 画質 F2 (15) repeatedly to select the desired setting. ➜Dial the fax number. ➜Press ファクス (14).

- The unit will start fax transmission.

■To receive faxes

When you hear a ring, lift the handset to answer the call.

➜When:
— document reception is required,
— a fax calling tone (slow beep) is heard, or
— no sound is heard,

press ファクス , then replace the handset.

- The unit will start fax reception.

■To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, lift the handset.

■To monitor outside image

press 内線 , then press 8 or 9 .
(To talk to the visitor, lift the handset.)

さくいん

A～Z 行

あ行

か行

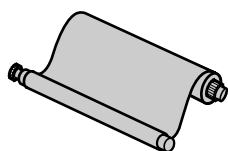
さ行

た行

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

別売品について（別売品の一覧は、94 ページをご覧ください）

■インクフィルム

（価格は 2007 年 11 月現在のものです）

品　番	希望小売価格
KX-FAN190　（15 m）	714 円（税込）
KX-FAN190W　（15 m、2 本）	1,208 円（税込）
KX-FAN191　（15 m）※	893 円（税込）
KX-FAN191W　（15 m、2 本）※	1,523 円（税込）

※プリント跡が見えにくいタイプ

- 交換のしかたは、93 ページをご覧ください。
- 別売品以外のインクフィルムの使用は、記録品質への悪影響や故障の原因になります。

愛情点検　長年ご使用のパーソナルファクス付テレビドアホンの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコード、ACアダプターが熱を持っている。
- 記録紙や送信原稿がたびたびつまる。
- 時刻表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグやAC アダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話（　　）　―

本機の製品情報をホームページで見ることができます。
http://panasonic.jp/door/

- Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- 本機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島 4 丁目 1 番 62 号

PFQX2782XA　SC0507MT2107